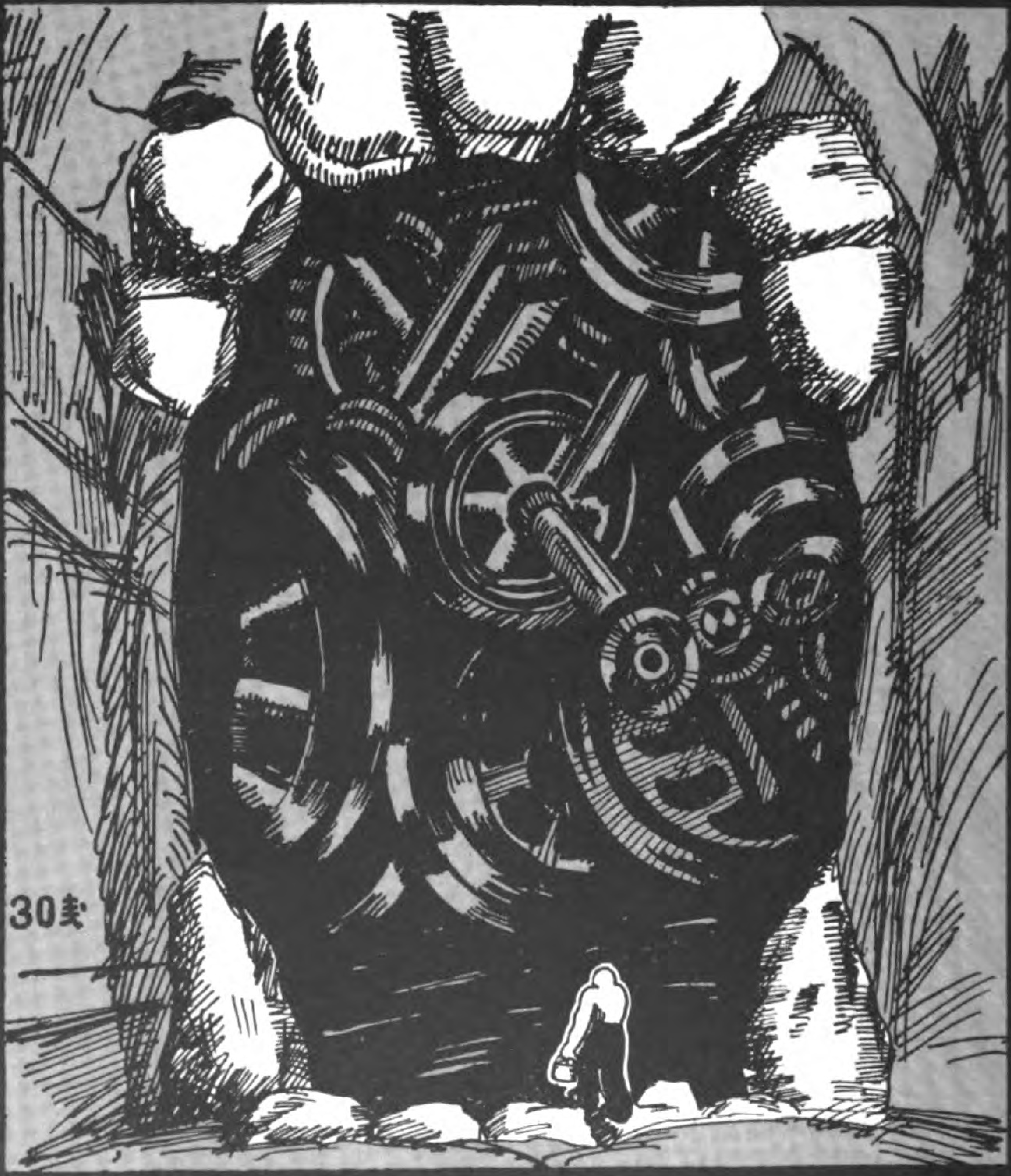
無産階級評論雑誌

大衆



VOL. 1 四月號 NO. 2

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF MICHIGAN

勞働總同盟調査部長　法學士　赤松克麿著・新刊・

定價壹圓五拾錢　送料書留拾六錢

轉換期の日本社會運動

■思想界の權威＝安部磯雄氏＝本書を評しての一節に曰く

「…私がこの著書によりて得た知識の極めて多かつたことを思へば、これを自分獨りで樂んで居るのはあまりに利己的であるやうに感ずる。私が今これを廣く勞働運動に興味を有する人々に紹介せんとするのは全くこれがためである。…今や我國の勞働階級は思想の中毒に惱んでゐる。如何にしたならばこれを救治することが出來るであらうか。……私は赤松氏の著書を讀んで、思想中毒のため我勞働階級の運動が如何に妨害されて居るかを讀者が私と同じやうな感想をこの書によりて得ることが出來るならば、そこに救治の途は自から開けて來るのでないかと思ふ。……私は著者の意見に共鳴するといふよりは、寧ろ著者に說服されたといふ方が適當であるかも知れぬ。……私は全く著者の思想に知らず〱引入られたのであるまいかと思ふ。とにかく日本勞働運動のために貴重なる文献であると信ずる。」本書の價値は既に絕大なることを闡明された。

讀め！日本無產階級解放運動の理論と實際戰術！

發兌　東京市芝區八幡町二五　振替東京五九六〇〇番　厚生閣

經濟學博士　土方成美序　法學士　菱沼勇譯

ロビンソン著

財政學

吾人は最早用語の說明に過ぎないそして實際問題から離れた財政學書には飽きた。この要求に最も適して平易明快に論叙されたるもの本書である。

正價貳圓八拾錢　送料廿七錢

佐野文夫譯
ローザ・ルクセンブルグ著

〔新刊〕

經濟學入門

四六判總布裝
定價 貳圓五拾錢
送料 貳拾四錢

内容要目

第一章 國民經濟學とは何ぞや
一經濟學の對象 二「國民經濟」の本質 三國民經濟か世界經濟か 四國民經濟か世界經濟か（續） 五資本主義生產樣式の法則の發見 六經濟學と勞働階級

第二章 經濟史（一）
一原始共產社會の歷史的地位 二原始共產主義學說と資本家的階級利害 三原始的種族における共產主義 四經濟史に對する資本階級の見地と勞働階級の見地

第三章 經濟史（二）
一原始共產社會の內部的組織と各種崩壞樣式 二原始共產社會の崩壞過程總說

第四章 商品生產
一商品交換の成立 二商品交換の成立 三商品經濟の歷史的發展 四單純商品生產より資本家的生產へ

第五章 賃銀法則
一商品としての勞働力 二勞働日 三賃銀形成の基準 四產業豫備軍の發生 五相對賃銀と社會主義運動 六賃銀形成に及ぼす勞働組合の作用 七賃銀勞働者の發生

第六章 資本主義經濟の諸傾向
一資本主義生產樣式の矛盾

東京市牛込區神樂町二丁目
叢文閣
振替東京二四八八九
電話牛込二五七三

早稻田大學教授 杉森孝次郎著　四六判美裝五百五十頁　定價參圓 郵税十二錢

國家の明日と新政治原則

社會國家への主張

著者の自序の一節に曰く「社會國家への主張！ 現代人にとつての最深、最高、最濟、そして最直接の綜合的理想主義の具體的內容は、まさしくここにそれの一大完全形を構成する。社會國家へ!! 是を英譯すれば Toward a socialized state ともなるが、この五文字こそは、二十世紀の四分の第一期末に立つて、その第二期以後の社會と人生とを創作する自由と責任とを十分に覺識し、實現すべき位置にある現代人が、すべからく體讀するを要する時務語だ。北米合衆國は、曾つて、自由、平等、友愛の三語に導かれて出發した。現代諸國民、全人類の地上再生の行進歌は、しかしながら、社會國家へ!!! に代表される」と。五篇三十六章を貫驗して、知力に於いて最も獨創的であり、動機に於いて最も奉公的である一魂が、現代を環境として、組織的、系統的に作用し、發現してゐる。著者のいはゆる純全人格主義的、文化主義的、社會國家が、全民衆の確實なる要求となり事有となるまでは、この書の使命は殊に急迫である。左傾者も、右傾者も、中間者も、この書を讀んで、反省と、自覺と、確信と、社會的新意とを最も有意義に觸發されることを疑はない。

早大高等學院教授 佐久間原譯〔新刊〕

マルサス人口理論 第七版譯

四六判總布美裝四三〇頁　定價貳圓八拾錢 郵税拾貳錢

マルサス人口理論第七版は第一版とは全く異なれる新著と云つてよい。第一版を讀める者は本書に依つて人口理論に徹底しなくてはならぬ。本書は貧の哲學の建設である。富の哲學に心醉せる日本の社會は翻つて貧の原因を一考しなくてはならぬ。殊に無産階級が如何にして富のより大なる分配を受くべきかはマルサスの切論せるところであつた。日本の貧民にして百年前に於ける英國勞働者の悲痛な運命を避け、貧に伴ふ罪惡を解脫せんと欲すれば須く本書の所說に傾聽しなくてはならぬ。

卷末附錄はマルサスの時代と學風とに對する一種の腳註であり紹介である。

東京牛込 早稻田大學出版部發行　振替 東京一一二三 大阪六八九〇〇

「大衆」四月號

◇神聖同盟の再來……………………

時評

▽無產政黨が直面する或る難關……大山郁夫

▽勞働黨の成立……………………黑田壽男

◇勞農黨の議會肯定とブルジョアの自己否定…大山郁夫

◇我が國に於ける資本の攻勢に就いて……野呂榮太郎

勞農運動

▽未組織勞働者の組織について……山本懸藏

▽別子爭議の跡を顧みて……………加藤勘十

▽規程勵行……………………………橫川四郎

◇左翼小兒病…………………………堺利彥

◇知らざる者…………………………藤森成吉

◇極東無產階級の共同戰線……………安光泉

資料

▽關稅改正案と資本諸系の抗爭………原叔市

▽最近印刷事業に於ける資本の攻勢…松尾茂樹

◇「批評の自由」とは何ぞや…………レーニン

◇地方財政の話（經濟講話）…………橋本亡市

神聖同盟の再來

全世界の有ゆる權力を脅かす怪物が全世界を橫行してゐる●全世界の權力者は此の怪物を退治せんが爲めに、神聖同盟の復活を期さうとしてゐる。モルガンもロックフェラーも、スチンネスも、あらゆる機關に全力を擧げて！……

怪物とは何ぞ！　ロシア・ソビエット共和國を中心として全世界に擡頭しつゝある無產階級勢力である。

今や、フランスの急進黨も、英國の保守黨も、獨逸の日和見主義者も、この勢力を掃蕩せんが爲めに共同戰線の確立を一齊に急いでゐる。モルガンを先頭に、チェンバレンをその使徒にして、ロカルノ條約は結ばれた。

ところがこの條約ははしなくも國際聯盟加盟問題に絡んで紙屑化せんとしてゐる。然しながらこの條約の重大なる一面、即ち無產階級勢力狙止に關して は唯一人異議を訴ふる者があらうか。そこでこの最後的ブルジョア共同戰線の堡壘は愈々キラビヤカに飾られ且強固に仕上げられるのである。この攻勢を前にして、無產階級は何をなすべきか？

我國無產階級の當面の問題とは何か。驚くべき現實論でもなければ、現實に對する『認識の不充分』でもない。現實を直視し、主觀を脫して、政治的にも經濟的にも、唯一つ共同戰線を確立するの外はない。資本攻勢の白兵戰に臨んでの、陣中無政府狀態こそ、恐るべき、且つ救はれざる深淵に無慘にもつき落すものである。（K・T）

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

當面の問題

無産政黨が直面する或る難關

一

樣々の複雜なる經緯を經て、この程漸く誕生した勞働農民黨が、兎も角成立後數時間内の解散命令といつたやうな厄にも逢はず、今日まで無事に長らへて來たことは、先づ何よりも結構なこととしなければならぬ。

けれども、勞働農民黨が解散命令の厄に逢はずに濟んだことには、幾多の相當に重大な犧牲が拂はれて來たものであることもまた、同時に記憶されなければならない事實である。就中、『共産系分子排除の名目の下に、日頃から無産階級意識を極力强調してゐた一部の左翼急進派を代表する多くの人々の參加が拒絶されたことなどは、無産政黨から純粹の無産階級的色彩を甚だ多分に奪ひ去つたものである。實際上に於ても、政府當局は、無産政黨が純粹の無産階級的色彩を發揮するやうにならば斷然それを禁止する、といつたやうな意味に解されることを述べてゐる。

かういふことは、左翼急進派を極端に毛嫌ひする所謂『穩健派』中の或る分子に取つては滿足至極のことであるかもしれないがしかし、無産階級全體の上からいへば、一の非常に重大なる損失だといはなければならないものである。

けれども、さうしたことは、我國の社會狀態及び政治事情の現勢の下に於ては已むを得ないことだといふならば、我國の無産階級も暫らくこれを隱忍するより外はあるまい。そのうち何時かは、さうした出發點から發足した無産政黨も、それの出現及び存續が時代の不可抗の要求から出たものである以上、樣々の轉變を經つつ、終極に於ては純粹の無産階級的色彩を充分に發揮し得るまでに、順當に發達するやうになるであらう。事實上、無産政黨をさうした意味の順當な發達に導かうとしてゐるやうに見られる時勢の急變の徵候も、我々には全然感得が出來ないこともない。で、無産政黨に取つて最大の難關といふべきものは、その點に

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

ら出て來るものであるよりは、寧ろ或る他の點に存するもののやうに、一般に考へられてゐる。卽ちそれは、資金調達上の便宜の缺乏といふ事である。

これは或る意味に於て、たしかに事實である。無産政黨に資金調達上の便宜の缺乏してゐるといふことは、當然のことでもあれば、またさうした狀態の下にそれの有力な活動が期待し得られないといふことも、一應尤もなことでもある。從つて、それが新生の無産政黨の随一の障碍だと考へられてゐることにも、何等の根據がないことだとはいへないのである。

けれども、それは無産政黨に取つて、到底突破し得られない難關であるといるへであらうか？　我々は必ずしも、さうは考へない。我々から見れば、資金の豐富をこととする既成ブルジョア諸政黨に取つてこそ、資金調達上の便宜の有無が死活の問題となることは事實であるが、しかし資金の貧弱を必然の前提とする無産政黨に取つては、それは一心重大なる問題でこそあれ、死活の問題を構成するほどのものでは、斷じてないのである。

二

無産政黨の擁する物質上の資力がそれの前途の運命を決定するものだ、といふやうな凡俗解釋は、唯物史觀に卽する正當な推論の上には、決して成り立ち得ないものである。今若し假りにさうした解釋が成り立ち得るものだとするならば、無産政黨の前途の成長發達といふやうなことは論外であるばかりでなく、それの當初の成立すら覺束なへ〻とだとされなければならないのである。否、唯物史觀は寧ろただ、無産政黨の成立及びそれの前途の成長發達の可能性が、一に無産階級が現在及び將來の社會的生産關係に於て占める中樞的地位から來たものでもあり、また來るべきものでもあることを、我々に敎へるのである。そしてまた、無産政黨の終極の希望も、偏にその上に維がつてゐるのである。

既成ブルジョア諸政黨は、それぞれに、無産政黨とは比較にならぬほど多くの資金調達上の便宜を有してゐる。が、それと同時に、さうした便宜が、次第に彼等を破滅に導く陷穽となりつゝあるものだといふこともまた、我國の議會政治の近狀が雄辯に物語つてゐることである。それ故に、既成諸政黨に比して遙かに資金調達上の便宜を缺いてゐる無産政黨が、この點に於て彼等の蹤を追つて進まうとするやうな了簡を聊かでも抱いてゐようものなら、それは、かの童話にある牝牛を眞似て腹を膨らませてた憐れな蛙の如き運命に陷るべきことは必定でなければならぬ。

無産政黨が資金調達上の便宜の缺乏を補ふためには、全然別途の或る方法に依らなければならない。それには、無産政黨の組織形態の整備、及び各種の事業遂行上の科學的施設といふやうなことも、極めて大切なことであるに相違ない。が他のすべてのものに勝つて必要なことは、それが、無産階級が現在及び將來の社會的生産關係に於て占める地位の所産で

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

4

あるところの、純然たる無産階級意識を極力強調することに依つて、それへの參加諸分子の熱度を高め、且つそれらの參加分子の範圍を極度に擴張することである。新生の勞働農民黨は、現狀の下に於ては、前に言つた通り、この點に於て明かに一のディレンマに陷つてゐる。が同黨がこのディレンマを排除するであらうことが一日も早ければ早いだけ、それだけそれの多望な前途への躍進が一日も早く期待され得るであらうことも、一點疑ひやうのないことだと言ひ得られるのである。（大山郁夫）

勞働農民黨の成立

——豫想さるゝ當面の一問題——

一

　勞農黨の生誕ほど重い産みの苦しみを體驗したものは稀である。斯程まで眞劍に、悽愴の氣さへ帶びて、突き進んで行つた苦鬪の經驗は、事の成否は別として、その經驗自體が、必ずや何物かを産み出さずにはおかぬものである。事實、勞農黨の組織運動の過程中、之に參加した各團體が、所謂左翼も右翼も、また中間派もが、夫々の意味に於てあの辛酸を嘗めた經驗は、幾多の尊い智識と教訓とを産み出した。

　全國的單一無産政黨といふ一の共同戰線體の形で、わが國現下の勞農諸團體を同一の陣營の下に整頓しようとする試みが着手せられた時、個々に分立してゐた時に於ては正確に測り知ることの困難であつたところの、組織された勞働者農民大衆の總和された實力が、冷やかな客觀的事實として人々の認識のうちに映じたのである。

　資本家階級の組織的攻撃力を前に控へて、この冷やかな現實を直視しなければならなかつた時、われ等何を爲すべきかゞ、現實の問題として、一層の眞劍さを以つて顧み初められたのである。階級的勢力の擴大の必要が、實際上の具體的方法をも含めて、熱心に論議され考究され初めたのである。

　過去の、否、現在に於ても尙ほ執拗に繰りかへされてゐる分派的紛爭の意義が冷靜に反省され初めたのである。

　從來とり來つた戰術の改訂が、愼重に考慮され初めたのである。

　勞農黨の組織過程中における諸經驗は、黨の成立と相俟つて、わが國無産階級運動に對し、全體的にも部分的にも、新戰術の展開を迫りつつある。勞農黨の組織運動は、黨の成立それ自體に於て豐かな功果を收めたと同時に、その組織過程中の諸經驗から得た智識と教訓とに鑑みても、誠に意味深き運動であるといはねばならぬ。

二

　資本の攻勢を前にして、わが國の組織された無産階級團體が、いかに戰線の統一と整理とを、單に理論の上からのみでなく現實の必要から、強く要求してゐたかは、單一無産政黨の組織運動が、その

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF MICHIGAN

過程中に起つたあらゆる困難と障害を突破して、遂に勞農黨の出現をみるに至つた事實によつて明かに證明される。そして、その成立過程中に於て、初め左翼の讓步をみ、所謂中間派の健實な、强固な言動におされて最後に右翼もその極端な主張を、兎にも角にも枉げて、黨の成立にまで漕ぎつけた事實には、深甚な意味が含まれてゐる。また、政治的に、共同戰線が成立したことは、經濟的領域に於て、成立すべくして未だその成立をみざる勞農諸組合の總聯合と、產業別合同の實現の氣運に、强い刺戟を與へ、經驗を供したものである。

然乍ら、この統一と整理の一般的傾向に對しては、單に支配階級側からの分裂政策が禍し、また、禍せんとしつゝあるのみでなく、組合間の分派的紛爭が、意識的であつたと否とに拘らず、この傾向の發展を著しく阻害する所のあつたことは爭はれぬ事實である。ある人々等の輕々に主張する如くに、官憲と結托して無產階級運動の分裂を策するが如き團體が

あらうなどとは、信じあたはぬものであるが、しかし、分派的行動の過度の固執が、その影響するところ、單に紛爭の當事者の範圍に止まらずして、全體的の運動に甚だしい障害を及ぼすことが明かであるにも拘らず、尙ほ敢て之を固執することは、結果に於ては、

悪意の分裂策と五十歩百歩である。單一政黨としての勞農黨の成立は、この傾向が統一的傾向の優勢のために抑厭せられたことを意味しなければならぬ。しかし、抑厭せられたことは、直ちに、除去された事、消滅したことを意味するものでないことを注意しなければならぬ。卒直に言へば、今に至るも尚ほ、除去されてゐないばかりでなく、依然として相當な危險性をもつてその存在を續けてゐる。これは、全階級的利益の立場からみて眞に憂ふべき事實である。

三

斯様な、忌むべき傾向が存在してゐるとすれば、それは、最も近い將來に於て如何なる具體的運動となつて擡頭するであらうか。これが、黨の當面の問題の一をなすものである。

この傾向の一の現はれとしての入黨制限問題——具體的には、左翼團體所屬員の入黨排斥問題は、既に、勞農黨創立委員會に於て消極的意味に於ては一應解決濟になつたようであるが（總同盟の提案撤回）、未だ入黨制限が、假令、眞に一時的のものであつても、存する限り、積極的には、解決されたものとは言はれぬ。しかし、此問題については、私は、前號に於て述べたし、又、黨の次回の中央執行委員會が最も積極的に、常識的に、從つて無産階級の階級的利益を中心にして解決されるものとし、次に、この反統一的傾向の發現として最も近い將來に豫想される具體的運動について考へてみたいと思ふ。

所謂獨立支部組織の問題がこれである。元來、勞農黨の規約によれば、黨の地方支部の組織は原則として地理的である。（支部ハ、中央執行委員會ノ承認ヲ得テ地理的區劃ニヨリ……中略……組織スルモノトス）あらゆる無産階級的團體の組成員を、その團體の區別を超へて、同一地域内に於て、同一支部組織の下に糾合することは、勞農黨の組黨の精神からみて最も當然のことである。然乍ら、既に第一次無産政黨組織準備運動の當時から問題になつてゐたのは、所謂獨立支部組織の問題であつて、此度の勞農黨の規約中にも、例外的に認められてゐる（中央執行委員會ノ承認ヲ得テ必要アル場合ハ適宜コレヲ組織スルコトヲ得）これは、同一地理的區劃内の各種團體所屬員が、同一支部に組織されることに對する例外をなすもので、同一地域内にあつても、ある特定の團體の所屬員は、他の團體の所屬員と離れて、その團體の所屬員のみを以て獨立の支部を組織することである。また、ある團體の所屬員が、特定のある他の團體の所屬員とは斷じて共に支部を組織しないといふ態度、ある特定の團體の所屬員のみをば自己の屬する支部組織の外に置こうとする方法も之に屬する。

ある特殊の事情をもつ團體が、ある特殊の地方に於て、獨立支部を組織することは、必ずしも之を咎むべきではなくて、却つてその方が現狀の下では自然に思はれることがある。しかし、斯樣な事情の下にあるものは極めて稀であるし、また、この場合にいふ所の特殊の事情と

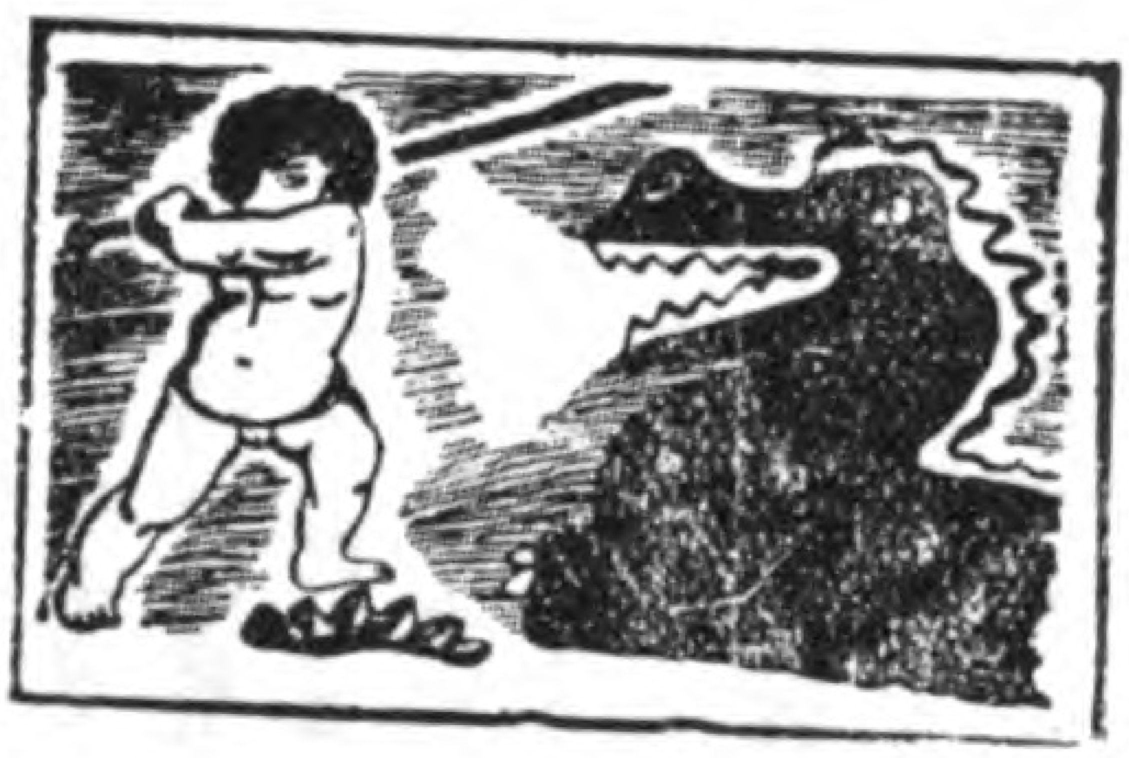
Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

は、決して所謂紛爭的關係から來たものを意味するものではない。從つて私が問題にするのは、決して斯樣な事情の下に於て形成される獨立支部のことでないことは無論である。また、ある特定の團體と、他のある特定の團體との間の紛爭關係のために、今直ちに、夫等の團體の所屬員を同一支部に組織することの不可能も、また現實の問題としては之を首肯せざるを得ない場合もないではない。無理を强ひるは不自然であり、不成功に終る。たゞ、その不調和の關係を故意に誇大視し、これによつて、今、無産階級の情勢が絶對に必要としてゐる戰線の統一と整理の傾向を阻害する結果に陷る樣な、「例外規約の故意の利用」がなされるとするならば、即ちこゝに之を問題としなければならぬ。われ等は、不幸にして、かゝる場合に該當する例をみせつけられてゐる。地方に於て、ある共地方のあらゆる無産階級的諸團體が、圓滿に提携して地方的共同戰線體を形成し、有力な陣營を築き上げてゐたものが、ある團體の地方的支部に限つて、その團體の中央部の指令に基づきこの共同戰線體から脱退した例は、稀少ではあるがわれ等の不幸な見聞のうちにある。獨立支部の組織は、已むを得ざる事情に基づくものであるとしても、それはやがて、普通支部の中に融合さるべき前提のもとになさるべきものであつて、その反對の傾向を意識的に助長せしめるが如き方法は極力防止されなければならぬ。これは共同戰線の攪亂の危險をもつ、また、ある意味で、地方政黨主義の實質をもち易い危險にさらされてゐる。しかし、論者は曰ふであらう、獨立支部といふも、それは左翼に對してのみである、と。現在の所謂左翼團體の大衆を組織の外に置かんと企つることの是非如何の問題は一應は、既に解決されてゐる。(大阪に於ける、黨の創立準備委員會に提出された左翼大衆排斥案は、如何に處置されたか!)從つて、右の樣な内容をもつ獨立支部主張論は、斯る内容の故にこそ、我黨が極力、全階級的利益のために、之を問題としなければならぬものではないか。

問題となる意味での獨立支部の主張は、ある場合に於ては、「左翼は、左翼だけで、勝手に、好み通りの支部をつくれ」といふ主張となる。支配階級の彈壓政策と、分裂政策とは、斯る主張を如何に巧みに利用し得ることであらうか!こゝに、前示の例とは反對の内容をもつものであるが、中央部からの指令にも拘らず、その團體の地方支部が、斷乎として地方的共同戰線體を擁護しつゞけてゐる例を引用し得ることは、冷靜に之を觀るとき、階級的利益のために、少なからぬ喜びとしなければならぬところである。

黨に入り、黨の支部を組織すべき一般勞農大衆が、時代の要求を正解して、統一と整理の氣運を支持し增進しつゝあることは、誤れる道を是正すべき最も强き力である。われ等は、この態度の正しさを認め、之を支持せんと欲するものである。(黒田)

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN



新勞農黨の議會主義肯定とブルジョア議會の自己否定

大山郁夫

一

新たに成立した勞働農民黨が、その結黨式に於て發表した宣言は、現今の我國の議會の腐敗と議會制度そのものとの關係について、かう言つてゐる。――『近時我國の議會は腐敗墮落その極に達し、國民の多數は漸く議會に對する信頼を喪失したりとはいへ、かくの如きは議會制度そのものの罪ではない。………』

一種の過渡的段階の上に在る現在の我國の社會狀態と、政府當局の二段の構へともいふべき奇態な取締方針との下に、第一次無産政黨の成立及び解散以來、非常に複雜な樣々の經緯を經て、三月五日に至つて漸く産ぶ聲をあげた勞働農民黨の宣言を讀んで、我々は無論、それの內容を文字通りの意味に解釋しようとしてゐるものではない。我々は若槻首相が第一無産政黨の宣言、綱領、もしくは規約に關して言つた通りに、――或は恐らく幾分か別樣の意味で、――眼光を紙背に徹せしめつつ、それを判讀しなければならない必要を感じてゐる。でなければ我々は、或る程度に奥齒に物の挾まつたやうな感じをそれから受けることを、如何とも始末することが出來ない譯である。

だが、假りに勞働農民黨の宣言を、――殊に右に拔萃したそれの一句を、――聊か白らばくれた態度で文字通りに解釋するとすれば、それはどういふ意味に取れるであらうか？ その點を究明しておくことは、現在の議會にからまる諸問題を解く上に於て、多少の參考になるものだと考へられる。

二

右の宣言は、それが當然しなければならないことと豫期された通りに、近時の我國の議會の極度の腐敗墮落を言ひ立ててゐるが、同時にそれは、「かくの如きは議會制度そのものの罪ではない」と附け足してゐる。だとすると、それは一體何の罪だと言ふのであるか？　この點に關しては、右の宣言は全然口を噤んで、一にそれを讀者たちの判斷に任せてゐる。で、そこへ來ると、無産階級意識に眼ざめてゐる讀者たちには、資本主義が現在辿りつゝある崩壞過程の光景が、直ちに想像の上に浮んで來るのである。近時の我國の議會の極度の腐敗墮落、――それはその資本主義の崩壞過程の一反映ではないか？と、かういふのが、彼等が必然的に到達する結論である。

けれども、問題は決してそこで落着はしない。少くとも、議會制度そのものの、それに對する關係はどうか？といふ問題が、そのあとに殘る。議會制度は資本主義の發達と共に發達して來たものである。その議會制度に、資本主義の崩壞過程に必然的に伴生した議會の腐敗墮落を救ふ力があるか、否か？　かうした疑問は、無産階級の政治行動に關聯して、當然起つて來なければならないものでもあり、また事實上、既に幾年か前から起つて來てゐたものでもある。

が、右の勞働農民黨の宣言は、それに關しては、「かくの如きは議會制度そのものの罪ではない」といひ、更らに「我等無産階級は我等の純潔なる參政權をあくまで公明正大に行使して、先づ議會を革正し、眞に我光輝ある議政の府たらしめることにより、必ず我黨の主張を貫徹せしめ得べきを信ずるものである」と叫び、同黨がどこまでも議會主義への絶對無限の信仰を標榜しつつ政治行動に入らうとしてゐるものであることを表明してゐる。我々は無論、現在の我國の社會狀態及び政治事情の下に於て、無産政黨の成立のためには、かうした種類の宣言が絶對的に必要視されるものだといふ事實に對して、毛頭我々の眼を塞さがうとしてゐるものではない。が同時に、初めに言つた通りに、我々はその宣言に向つて內面觀察を下さうとしたものでなく、寧ろただ、それの表面の語句を辿つて、それを文字通りに解釋しようとしたまでである。そして、我々は、今しがた言つた通りの趣旨が、そこに誤解の餘地のないやうな表現を以て述べられてあるのを見たのである。

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

三

如何なる動機からにもせよ、新生の無產政黨が絶對的議會主義信認を表白してゐる際にあたつて、ブルジョア議會を構成する既成諸政黨が、縱し條件附きにもせよ、自己否定とより批評の下しやうのない言動を盛に繰返してゐるのは、極めて皮肉な現象だといはなければならないことである。

勞働農民黨の宣言にある通りの議會の腐敗墮落の實例が引切りなしに示されて來たことは、決して現第五十一議會に始まつたことでなく、近年の各期議會の年中行事になつてゐるところのものである。近くは寺內內閣時代及び原內閣時代から今日に及ぶまでの間に於ける大官、政黨、代議士、及び政商などの間に播る瀆職事件乃至不正事件の外間に暴露されたものの中から、ただ極めて重大なものだけを數へてみても、五指を屈しただけでは中々足りさうにもなく、しかも、尙ほそれから昔へと溯れば、容易に擧げ切れないほどの巨大な數に上るのである。が、現第五十一議會の末期に於て、各政黨が互に反對黨に關聯する醜事實の摘發競爭をしたことは、稀有の壯觀(?)だつたといふことが出來る。都下の一新聞紙の一漫畫子が、各政黨首領の泥試合の圖を以てその狀況を諷したのは、時に取つての思ひ附きであつた。曰く、田中政友會總裁を中心とする三百万圓事件。曰く軍事機密費使途問題。曰く、松島遊廓移轉問題に絡む不正事件。曰く、山梨大將に疑が懸けられた議員買收問題。及びそれらの諸事件若しくは諸問題から派生した大小各種の嫌疑、醜聞、怪說。――かう數へ立てて來ると、我々は寧ろ、現在のブルジョア議會の構成者たちの、腐敗糜爛の空氣に對する耐久力の餘りに異常なのに、驚異の眼を見張らずには居られないのである。

しかし現代のブルジョア議會を極めて鮮明に特徴づけてゐるものは、單にその折紙附きの腐敗墮落ばかりではない。否、それ以上にとは言へないまでも、決してそれ以下にではなく、ブルジョア議會の信用を民衆環視の前に傷けてゐるものは、それが最早、近代社會生活の所產として見られる幾多の重要諸問題を適當に處理する能力を完全に喪失してゐるといふ一事である。これは無論、ブルジョア議會の構成者である既成諸政黨が、彼等を資本家及び大地主階級に繫ぐところの惡因緣の鐵鎖か

ら免がれられぬ運命の下におかれてあるといふ事實から來てゐるものである。この點に關聯して第五十一議會に於て示された實例の二三についていへば、問題の稅整案にせよ、勞働法案にせよ、關稅改訂案にせよ、出版物法案にせよ、これらの諸案件のすべては、無產階級の側から極度に批難されてゐるのはいふまでもなく、それと同時に、如何なる階級の側からも、決して無條件の滿足を以ては迎へられて居ないのであつて、ただ資本家及び地主階級間の勢力均衡の間を狙つて、わづかに無產階級側から來る絕對的反對の聲を壓服して、不承不精ながらに認容される餘地を發見して居る――若しくは發見しようとしてゐる――までのものである。

四

かうした議會の腐敗墮落及び重要諸問題の處理に對する能力の喪失の表明は、或る意味に於て、ブルジョア議會の自己否定の一形式だといふことが出來る。けれども、それの一層明確なる形式は、ブルジョア議會と軍閥との關係の上に現はれてゐる。殊に今期議會で問題となつた例の三百萬圓事件とか、軍事機密費使途問題とかのやうなものにまつはる疑問を完膚なく糺明して、それを白日の光に晒らす位のことは、そのことが一つの重大なる政治問題を構成してゐるものであるだけに、世人がその仕事の遂行を第五十一議會に望んで居たのは、決して過大な期待だとすることが出來ないのである。のみならず、議會がかうした任務を果たすことは、封建的勢力の殘物の不當な跳梁を阻止することにもなるものである。そして、封建的勢力を掃蕩する位のことは、名目上だけも立憲主義を一枚看板にしてゐる議會が當然じなければならないものと期待されてゐるところのものでもある。ところが我國の議會には、それだけのことすらが、完全に期待出來ないやうに見られてゐるのである。就中、政友會の如きは、無論その黨首に對する義理立てからには相違ないが、かうした諸問題を議會に持ち出すことすらが、故意に軍閥と國民とを離間するものだと言つて、我鳴り立ててゐるのである。他の諸政黨は、それ程の卑屈な態度には出てゐないが、しかし彼等といへども、この際徹底的に軍閥の非違を正さうとする意氣込みを見せてはゐないのである。もともと、それらの諸問題が議會に引張り込まれたのは、議會の積極的行動開始から出たものであつたよりは、寧ろ軍閥そのものの間に於ける內

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

訌から出たものであつたかの觀すらあつた位だから、それの適當な跡始末が今の議會には望めないのが當然だ、といへばそれまでだが、しかし議會を本位としていへば、封建的勢力の打破に關聯するさうした簡單な仕事すらが出來ないといふことを告白するのは、たしかに自己否定の一形式だといはなければならないことになるのである。

五

けれども、ブルジョア議會の自己否定の最高頂は、議場に於ける議員たちの暴力行使の上に見られるのである。議會はいふまでもなく、それの語義殊――にイギリス語の Parliament のそれ――から言つても、言論の府であることを以て、それの本質の一要素とする。議員たちの手による暴力の行使は最も率直にこの本質を裏切るものである。殊にそれは、議會に於ける議事の手續への不信任の表白である。で、それはこの意味に於て、議會主義否認に基礎づけられた直接行動の採用だと言へるのである。議場に於けるかうした暴力の行使は、我國の議會に於て決して珍現象とすべきものではないが、しかし三月十一日に於て、政友會の代議士連によつて演ぜられたそれは、豫じめ非常に手廻しよく準備され、計畫されたものであつた點に於て、頗る異彩を放つたものであつた。のみならず、その數日前に新たに成立した無產政黨が、その宣言の上に議會主義への絶對的信認を表白した文字のインキが乾くか乾かないかの間に於て、そのことが起つたのであるから、それはそのために、一層際立つて我々の注意を喚起したものであつた。

だが、かうした議會主義否認の暴力行使が、既成ブルジョア諸政黨間の內輪揉めだけに關聯して演ぜられる間は、大抵の場合、議場混亂位で事が濟み、たまたま今回のやうにそれが議場外に波及するやうなことがあつても、たかだか議會の廊下での亂鬪位のことが落ちになるだけであらう。が、同じことが無產政黨の上に加へられるやうにならうものならば、それは議場外の社會でのファシズムの横行に導かないでは已まないであらうことは、我々には可なり明白なことのやうに思はれる。殊に我國に於て見られる通りに、ファシズムの酵母の貯蓄が既に相當の程度に用意されてゐるところでは、それの一層手廣き流行が殆んど免れられない運命であるかのやうにも、我々には考へられるのである。無產政黨の人々は、今からその點に關する覺悟を充分に決めて掛からなければならないことであらう。

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

我が國に於ける資本の攻勢に就いて

野呂榮太郎

我が國の無產階級運動も漸く政治鬪爭にまで發展せんとしつゝある今日、これが客觀的一要件としての資本攻勢の意義を明瞭ならしむることは當面の喫急事ではあるまいか？　而も資本の攻勢に對する、戰術の如何は、やがて勞働の攻勢に移れる際の戰鬪力如何を決定するのみならず、引いて無產階級運動全線の勝敗に至大の影響を有することを知らなければならない。こゝに於て先づ、資本攻勢の客觀的條件と彼我の戰術とを明確に認識することが我々の戰術を決定する上に必要となる。

一

資本の攻勢とは、之れを概括的に云ふならば、帝國主義的發達段階に於ける資本主義的「永久恐慌」の一現象形態であつて、如何死滅に瀕せる資本主義を既倒に返さんとする起死回生の努力に外ならない。それは既に自ら生命力を失へる資本主義が、カンフルにもして死の脅威より脫出せんとする文字通り死物狂ひのあがきである。從て目的の爲めには手段を選んで居れぬ。否老衰病にや食鹽の注射は勿論のこと、酸素吸入もやれば滋養浣腸もやり、必要とあれば人の生血を吸ふことさへ辭さない。最も利目のあるのは就中若い者の生血である。おゝかくて如何に多くの處女が人身供御に供せられることよ！

自由競爭と生產の無政府——社會的生產と個人的所有との矛盾——とが恐慌の誘因たる點に於ては、獨占的資本主義の時代に於ても變る所はない。唯異なる點は、發展過程に於ける資本主義的恐慌が急激なる生產力增進の結果たるに反して、帝國主義的發達段階に於ける恐慌は寧ろ生產力の減退、若しくは少くとも增進不能——資本蓄積の不能——に陷れる結果たるにあ

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

る。何れの場合に於ても需要――購買力の伴つた必要――と供給との不適合に由る相對的生産過剩が直接の動因であり、從て生産力の破壊が先づ訴へらるべき第一の應急手段である。而も生産の無政府と無産階級の購買力減退との結果たる需給不適合に因る相對的生産過剩に對するに、生産力そのものを――而も主として無産階級の費用に於て――破壊することは、それに依て益々無産階級の購買力を減退せしめることゝなり、從て第二のヨリ大なる需給不適合の原因となる。かくて矛盾は除去される代りに深化され擴大される。

乍併何は兎もあれ、資本主義の發達過程に於ける恐慌の救治策として破壊せられる生産力は、少くとも表面上は、それ自身の生命力に依て比較的短日月に恢復し得た。從て恐慌は急激に突發して急速に經過する。

然るに之れに反して、帝國主義的發達階梯に於ける恐慌にあつては、一旦破壊され毀損された生産力の恢復は中々容易でない。もはや資本主義はそれ自體の生活力を失つてゐるが故に、即ち資本主義的生産方法その物が生産力發達の爲めに一の障碍となり資本の蓄積が不能又は不如意に陷つてゐるが故に、生産力の恢復發展のためには、生産組織そのものを根本的に改造せざる限り、その生存の活力はこれを無産階級の生血に求めるの外はない。かゝる過程が何等の波瀾も何等の爭鬪をも惹き起すことなしに、單純に完了し得る筈はない。拘束された動搖と陰慘な鬪爭との幾年が續く。かくて資本主義は所謂「永久恐慌」の病床に呻吟するに至るのである。

二

我が國の産業は世界大戰中より戰後にかけて顯著なる發展を遂げたが、それ等の大部分は、就中大正七年より九年に至る物價騰貴の絶頂期に於て新設擴張されたものである。これは、此等兩三年間に於ける會社計畫拂込資本金が五十數億圓に上り、大正三年より十三年に至る十一ヶ年間總計の過半を占めるのに見て明瞭である。

而も之等の中少くとも工業に關するものゝ大部分は、機械、工場、敷地其他主として固定的設備のために投下せられたものと見られ得るが、かくの如き物價騰貴の時代に多額の資本を固定せる企業が一度恐慌の襲來に遭ふや、販路の杜絶と共に、多

Digitized by Google Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

少とも急激に物價の下落する結果としてかゝる企業の資本の有機的構成——勞銀として支拂はれる資本部分に對する其餘の原料工場機械等に支出せられた資本部分の割合——が名目上相對的に高くなるが故に、搾取率——勞働時間に對する賃銀の割合——にして變化なき限り、利潤率は急速度に低落せざるを得ない。然るに利潤率の低落は資本家に取つては死を意味する。事實多數の企業は倒産の憂目を見、假令破産を免かれたものと雖も大部分は强く金融資本家の桎梏の下に隷屬せしめられるのである。が併し、企業そのものゝ支配權が金融資本家に移れると否とに拘はらず、兎も角も何等かの形式に於て、又何等かの程度に於て生産を持續し得んが爲めには、資本家的意味に於て相當の儲けが獲られなければならない。

かゝる際に考へ得られる手段は澤山あらうが、竟極する所それ等は互に相關連せる二個の點に歸着する。第一は資本の有機的構成を相對的（貨幣價値的）に低度化せしめることであり、第二は勞働の搾取率を増大することである。

所が技術的には資本の有機的構成は次第に高度化する——總資本中賃銀として支拂はれる資本部分（餘剩價値の源泉）が相對的に減少する——のを原則とする。故にこれが低度化は多少とも人爲的な三個の方面に於て可能である。第一は貨幣價値を下落せしめること即ち物價を騰貴せしめることに依て既に投ぜられた資本の評價を貨幣價値的に低くすること、第二は生産能力を極度まで利用して資本の回轉速度を大にすること、第三は資本の固定部分の評價を人爲的に低くすること即ち減資することこれである。

第一と第二は、斷えざる物價の騰貴を意味し、需要の増大を先要條件とする。然るに恐慌は常に需要の相對的減退を意味し、從て物價の下落を伴ふ。故に恐慌に因る利潤低落の對策としては事實上無意味である。

乍併消極的な意味即ち物價下落の勢ひを阻止する程度に於ては、企業の合同聯合等に依る競爭防止、通貨の膨脹、金利の引下げ、放漫なる財政策等の手段に依て可能である。事實我が國に於ては好んで訴へられた手段であつて、九年の恐慌後の反動期に於ける物價の下落が英米等に比して不充分なのはこの爲めである。而もこのことは生活費を高め、勞銀の低落を困難にし（假令この困難は强權と詐術とに依て乘り越えるとは云へ）生産費の低減を不可能にするが故に、輸出の困難と、輸入の増加とに依つて國の内外に市場を失ふ結果となり、却て生産力の恢復を困難にする。

けれども資本家たるものがかゝるヂレンマに對して何等の策なくして泣寢入るものではない。そこには彼等ブルジョアーの爲めに日夜焦慮劃策して倦む所を知らない政府があり、議會があり、中央銀行、特種銀行がある。關稅障壁を高くすることに依て輸入を困難にし、爲替の立値を動かして輸出に便宜を與へ、而も猶且つ生ずる入超の決濟のためには外債の募集を以てし、かくて金の輸出禁止策を續行して不當に膨脹せる通貨を維持し、或ひは一方に於て公債を償還し、非募債主義を聲明しながら他面に於て依然放漫なる財政策を改めざる等——これ等は何れも物價騰貴特に生活費加重の原因たるものにして、無產階級の負擔に於て資本家を利するものである。これ資本攻勢の第一鋒である。

而もかゝる無產階級の膏血に依てかち獲られる利潤も結局は、一時的偸安に過ぎず、何等困難を根本的に除去することなく、却て矛盾を深化させ、擴大させ、その解決を遷延させるに過ぎない。こゝに於て、或る企業に於ては益々窮餘の策として、固定資產の評價變更に依る資本の有機的構成の相對的低度化の方法卽ち減資の最後手段に訴へられる。これは凡てを失ふ代りに一部の犧牲を以てせんとする外科手術であつて、この擧に出でるのはよく〳〵のことである。かゝる最後の手段に訴へられる前に、前述の諸方法と踊進し而も一層積極的な勞働强取の手段に出る。搾取率の增大が卽ちこれである。

搾取率の增加は勞働時間の延長と勞働賃銀の引下げとの二方面に於て行はれる。勞働時間の延長は必ずしも單純に就業時間そのものの延長のみを意味しない。單純なる勞働時間の短縮は寧ろ一般の輿論であり、趨勢である。然るにも拘はらず勞働時間は所謂「能率增進」の美名の下に延長される。能率の增進とは結局單位時間内に於けるヨリ緊張せる勞働を意味し、ヨリ能率の低い普通の緊張度の勞働に換算する時は、ヨリ長き勞働時間と同一である。

資本攻勢の時代に於て能率の增進は、一は資本家間の競爭に依て、他は勞働者相互間の競爭に由て刺戟され促進される。卽ち前者は、同業者間に何等の協定もない時は勿論のこと、假令生產制限、操業短縮等の協定の存在する時に於てさへ、若しもその制限が運轉機械數又は操業時間等に據る時は、機械の回轉速度を早める等の手段に依て企てられる。かくの如きは勞働者に對してヨリ緊張せる過度の勞働を强制すると共に、資本家に對してはヨリ大なる餘剩價値をもたらすものであつて、勞働時間の單純なる延長と選ぶ所がない。

Digitized by Google　　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

犬に勞働者相互間の競爭に由る場合と云ふのはかうである。資本家制生産の下にあつては常に多數の産業豫備軍即ち失業者の群が勞働市場に存在して勞働力の價格を低落せしめてゐるが、このことは恐慌時特に永久恐慌の時代には一層激成せしめられる。溝渠に溢れた失業者の群は如何なる勞働條件の下に於てゞも、餓死するよりは就業して幾何のパンでも獲んとする。かゝる情況の下にあつては、現實に職を得てゐる者と雖も何日なん時食を奪はれるかも計り知ることを得ない。彼等の生命は實に資本家の末梢神經に繋がれてゐる。そこで浸右衛門の亡靈が彼等を鞭打つ。一年許り前の大英エコノミスト誌の報ずる所に據ると、失業者の續出する當時の情況の下にあつては、勞働能率は約三割の増大を示すと云ふことである。それだけ搾取率が高まる譯である。

勞働賃銀の引下げは、勞働時間の延長又は過激なる勞働の強制せられる場合とは異なり、現實に生活の困難を惹き起すので、波瀾なしには行はれ難い。これが屢々爭議の原因をなすことは、大正八年には勞働爭議總件數中賃銀値下反對の要求を掲げたものが僅かに三分四厘に過ぎなかつたものが、九年には忽ち二割三分となり、十一年には二割七分となつたのに見ても明かである。而も賃銀引下の反對と云ふ様な極めて消極的な要求さへ、資本攻勢の今日に於ては大部分不貫徹に終るのである。而も何時でも招集に應じて動員せんとしてゐる産業豫備軍の存在すると云ふ理由の爲めに、多くの場合には、無産階級は當然の要求をさへ要求し得ずして、不當なる資本の攻勢の前に泣き寢入らざるを得ない。

何處あるが故に何心ある平素の心掛けのよい(?)資本家は、好景氣の時代に於て物價騰貴の結果賃銀値上げの必要に迫られる場合に於ても、決して定額賃銀を餘り引上げることをしない。手當とか割増金とかの名目で、而も恩惠的な意味さへ含ませて、物價騰貴に依る賃銀の相對的減少額の幾分の償ひにする。而も此の手當や割増金は、一度不況時に際會すると、職工長や監督の眼鏡次第で何うにでもなる「勤惰」を標準として專斷的に引下げられる賃銀部分を構成する。加之もつと惡いことには、かくして多數の者の肉を削いで獲た餘剰利得の極く一小部分が最も忠實なる資本家の犬に分け與へられることに依て、所謂勞働貴族と勞働官僚とを資本家の味方として發生せしむべき經濟條件が、資本攻勢の過程に於て作られる。而も斯うした資本攻勢の戰術は巧みに作用して一石二鳥の効果をあげる。かくて養成せられる忠犬が資本家の分裂政策を助けて無産大衆の戰鬪力

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

を減殺するばかりでなく丁度五千圓につられてなけなしの財布の底をたゝいて勧業債券や復興債券を買つて彼等自身を搾る資本をブルジョアに呈供するのと同じ様に、特別賞與や特別割増金の誘惑は、饑じい腹を抱へた多數を驅つてヨリ大なる餘剰價値の生産に粉骨砕心せしめる。

而もかくの如く全然資本家の専断に任せられてゐる賃銀部分は、我が國に於ては、常に平均して定額賃銀の約三割乃至五割に當り、多きは十割、二十割に達するものさへある。定額賃銀と實收賃銀（定額賃銀と割増金、手當等との和）との差額の比較的減少した大正十三年末に於てさへ、日銀の調査に據れば、總平均一日賃銀額は、前者の一圓二十三錢に對して後者は一圓六十六錢にして、この差四十三錢三厘は定額賃銀の三割五分餘に當る。

猶日本銀行調査の賃金指數（これは一部資本家以外には公表しない）に據れば、大正十一年總平均を一〇〇とすると、十二年平均は定額賃銀九七、實收賃銀九五の割合に低落し、十三年平均は少しく恢復して前者九九、後者九八の割合を示し、十四年九月には定額賃銀の平均指數は大正十一年と同じく一〇〇に恢復したが、實收のそれは却て九五に低落してゐる。勞働者の生活に關係のあるのは定額ではなくして實收賃銀であることは云ふまでもない。

更に巧妙にして一般的な賃銀引下げ策として物價引上げに依る相對的引下げ策がある。物價騰貴には資本家に取つて前述の如き消極的効用以外にこの積極的意義が加はる。前記の賃銀指數と對照する爲めに日銀の物價指數を大正十一年平均を一〇〇として換算すると、十二年平均は一〇二、十三年平均は一〇六と漸騰してゐる。更に十四年に入つては一月の一〇八を最高として漸減してゐるが、九月には尚一〇四を示してゐる。前記の如く實收賃銀指數は大正十一年平均を一〇〇とすると十四年九月には九五に低落してゐるが、物價指數は却て同期間に一〇〇から一〇四に上騰してゐる。これ事實上賃銀は九一に約一割低落した事を意味してゐる。これを、前述の如く、能率増進の美名の下に事實に於て三割以上の勞働時間の延長と同じだけ過度の勞働を強制せられてゐる事と對應して考ふる時は、苦しまぎれの資本の攻勢が如何に勞働者を強取してゐるかを知るであらう。

三

昨今我が資本主義も、爾餘の帝國主義的資本主義國と等しく經濟的には多少の安定を恢復しつ、あることは事實である。乍併この經濟的安定――資本家的意味に於ての――なるものも何等その內在的矛盾を克服し、その正常なる生活力を恢復し得た結果ではなくして、その有するあらゆる權力の行使に依て一般無產階級に對する搾取を强め、その生活を不安に陷れることに依て辛じて保たれてゐる一時的小康に過ぎない。而もこの資本家的小康の下にあつて、無產階級はその生活の不安と資本攻勢の一般的、政治的、並に國際的性質とのために彌々尖銳化された階級意識の覺醒に依て、全階級的結束と政治鬪爭への統一との必要を痛感しつゝあるのである。

我が國の產業はその種類に於て、その規模に於て、或ひは又その經營方法に於て著しく多種多樣であり、從て相互間の利害關係に於ても或ひは勞働者に對する關係に於てさへ必ずしも同一でないにも拘はらず、一旦對無產階級、對社會主義(「プロレタリアの理論的表現」たる)の問題になるとブルジョアの神聖同盟は容易に成立する。而も從來多く暗默無意識的であつたものが、近來漸く公然意識的となり、從て、一般的、統一的、政治的色彩を濃厚にしてきた。然らばかゝる推移は果して何を物語るか? これ單純なる農業資本、商業資本、工業資本、貨幣資本等の相違が漸くその獨立性と重要性とを失つて、漸次金融資本の支配下に統一せられつゝある結果に外ならない。而も貨幣の一般的、國際的性質の爲めに金融資本の支配は著しく一般的政治的であり、且つ國際的である。從てかゝる情勢の下に於ける資本の攻勢は又著しく一般的であり政治的であり、且つ國際的である。

かくの如き資本攻勢の一般的政治的情況の下に苦しむ無產階級運動は亦必然的に一般的政治的且つ國際的性質を帶びざるを得ない。搾取せらるる產業部門と勞働條件と、そして國籍とを異にすることに依て生ずる無產階級間の利害の相違は、假令存在するとしても、帝國主義的資本主義の金融資本の一般的支配下にあつては、單にヨリ重要ならざる相違をなすに過ぎない。

こゝに於て無產階級運動の政治鬪爭への發展は、單にあらゆる個々の經濟鬪爭の綜合としてのみならず、資本攻勢の一般的政治的性質に對應して絕對的に必要となる。かくの如き客觀的情勢の逼迫が、未組織勞働大衆の組織化と全國的組合總聯合の成立と、そして全國的單一無產政黨の組織との爲めの運動が同時に開始せられるに至つた理由である。

狂蕩なる資本の攻勢の前には、無產階級全線の統一と組織化とそして擴大との外には戰術はあり得ない。而もかゝる綜合と統一との過程が猶その中に斷えず分解と分化との過程を含み、而もこれが斷えざる克服と止揚に依てのみ眞の統一に推進し得る事の爲めに、そしてその絕對に必要の爲めに、これが屢々資本家の分裂政策に乘ぜらる、所あるは嚴に戒心を要する所ではあるまいか?

規程勵行

横川四郎

確か大正十三年十一月だつたと記憶する。市電自治会は、電氣局の豫算編成に當つて、十四年度の人件費を三百万圓計上させることを當局に要求した、この要求が無殘にも蹂躙されやうとした時、自治会は「規程勵行」と云ふ戰術を把つて、この要求の貫徹に力めたものだ。「規程」とは警視廳令に依る軌道運轉取締規則を指すのだが、これに據ると旅客の乘り降りから、ドアーの開閉、ベルの鳴し方迄で新兵を訓練するやうにキチンと決めてある。その上肝腎な運轉速度は、一時間最高八哩を超ゆるべからず、と嚴命されてゐる。自治会員はこの「規程」を「勵行」しやうと云ふのだから、從業員としてこれ程勤務に忠實な話はない。だがこの「規程勵行」を誰れよりも喜ばないのは、市電當局なのだ、現在の規程外の速度でさへ乘客が輸送し切れず、收入は不足し、市民からは苦情が絶えないのに、モシ規程通りの運轉が勵行されるとしたら、それこそ大變な結果になる。當局が急にうろたへ出したのは蓋し當然で、この戰術は果然奇効を奏して、遂に彼等をして百七十万圓といふ巨額の人件費を豫算に計上せしむるに至つたものだ。

服務の正確を期することによつて、敵を征服せしむる——ところに、「規程勵行」の合理的新戰術たる所以がある。

ところで、この新戰術は、市電自治会によつて始めて試みられたもののやうに考へられてゐるが、吾々の尊敬すべき先輩達は、既に三十年前日本の交通業に於て行つてゐる。世に知れた舊日本鐵道株式會社所屬の機關車乘務員によつて組織された「日鐵矯正會」が、創立に先立ち明治三十一年二月下旬東北線一帶に亘るストライキを斷行したことがある。この「ストライキ」に這入る前、二月十五日から數日に亘つて、この「規程勵行」の戰術を持つて、會社に戰つてゐつた。當時關係從業員に配布した檄文中に「二月十九日を以つて臨時昇給の有無に不係、先づ運動の第一着手として第三三三條を實行すること」云々とある。この第三三三條と云ふのがそれだ。當時鐵道作業局の制定した列車運轉規程に準じて、日本鐵道會社の作つた、運轉取扱規則には、第三百三十三條に於て、規則外の速度を持つて列車を運轉させることを嚴禁して居つた。しかし當時の私設鐵道の經營者と來たら、特にお話にならない程川默羅目なもので、規程とは反對に、乘務員に勤務上の競爭を強いて居つたので、平素の運轉速度は、規程通りではないことが習慣になつてゐた。日鐵矯正會員は、支配階級のこの矛盾を掴んで、第一段の運動方法にしたのであつた。後年自治会が採用した「規程勵行」の新戰術は、實は新戰術ではなく、既に三十年前、完全に吾々の先輩によつて採用されて居たところのものだ。

しかし滑稽なのは、乘務員が第三三三條を勵行すると聞いて、會社が急に狼狽し、即時この條文中の「規程外の速度に依る運轉を嚴禁す」とある嚴禁の二字を條文から削除して終つたことだ支配階級の露骨な心理は如何なる時代にも同じだが、先輩達は、そんなことに決して然古乘れては居なかつた。「假令嚴禁の二字を削除するとも我々は規程に反し無理勉強せざれば運轉上遅れて川々二三時間は保險附なり」と豪語してゐる。何と愉快なことであらう！

Digitized by Google

Original from
UNIVERSITY OF MICHIGAN

◇◇◇……勞農運動……◇◇◇

未組織勞働者の組織について

山本懸藏

勞働大衆と現實の情勢

未組織勞働者を組織するには、各資本の情勢「産業線」を調査し、一定の工場、一定の産業の勞働者を計畫的に、組織方針を確立する事が最も重大であり、急務である。

我國の資本主義は、目下整理の過程にある。小企業の破産と、共の半面には、大資本の合同である。

此の整理は、資本主義それ自身のための整理で、現實の社會不安をのぞきさる處のものではない。資本主義の整理時代にあつては、一般勞働者は、資本主義生存のために、犧牲にされるのである。

此の時代の特徴は、勞働者の生活を飢餓の水準まで叩き落し、飽くなき搾取の手段の下にくるしめつゝある。此の事は各産業別線に沿ふて、日常起りくる處の勞資間の諸問題にて明に知ることが出來る。交通、運輸（船舶）――金屬産業――鑛炭山――纖維工業――一般雜工業（不熟練工を最も多く使用する工業）此等の中の勞働者の窮乏は特に不熟練工勞働者に甚しい。生活の不安と窮乏に最もひどく苦しめられてゐるのは纖維工業、一般雜工業の勞働者である。

此の産業『資本』の整理は急速度で進行しつゝある。かゝる時代にあつては、

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

攻撃的ストライキは非常に困難なるにも拘らず、又勝利の目的が甚だ稀れなるにも拘らず、各所に無計畫的な偶發的なストライキが突發する事によつて明である。

尚、不熟練勞働者のみならず、一般勞働者の情勢を調査してみる時に、賃銀低下、時間の延長等、勞働條件の改惡が行はれつゝある。此等の問題より起る勞働爭議は現實の特徴である。かうした時代に、未組織勞働者の組織運動は、勞働階級一般の利益のために、又勞働者が今日までに獲得した、勞働條件を維持するためにも最大の急務である。

しかるに、一方資本階級にあつては、社會政策の美名を借りて、改良主義的な社會施設により、勞働者を僞瞞し、勞働階級の闘爭的精神を痲痺させる事に努めて居る。故に現實にあつて、未組織勞働者に組織を與へるには愼重なる注意が必要である。只勞働大衆が組織を持てばよい、といふやうな組織方針なら、勞働者に何の役にも立つものでない。未組織勞働者が組織を持つ時、或は組織を與ゆる時には、勞働者は何故に組織「團結」が必要であるかを理解した條件の下に組織されなければ、何等の力も、闘爭力「勞働者解放の精神、其の行動」をもたないからである。

未組織勞働者を組織する時

未組織勞働者を組織する場合に、最もよく注意せねばならぬ事がある。

勞働組合におはいりなさい。賃銀があがる——勞働時間が短縮されます——人間らしく生活ができる、等の宣傳「用語」のもとに、勞働者を組織するなら、これは大な間違である。現實は、以上のやうな宣傳と、全く正反對に資本の攻勢が勞働者を追撃しつゝある時代である。もし勞働者が勞働組合にはいつた、しかし賃銀が上らなかつた時、時間の短縮が出來なかつた時、勞働組合を何のために組織したのか、何のために加入したのか、わけが明らなくなる。人間らしい生活の出來なかつた時、組合員としての勞働者は、どんな考へをするであらうか。組合を組織した、それと同時に、資本家、官憲の壓迫が必ず來る。此の時、今まで無自覺であつた勞働者が目前の利益より一歩も出てゐない時に、此の壓迫にたへられるかどふかが問題である。

そればかりではない。自らの思つてゐた事と、全く反對に人間らしくもならず、賃銀もあがらず、時間も短縮されず、却つて自分の生活は日一日と、不安の度を増して行く時、一方官憲や資本家の壓迫は、その組織の上に益々度を加へるであらう。自分たちが組織をもつたから、官憲や資本家から壓迫されるのではなからうか、と考ゆる勞働者も少なくない。以上のやうな考へが組織された勞働者の間に起つた時、その組織は直に維持が困難となる、むしろ[illegible]して行くのが不可

識の情態におち入るに違ひない。

故に、現實の『資本主義社會の情勢』の下にあつて組織運動をするには、勞働者の社會生活不安の一般原因を、はつきりと知らしめる必要がある。と共に、その原因にもとづいて現實にあらはれて來た結果をしらしめ、其の上に、運動方針の確立が必要である。即ち、ものゝ考へ方、ものゝ見方をはつきりとする教育が必要である。(教育方針は次號で論ずる)

未組織勞働者の組織方法

未組織勞働者間に組織を與へるには、次の樣な方針が必要である。

各地方及び工場の勞働者情勢調査――そのためにオルガナイザーを地方的及び工場内に置く事。オルガナイザーの仕事は

工場内『勞働者間』の有力者を物色する事

工場内の勞働者の不平をとらへる事――その不平が部分的の場合は、一般的『工場全體』に導びく事

工場委員會の組織をやる事

次に、工場委員會は、未組織勞働者を組織するに最も必要であり、有効であるから、其の任務と仕事とを少し陳べてみやう。

(1)一般的及び特定的要求を掲げて未組織大衆に訴ふること。『一般的』とは賃銀、時間、解雇等の一般問題に就いての要求。『特定的』とは大工場や特に勞働條件の悪い產業を目標とした要求。

(2)抽象的宣傳によらず、未組織勞働者の日常生活に觸れた具體的日常鬪爭によりてこれに近づくこと。

(3)共濟組合及び自主的工場委員會を活用し、これを未組織勞働者を組織する一手段とすること。

以上の如き、勞働者の日常の鬪爭題目をとらへるは、工場委員會が必要であり、工場委員會は次のやうな任務を持つであらう。

(1)勞働者の生活を擁護すること。

(2)勞働者の解雇を防止すること。

(3)賃銀その他の問題について勞働者の組織。

(4)ストライキせる他の工場勞働者の援助。

(5)工場内に於ける組織及び未組織勞働者の統一。

しかしながら、自主的工場委員會は、勞働組合に代るべきものではない。何故ならば、勞働組合は、一般勞働者及び產業勞働者の生活を擁護し、賃銀其の他の日常生活の鬪爭的大衆團體である。それに對して工場委員會は特定の一工場内だけの勞働者の組織だからである。

從來の如き勞働組合の組織では、即ち組合と、組合員との關係が、單に會費徴收者及び代表者を通じての連絡であるに過ぎない方法では、眞に大衆の日常鬪爭團體として不充分で

Digitized by Google Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

ある故に、組合の組織は自主的工場委員會を通じて組織せねばならぬ。即ち一工場内の現實生活の鬪爭團體を通じて、その產業を全般的に結束せしめなければならぬ。

　のみならず、工場委員會は全部組合員のみに依つて組織されない場合が極めて多い。一工場内に一團體の組織勞働者と、未組織勞働者の場合、及び異つた團體に屬する二個以上の組織體がある場合に於ても、工場委員會は最も有効な戰術である。何故ならば、その工場内の特定な現實問題に就いて、各組織體は、工場内部に於ける問題で、共同戰線を確立することが出來るからである。然して、組合（階級的鬪爭精神をもたざる團體）に加入せざる勞働者を、工場内に於ける鬪爭的組織體として組織することも出來、亦異つた組織體を統一することも出來る。勿論、この場合の工場委員のそれ自身としては、組合と離れても存在し得るものである。

　現在最も必要なことは、工場委員會の性質及び任務につき極力宣傳し、現實問題について、工場委員會運動に依る共同戰線の確立が必要である。現在の各工場内に於ける勞資共同負擔の共濟制度は、資本家が勞資協調のため、若しくば勞働者を隷屬化するために設けたものであるが、この制度及び共濟組合は、勞働者の日常生活と關係深きのみならず、工場内の勞働者の共同戰線の形成にも關係をもつてゐる。故に工場委員會は次のやうな問題をとらへて、其の運動の進行をさせなければならぬ。

（1）現在の共濟制度の負擔をなるべく勞働者に有利にして、この管理權を勞働者の手に移すやうに努力する事
（2）共濟制度を利用して、全從業員の共同戰線を形成する事
（3）共濟團體及び他の形式をもつ工場内にある協調團體を勞働組合化するに努むる事
（4）組織　動を集中化し、特に大產業及び大工場に主力を注ぐ事
（5）大都會の勞働者のみならず、全國各地の勞働者を組織する事
（過去の運動は大都會中心の運動のかたむきがあつた）

以上は未組織勞働者を組織化するに、工場委員會が必要であり、又工場委員會のやるべき仕事である。

尙、未組織勞働者組織の一般的標語として、目下最も適切なものは、次の如きものであらう。賃銀低下反對――臨時休業中の日給支給――臨時雇制度の撤廢――惡工場規則の改正――親方請負制度の廢止――勞働時間の短縮等の諸問題は、現在の勞働者一般に共通したものである。故に、日常の鬪爭題目として宣傳し、或はその問題に當面した時に、勞働者のために努力し戰ふことによつて、勞働者一般に組合の必要なことを知らしめ、組合組織の要求を起させる事に努力すべきである。

　現存する組合間の共同戰線「全國的總聯合」、現在の如き廣大な未組織勞働者を組織するには、まづ現存する勞働組合間に、共同戰線の確立が必要であり最大の急務である。產業的には、地方的にも、現在のやうな各組合がその地盤をそれ

もつて、各組合獨自の運動をしてゐるなら、正に組織をもたんとしてゐる勞働者は、いづれに行くべきかに迷はされる。故に現存する組合は、聯合若くば合同して、一定の方針の下に未組織大衆に約束的行動を示す必要がある。それのみならず、現存する各組合それ自身が、共同の敵である資本家と戰ふ時に、敵に刄物を渡してあるかの如き感がある。現在起りつゝあるストライキの如き場合は、各自組合の專賣的に、若くば、組合獨自のストライキのやうなつもりでやつてゐるが、勿論ストライキの起つた工場の勞働者が、ある組合に加入してゐる場合もあるにせよ、それは只一つの勞働組合で獨專的にストライキする性質のものではない。一工場内のストライキは從業員全體のストライキであると共に、全勞働者のストライキであるからだ。ストライキの場合は、如何なる團體であらう共、無産者團體であるならば、その應援を受くべきであり又應援すべきである。此の日常鬪爭のあらはれである處のストライキを、活用して組織の集中化に努力することが必要である時に、各組合が獨自の行動をほしいまゝにして居るなら、其の各組合間のあつれきと、みにくき組織爭奪のために、無用の力をつひやし、未組織勞働者組織の途上の大なる損失である。故に、全國的總聯合、地方的組合の合同が未組織勞働者を組織する上に最も急務である。

組合の目的及び教育

以上のやうな情勢や方法によつて、勞働者を組織し、その組織を集中化しただけでは、何等勞働者の組織團體としての價値もないものである。故に、勞働者に組織した團體の目的をはつきりとさせねばならぬ。即ち、其の組織を鬪爭團體としての組織を與へること、其の團體が組織的鬪爭により、資本の搾取に對抗し、現存する勞働條件を維持し、改善し、生活の安定を計り、勞働階級の完全なる解放のために、其の組織團體が行動することに依つて、自からその目的を明確にすることが必要である。

教育は如何にすべきであるか。組合運動―組織運動、實際行動―によつて勞働大衆を教育することである。

勞働階級をして、資本主義の精神的支配より完全に獨立せしめ、階級意識に導く團體的行動の訓練を與へることである。然らば、如何にしてその目的と教育とを一般勞働大衆、若くば團體内にあつて知らしめるか。それには次のやうな事が必要であらう。

（1）勞働者一般的な茶話會　（2）一般的初步の研究會（勞働者は組合が必要である等）（3）讀書會　（4）理論的な討論會　（5）戰術に關する研究會　（6）理論的方面に關する研究會　（7）大衆的には定期的演說會――講演會――ビラ、出版物による教育等を、組織的に計畫的に行ふ事が必要である。以上の組織の活用は、勿論勞働者解放に必要かくべからざる精神のもとに、行はねばならぬ。その過程によつて、おのづから、未組織勞働者組織に關する問題の討議が必然に、ふくまれなくてはならぬものである。（未完）

（三月五日）

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

別子爭議の跡を顧みて

加藤勘十

ストライキの第一義的要素たる勞働者の生活改善――當面の目標――の點から觀れば、結果は前述の如く慘敗であつた。けれども、ストライキが階級鬪爭の最後的鬪爭に向つての一過程であると云ふ觀察が許されるならばそれは豫想外の好成績であつたことと及び住友があらゆる不義不正、暴虐、專横を恣にしても尚且、組合を潰し得なかつたことを特記し得る。

何が原因でこの結果を招來したか。

イ、住友が巨額の買收費を支出したこと

ロ、別子を中心とした住友王國が完全に專制政治を布き得ること

(1)官憲が官憲としての立場を保持し得なかつたこと

(2)進歩的ブルジョアの輿論が絶無なること

(3)地方新聞が住友王國――金權――に一切を奉仕したこと

ハ、住友の奸策によつて勞働者が御用組合の名をもつて二分對立したこと

敗戰の原因――(一)

對戰實に八十有九日(日本に於ける長期の一記錄)横斷組合の最高威力を發揮して惡戰苦鬪の結果が、百八十六名の馘首者と二十五名の入獄者――他に三名の傷害脅迫に因る罰金刑――の犧牲者を出し、要求十三ケ條(内組合を認めるの一項は事實上承認したるも)の内、一ケ條をも容れしめることができなかつた、別子鑛山のストライキは、明かに敗戰であつた。

私はこのストライキの當事者の一人として自己辯明がましい批評などはしたくない。男らしく敗戰は敗戰として、敗戰の原因が何邊にあつたかを探究檢討して、來るべき復讐戰に備へるものである。が、今度の別子の爭議は、觀察の如何によつては、一般勞働運動の上に教ゆる點が尠くないと思はれるから、許された範圍内で、事實を赤裸々に述べて見やうと思ふ。

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF MICHIGAN

一、地理的不便
ホ、食料杜絶の經濟的壓迫を加へたこと

其他數へ上げればまだ二三ないではないが、以上の數項は其の原なるものである。

敗戰の原因——（二）

「百萬円かゝつても糾合をブッ流す」これが鷲尾（勞働課長）の第一モットーであつた。實際其の金の出しぶりは驚くべきものがあつた。如何な三井と雖も三菱と雖も、今度の住友のやうにオシ氣なく巨額の金を支出することは眞似し得なからうと思ふ。

縣警察部の發表は住友が四五十萬円の損失だと云つてゐるが、吾々の見る處では決して百萬円を下つてはゐない。十二月一日以降の出鑛量は平素の四割を出てゐない、產銅額に於いて已に六十萬円內外の損失がある。警察部の謂ふ四五十萬圓とは現に支出した者のみを指した者である。この巨額の費用の內買收に費されたものゝ一二の例を上げて見る。（イ）馘首者百八十何名の實家若くは親類の近く（二三十里位）にあるものは、各部社員を派遣して先づ家族を籠絡買收し、或は父若くば母乃至は伯父母叔父母危篤であるとか、或は急用が出來たとかの僞電を發せしめ、馘首者を郷里に呼びよせて買收をした。（ロ）〇〇が住友の旨を受けて多額の現金をもつて買收せんとした。甚だしきは正服の儘で……………（ハ）裏切者に多額の金を與へて或は郷里に遊ばしめ（非馘首者）或は入坑せしめ或は湯治（負傷者）に行かしめ若くは酒食を供せしめた等々。五人や六人のことなら、ストライキの場合の裏切者誘引策として屢々例を見ることだが、馘首者の全員に及び爭議團の殆んど全員に及ぶが如きは他に一寸類例を見ない事である。

會社の高壓手段、不當なる權力の濫用等に對しては、自ら對抗手段がある。が、この現實に現金を見せビラカシテの誘惑には、仲々對抗策を講ずることが困難である。それでも一八六名の馘首者中斯の誘惑に迷つた裏切者が僅かに三十一名に過ぎなかつたことは、爭議團の結束が如何に强固であつたかを示すものである。

別子鑛山を中心に東豫四郡の有志家とか有力者とか謂はれる連中は、其の殆んど大部分が大なり小なり直接間接に住友の恩惠を蒙り、住友樣々の連中である。苟も住友に逆つては彼等の存在は忽ち無くなるのである。住友は鑛山を中心に山林を數里に亙つて所有するのみならず、一面附近一帶の田地を所有する大地主である（年收三千石を算す）而して附近の町村に對しては所謂溫情主義をふりかざして所謂有志家連中をして隨喜渇仰せしめてゐる。即ち經濟力を以て完全に支配權を掌握してゐる。

隨つて其處に如何なる意味に於いてでも、住友に刄向ふや

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF MICHIGAN

うな意見が外部に現はれる筈がない。若し少しでもさうした傾向があれば直ちに異端者扱ひされて追出されるか、金の鼻薬を吞まされて軟化して終ふのである。然しながら實際に鋤鍬取つて耕す小作人諸君の間には住友の驕慢に對して何時かは爆發せなければやまない鬱勃たる不平が醸されつゝあるのを見逃すことは出來ない。今日の爭議に小作人諸君が爭議團に寄せられた深甚なる好意は明かにそれを語るものである。

地方のブルジョア新聞が固より吾等の味方だとは思はない。けれども、世間體と云ふもの、良心と云ふものが微し位はありさうなものと思ふが、薬にしたくもない。對戰三ヶ月、この間に新聞記者が爭議團を訪ねたのは、僅かに大阪朝日毎日の記者が各一回、海南の記者が四五回、其他一二回位のものである。然も記事は毎日二段ヌキ、三段見出しで、爭議團の悪口雑言を書き立てゝゐる。吾々も最初の中こそ、癪に觸つてしやうがなかつたが、後には寧ろ滑稽を感ずるやうになつた。が、其の新聞が長國全體に無料で配達されて嘘八百が純な勞働者の中へはいることは、結束を保つ上に非常な困難となつたことは爭はれない。

〇〇の行動は氣の毒な位威信のないものだつた。全然住友の御用機關としての範圍を一歩も出てゐない。然も性の悪い陰性的なやり方である。彼等は〇〇を休めさせられて一日も早く住友に雇はれて行くことを希望してゐる連中だから、〇〇の威信と云ふことよりも、住友に忠勤を勵んで、早く見出されたいのが山々なのである。この點はあまり露骨に書いて雑誌に迷惑がかゝつても悪いからこの位でやめておく。

敗戰の原因――(三)

鷲尾が組合を切崩す第一手段として選んだのは御用組合改善會の組織であつた。改善會の幹部には或は小頭とか或は山中取締りとかの名儀を與へて、一日十五錢宛の特別手當を支給し、(昨年八月頃組合の勢力が擡頭しかけた頃)改善會そのものに無利子無期限で一萬圓を事業資本と云ふ名目で貸與し(爭議中にまた一萬圓を支出した)て勞働者を誘惑し、改善會員たることを強制して組合を脫出せしめんとしたのであるが、皮肉にも組合は日々の勢力を增大して最盛時(一時は二千人以上を算した)に復活せんとする傾向を示すに至つたから、鷲尾としては何等かの機會を捕へて組合を潰さんと決心したのである。而して彼の考へついたことは組合幹部の馘首である。それと公傷患者の虐待である。組合としては、組合を潰す決心で幹部を馘首し、全體の勞働者に利害關係を有つ公傷患者をアテツケに虐待して、挑戰されたのに對し、時に形勢不利なるものありと見ても起たざるを得なかつたのである。これがストライキの遠因である。

一方に斯く組合に挑戰すると同時に、他方極力改善會員を

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF MICHIGAN

使嗾して組合と對立關係に立たしめることに努め、偶々組合から提出した歎願書に勞働者一同（吾々としては充分の理由がある）としたことを奇貨として、遂に數百名の改善會員(内意識的のものは數十名に過ぎない）をして組合事務所を襲撃（十二月九日）せしめ組合員をして何等の準備なしに勢ひストライキを斷行せしめなければならないやうにせしめたと同時に、全山の勞働者を駈つて組合側か改善會側（事實はこの外に中立派と稱するものが出來た）かに分立せしむるに至つたのである。

ストライキ決行を前にして確かに吾々の豫定を狂はしめた策に出たことは、流石に鷲尾である。その乘鉢的な度胸を買つてやるべしだ。而してストライキの出發點が改善會員の襲撃が動機となつてゐる以上、兩者の感情は遂に最後まで融和せないで過して終つた。吾々は九日夜の襲撃事件さへ起らなかつたら乾度改善會員をも 部爭議團に加盟せしめ得べき可能性あるを確信してゐたのであるが、この點、意識的か無意識的かは知らないが、確かに鷲尾のために機先を制せられた憾みを告白せざるを得ない。

この點は決して鑛山の特用ではない、工場に於いても充分に警戒すべきだと思ふ。

地理的の不便はどれほど爭議團の活動を困難ならしめたかも判らない。若し假りに前述の一切の條件が、より苛酷なものであるとしても、地理的に惠まれたるものがあるならば勝敗必ずしも逆睹し難いものがあつたであらうことを信ずる。傳令による戰線實に五里に涉り、内三里は峻しい山路である。これでは機宜の處置が取り得ないことが判らうと思ふ。明治四十年、別子の山に騷動が起つたのも尤もと首肯かれる。又、土佐街道を山又山を登つて海拔四千尺の山腹に豚の作むやうな長屋の棟を眺めて、誰か此處に階級闘爭の思潮だ流入すると觀じ得られやう。けれども事實は最も勇敢なる階級闘爭の戰士達が燃ゆる反逆の血を滾られてゐるのである。

又、警察の行動もブルジョア的良心を失つた新聞の氣狂沙汰も、地理的關係が無いとは云はれなからうと思ふ。

敗戰の原因を色々と數へ立てたが、もう一つ、食料の杜絶を闘つた經濟的脅迫も可なりの苦痛であつた。組合員は負傷をしても、病氣になつても現金を持つて來なければ診察してやらない。組合員ばかりではない其の家族も同樣である。診察して貰ひたかつたら組合を脱して來い。而して一方では公傷で治療中のものをドシ〳〵治療の打切り通告を出す。このことは直ちに食料に關係を有つてゐるのである。縱へば食料關係を別にしても、病氣が診て貰ひたかつたら組合を脱して來い。若くは現金を持つて來いと云ふやうな慘忍なヤリ方が許されることとであらうか。非人道だとか不義だとか陰險だと

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

か云ふことは、階級闘争の戰線に於いて弱者の泣言と云へばそれまでのことだが、若しこれが都會での出來事としたら、ブルジョア良心はこれを平氣で許すだらうか、恐らく其の非人道を攻めずにはおくまい。けれども山では勞働組合を除いて誰一人ボソツとも云ふものはありやしない。

この掲示が出された時、よく暴動にならなかつたものだと思つた。これが明治四十年頃否、勞働組合の組織されない時なら、恐らく暴動化してゐたらう。勞働組合に組織された勞働者諸君は組織的力による報復手段を考へて個人的暴動と出ることは隱忍自制されたのである。

尚、こまかい點で重要な點が色々あるけれども、一々書きにくい點が多いから、敗戰の原因はこれ位でやめておく。

以上書き列べた敗戰の原因を熟讀玩味されるなら、冒頭に述べた今度の爭議が階級闘爭の最後的闘爭へ導くためには非常な好成績であつたこと、即ち感情的に若くは利害關係で勇敢であつた勞働者諸君が、明確に階級意識を自覺し、苦闘の體驗によつて階級闘爭の理論と實際を把握するに至つたことは何よりの收獲であつたと云はなければならぬ。

又、豐富なる金の力の誘惑と、金權の前に屈した權力の迫害とが烈しかつたにも不拘、而して彼等が百萬圓費つても潰すと豪語したにも拘らず、遂に組合を潰し得なかつたことと否最後まで組合旗を支持して潰されなかつたことは、勞働組合が階級闘爭の行動機關である限り、明確なる階級意識が金の誘惑に打勝ち、權力の迫害に屈しなかつたことを語るものではあるまいか。闘爭渦中にあつた私が云ふのはオカシイか知らないが、私は今度の爭議は、形の上に於いては確かに住友が勝つて組合が敗けであるが、精神的には確かに組合が勝つて住友が敗けである。即ち住友は勝つて實は敗れ、組合は敗けて實は勝つたと斷言し得るのである。

對戰九十日、何を語る

山のストライキは冬は決して良い時期ではない。否、最惡の時期である。この最惡の時期を選んで三ケ月、この間の闘爭記錄を巨細に記したならば、山の勞働者でなければ味ひ得られない苦難が數限りなく出てくる。それは此處には記せないが、午前一時と云ふ最夜中に小便桶擔いだ百姓に化けて三里の道を山登り、都會の運動に馴れた人々には、涙の出るやうなエピソートである。午前一時二時と云ふ最夜中に路のない雪の山の中を手さぐりて三里の路を攀ぢ登る辛さ、明るい都會では味ひ得られない難行である。各方面から應援した闘士諸君の勞苦は實際感謝に價ひするものがある。

然もこの間、大阪の住友諸君の手による二ケ所（住友本邸と小倉理事の邸宅）の襲撃事件あり、住友の頑陋に猛省を促がすと雖も、愈々頑強を增して行くばかりで、何等の展開作

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF MICHIGAN

用を起さない。然も前述の如き誘惑と迫害は間斷なく來る。費用は莫大に要する。幾度泣かんばかりの悲痛を味つたか知れない。けれども爭議團の結束だけは見事なほど强固に保たれてゐる。

住友も餘程辛かつたと見へて幾度、色々な人物を妥協の探りに爭議團によこしたかも知れない。が、吾々は、力が全く盡きて戰ふ能はざれば卽ち已む、まだ戰ふ力のあるうちは斷乎として無意味な妥協を排して來た。これは當面の作戰としては或は拙かつたかも知れない。然し吾々としてはさうするより仕方がなかつたのである。

一方、住友が精錬事業が止るばかり（正月十四五日頃は正に止らんとした）の危險を冒し巨額の費用を投じ、最後まで戰鬪的態度を棄てなかつたことは、吾々に大きな敎訓を與へたものである。住友は元來、溫情主義を誇りとしてゐたものである。それが、確實に破綻を示したのである。溫情主義の破綻は取りも直さず、日本の資本家の間（例へば住友とか三井とか藤田とか）に幾分殘存してゐた封建的氣分を一掃せしめたことを意味するものに他ならない。

卽ち封建的氣分を就中多分に保持してゐた住友がそれをカナグリ捨てなければならなかつたことは、決して住友が好んでするのではなくして、日本の資本主義がそれを保持することを許さない情態にまで、突きつめて來たことを語るものである。

更に言葉を換へて云へば日本の資本主義も國際資本主義の流れに超然たり得ないで、イヤ／＼ながらも引きづられて行きつゝあることを證するものである。

更に、住友が今度の爭議を單なる別子鑛山の一爭議として取扱はずに、全鑛山業者の利益のために自ら犠牲となつて戰つた形跡の顯著なることは、一層有力に宣言を裏書きするものである。

之を要するに、今日の爭議の經驗は、資本家がどんな犠牲を拂つて組合を潰さうとしても、決して組合は潰されないと云ふ確信を得たこと、鑛夫組合それ自身は今日の處甚だ微力であるが、全國的組織を有する總同盟の力を充分に發揮せしめたからこそ、記錄的戰鬪が可能であつたこと、若し別子だけの單一組合であつたら、恐らく一週間とは續くまい、鑛夫組合だけとしても恐らく二週間は困難であらう。それ以上の時日は全く全國的橫斷的組織を有する總同盟の力であつたと云ふべきである。それと吾々もナマナカの妥協は斷じてやらないが、資本家も大資本家になればなるほど自己の利害のみにては、妥協をなし得ないほどに、資本階級の階級利害の一致を痛感して來たこと、卽ち勞働者が階級意識に目覺めると同時に、資本家も亦階級意識に目覺めて、斯くして階級對立が愈々鮮明となり、鬪爭は愈々熾烈を加へるであらうことを敎へたのである。

吾々はこの敎訓に基いて自己組合の强力を努力すると同時に、勞働者の階級的結合を一層有力にするために、全國的統一を圖るべく努力することを念願とせなければならない。

結語

私は別子爭議の記述を機緣として鑛山勞働運動の全般に亘つて略述する約束をもつてゐて、爭議記錄も極く簡略に扱つたつもりであるが、それでも豫定の紙數を遙かに超過した。それで鑛山勞働運動に就いては他日機會を見て記述することゝし、この稿は單なる別子爭議の記述だけに止める。

爭議の記述はできるだけ(冒頭に斷つてある通り)批判がましく亘る點は避けた。この事實の記錄から、讀者諸君が自由なる批判をもつて、渦中に沒頭して反省の餘裕を失つた私等に敎を與へられれば、それを復讐戰の場合に役立てることにする。（三、一二）

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

極東無産階級の共同戰線……(二)……

安光泉

◇

然るに以上論じて來た處は決して今始めて闡明されたものではない。共産黨宣言にも「萬國の勞働者團結せよ」と云ふ句で結ばれてある。殊に第三インターナショナルはその代表的理論家レーニンの口を借りて、此の問題を餘すところなく明かにした。故に日本、中國、朝鮮等に社會運動が前から活動してゐた以上、此の極東無産階級の共同戰線の必要は、既に前から少くとも各國の少數先覺者に感ぜられてゐたことは疑ひない。然らば此の問題が何故早くから有力な問題とならなかつたであらうか。それは外でもない。民衆運動は決して少數者によつて行はれるものでなく大衆團體によつて行はれるものであるからである。即ちそれが如何に正しい理論であつたであらうとも、大衆は尙ほその具體的必要性を自らの鬪爭によつて感ずるに至らなかつたからである。即ち吾々の運動は、過去に於てはその要求を有つべき階段に達しなかつたのである。しかのみならずそれを妨害する一つの有力なものが常に作用したのである。それは何であるか。

極東無産階級の共同戰線と云ふことは、前述せる如く、政治的には壓迫國であり、經濟的には搾取國であるところの日本の民族と、日本にある政治的被壓迫國であり、經濟的被搾取國たるところの極東諸國の民族との提携を意味する。その關係は優勝民族と劣敗民族との關係である。故に優勝民族であるところの日本の無産階級の國際的精神が發達しないうちは、又劣敗民族であるところの中國及朝鮮等の民衆が偏狹なる民族主義から脫しないうちは、兩者が對等的關係に入ることが不可能に見えるばかりでなく、却つて常に優劣的對立關係の外形を有することになる。否、外觀がそうであるばかりでなく、實際に於ても優劣的對立關係が發露して止まない。その最も苦しい實例を見んとするならば、試みに滿洲に行つて見るがいゝ。其處で行はれる日本人の中國人虐待は、實に世人の想像の及ぶところでない。從つて其處の中國民衆の眼

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

には、日本人でさへあれば如何なるものでも不倶戴天の仇として映ぜられるに至つたのである。又朝鮮に行つて見るがいゝ。そこに移住する日本人は日本政府の保護政策の蔭で敢えて横恣を恣にして、自ら優越を誇つてゐる。そしてその無智なる新來者に對して朝鮮人は、限りない憎惡と輕蔑とを投げ返すのである。民衆を貧窮に陷れた罪は、朝鮮では皆日本人の××と云ふ簡單な原因に歸せられてる程である。その外に最も近い例としては關東××の時の事件、又は今度の三重縣事件も擧げることが出來やう。又賃銀の高低によつて起るところの中國人及び朝鮮に對する憎惡的感情は、相等に發達した。日本の勞働者の間にもあり勝ちである。

これらを一言にして云ふなら、誤れる民族的感情であるが、此の感情は今尚ほブルジョア階級によつて絶えず鼓吹され、非常なる感化力を以つて民衆の聰明を蔽ふて居る。

斯る誤れる民族的觀念が大衆を强く捕へてゐては、先覺者が如何に極東無産階級の共同戰線の必要を論じても、それは大衆には一つの不可解の謎のやうに聞えたであらう。相互に敵と認める民族と民族との間に、どうして親愛なる提携が成り立つであらうか。それは總ての利害から超越した人道主義的要求のやうに見えたであらう。

斯る事情によつて、極東無産階級にありては、「萬國無産階級團結せよ」「極東無産階級團結せよ」等の何も、畢竟一朶の鏡の中の花であつたのである。それは即ち、それが如何に眞理であつたであらうとも、それはたゞ敎へられたる眞理であつて、極東無産大衆自らが闘爭的實践によつて證明した眞理でなかつたからである。

◇

鏡の中の花は今や現實の花となつて極東無産階級に認識される。吾々の闘爭の經驗と資本主義の矛盾の前進とが、吾々をこゝまで導いたのである。そしてそうなつて來ると今までの邪魔物は即ち民族的偏見が急速度を以て消滅して行くのである。

吾々の闘爭は常に戰術の具體的進展を要求して止まない。吾々の國際的闘爭は如何なることをなすことが吾々に利益であり、如何なることをなすことが吾々の義務であるかを明瞭に敎へた。昨年の中國の大罷業を一例として擧げるならば、日本の無産階級はこれによつて中國の勞働者の罷業及びボイコットが自己の運動と如何なる重大關係があるかを明かに認識するに至り、中國の勞働者はそんな場合全極東無産階級が共に動いてくれたなら、自分達の運動がどんな程度まで進展すべきものであらうかを、考へるに至つたに違ひない。そして吾々の斯くの如き自覺は自ら吾々の國際的友情を發達せしめるものである。私は今東京の各無産階級團體（日本、朝鮮、

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF MICHIGAN

中國）の組織した朝鮮饑饉救濟委員會の特派委員の一人として（私の外日本の同志二人）、募集された救濟金を持つて朝鮮に行く途中にあるものであるが、日本の兄弟の誠意の結晶たる此の金がパンとなつて餓えたる朝鮮兄弟の手に屆く時、彼等は力ある一つの新しい感情を經驗するに違ひない。

これらは皆實踐によつて戰ひ取つた條件であるが、その外又吾々の敵であるところの資本主義そのものも、極東無産階級の提携を促進する條件を準備してくれる。日本の資本主義の崩壞過程が前進すればする程、その罪惡だらけの正體を露はして、それに對する吾々の判斷を正しくしてくれる事も勿論その一つであらうが、その外一つ見逃すべからざる條件が日本内に展開される。日本内に於ける、朝鮮勞働組合及び中國勞働者組合の發達と、朝鮮人の思想團體、靑年團及び中國人の國民黨支部の發達とが卽ちそれである。これらの團體は日本の無産階級と中國及び朝鮮の無産階級との間の橋の樣な役割を持つてゐなければならぬ。そして私の察するところでは實際に於ても彼等は此の役目を演ずるためには如何なる努力をも辭しないと云ふことを常に忘れないでゐるのである。

『人は解決されるべき問題のみを問題とする。』

吾々が今盛に叫ぶところの極東無産階級の共同戰線と云ふ問題は遠からず實現されるに違ひない。前述の如く其の實現のための條件は既に備つてゐる。日本の各團體の態度さへ一致するやうになれば少くとも中國及び朝鮮の各團體は直ぐ之れに應ずるであらう。それらが中心となつて努力すればその成功は掌を返へすが如きであらう。故に之れか成功の早晩は今全く日本の無産階級の態度如何にかゝつてゐる。

極東無産階級の共同戰線が張られる時、吾々の鬪爭は倍前の力で突進することが出來るであらう。それによつて吾々は益々國際的精神に於て敎育され、信認及び友誼を厚くし、民族的偏執、排外心、分離心を克服することが出來るであらう。それは一小インターナショナルにして、世界的インターナショナルの、最も必要なる一部門的活動を引受けるであらう。

今叫ばれつゝある此の極東無産階級團結と云ふ標語をして、益々有力ならしめよ。そして實現されなければならないものをして早く實現せしめよ！

（一九二六、二、八、釜山水上警察署に引置されて書く）

ダイヤモンド勞働主領

まさいち

◇

若しこゝに、株式會社があつて、その收入や利益の全部を、株主には少しも配當せずに、社長や重役連中ばかりて分配してしまうとしたら、どんなものだらう？

◇

この世界に於て最も珍とすべき會社が米國にある。その名は米國勞働組合A・F・Lといふ。前社長ゴンパース君がウヰルソン大統領と肝膽相照し、世界大戰で大儲けをやり、大統領以上の給料を搾り取つてゐて、アムステルダム・インターナシヨナルは赤色だから我A・F・Lは、絕對にこれに加入することは相ならぬとうそぶいて、その御用ぶりを發揮したことは有名な話だが、現社長のグリーン君もゴンパース親方に劣らない御用社長とみへる。グリーン君の指には數万ドルのダイヤモンドの指輪が、燦然として輝てゐることは誰知らぬものゝない話である。

◇

ところが、この間、この羊のやうな米國勞働者の間から、とんでもない不心得な要求が提出されたのであつた。

『赤いソヴヰエツト・ロシヤを見物に我A・F・Lの代表者を送らうではないか』といふ提案がそれである。

◇

これに對するグリーン君のあの燦然たる指輪の拳で机をたゝいての反對理由が面白い。東洋の或る國では『朱に交はれば赤くなる』といふ言葉があるやうに、赤いロシヤに行くことは朱の中にはいることであつて赤く染めあげられて歸つて來られてはたまらないといふのである。即ち『米國勞働者にソヴヰエツト・ロシヤを觀察させなくとも、又觀察の報告を得なくとも、既にロシヤの狀態は十分に分つてゐる。ロシヤはテロリストの獨裁專制國である。これだけ分つて居ればこの上特に觀察させる必要は絕對にない』と。

◇

そして、英國の勞働會議から多數の代表がロシヤに派遣されてその視察報告が、何れもソヴヰエツト讃美であり、眞に無產階級の利益を標準とした勞働者國家の組織である點を特筆されることは、グリーン君に取つては死の宣告と同樣に、忍び得ざる處のものであらねばならぬ。米國の勞働階級から觀察に派遣された代表者が、またも同じやうな讃美的報告をされては、グリーン君はたまらないのである。

『ロシヤの視察に赴いたり、視察に赴かせたりする英國の勞働運動のリーダー連は、もと〳〵共產主義者であつて、ソヴヰエツト・ロシヤを讃美するのに何も不思議はない』と。つけ加へた。

◇

日本に無產政黨が組織された時、その創立委員會の席上で、共產黨のあり得べき筈のない、日本に於て、あれは共產黨系團體だから、今度の無產者黨から斷然排斥すべきてある。彼は共產黨系だから、加入させることは出來ないと主張した代表者があつたやうに聞いたが、これはゴンパースの血を引いてゐる者に違ひない。それは兎に角、これによつて、グリーン君の指のダイヤモンドの光は愈々燦然たる光を發し、グリーン君の一喝にあつて默するたわいない勞働者を有する米國は讃むべきかな！である。

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

左翼小兒病（一）

堺利彦

『小兒病』といふ言葉は、近來我國の勞働運動に於いて、一つの流行語になつてゐる。或者はこの一語を投げつけさへすれば、有ゆる左翼弱點が批難し盡されて、自分の如何なる怪しい立場も、それが爲に是認されるかの如く考へてゐるらしく見える。或者は又、一かど自ら左翼を以て任じ、この一語を以て極左翼の過ちを指摘すると信じながら、その間に自分がいつか、反對の日和見病に落入つてゐる（或は落入らんとしつゝある）事に氣づかないでゐるのではないかと見える。更に或者は又、この一語を以て自ら警めると稱しながら、猶ほ幾らか（或は依然として）その病に冒されて居り、甚だしきは猶ほ自ら其の病的心理に誇つてゐるかに見える。

そしてこの流行の一語は、レーニンの著述『左翼共産主義の小兒病』から來てゐる事は勿論であるが、この語を用ゐる人々が必ずしも總て正確にその意義を理解してゐるとは限らない。或は態とそれを曲解して利用してゐるのもあり、或は只だ漠然とそれを誤用し濫用してゐるのもあるだらう。そこで我々はこの際、このレーニンの著述の內容を、大要だけなりとも繰返して考へて見たいのである。

この書の內容は既に幾度もあちこちで大體紹介されて居り、又その全譯も單行本として發行されて居るが、ここには便宜の爲、簡單に、分り易く、自由な抄譯を作つて見る。

もちろん、日本左翼と、ヨーロッパの左翼と、全く同じものではない。又ロシヤの事情が必ずしも一々日本に適用されるものでもない。然し『小兒病』の曲解と濫用が盛んに行はれてゐる時、改めてその正しい源を探つて見る事は、種々の意味に於いて利益があると思ふ。

自由な抄譯とは云ふが、折々は多少の註釋や說明を加へておく。法律上の考慮の爲、變更省略を加へる場合の少なくない事も、宜しくお察しを願ふ。

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF MICHIGAN

一　ロシヤ革命の國際的意義

ロシヤのプロレタリヤが政權を握つてから暫らくの間、西部歐洲の先進諸國に於ける將來のプロレタリヤ革命は、このロシヤ革命とは餘ほど違つたものになるだらうと考へられた。然し今日(一九二〇年)では、ロシヤ革命の根本的特徴の若干が、一地方的、一國家的、ロシヤ的のものでなく、確かに國際的意義を持つ事が明らかになつて來た。

但し、この事實を誇張して、ロシヤ革命の有ゆる事物を他國に適用しようとするのは、大なる誤りである。又、今後先進國の一つにプロレタリヤ革命が起つた以上、必ず諸事物に激變を來し、ロシヤは從來のモデルたる資格を失ひ、再び社會主義的後進國の列に下るであらうといふ事を、今から考慮に入れて置かないのは、同じく大なる誤りである。(この、ロシヤが將來再び後進國になるといふ考は、特に注意しておくべきだと思ふ。)

然し今日の場合、ロシヤの實例が、西歐諸國の近き將來に對して、極めて重要なる或物を示現する事は、確かな事實である。各國の進歩した勞働者は、疾くにそれを理解し、或は本質的に直覺してゐた。

然るに第二インタナショナルの首領達、即ちドイツのカウツキーその他は、それを理解する事が出來なかつたので、その爲に日和見主義者となり、裏切者となつた。けれども其のカウツキーが昔しは次の如く語つてゐる。

『革命の中心は東方から西方に動きつゝある。十九世紀の前半には、その中心がフランスにあり、時としてはイギリスにあつた。一八四八年、ドイツが革命國の列に入つた。然るに廿世紀は、更にこの革命の中心がロシヤに移る事を思はせてゐる。今ま燃えあがつてゐるロシヤの革命運動は、我々の陣列の間に漲りはじめてゐる所の、萎靡不振の態度を根絶する手段となり、我々の大理想に對する戰鬪的精神を再燃せしめるであらう。ロシヤが西部歐洲の爲に、專制主義であつた時代は疾くに過ぎ去り、今は反對に、西部歐洲がロシヤの專制主義の爲に頼みの綱となりつゝある。現在に於けるロシヤの鬪爭が如何に終るにせよ、その多大なる犧牲の血は、必ず他の文明國に於ける戰鬪精神の萌芽を養ひ育てるであらう。……　……』

昔しのカウツキーの如何に立派なる事よ!。

二　ボリシエヰキ成功の一主要條件

今日では恐らく誰でも認めてゐる事だらうが、若し我がボリシエヰキが、最も嚴格なる紀律を持ち、勞働階級の滿腹の支持

を受けなかつたら、二年半は愚か、二個月半も持ちこたへる事は出來なかつたらう。

プロレタリヤの獨裁は、强大の敵に對する、新興階級の激甚なる鬪爭である。ブルジョアジーはその顚覆後に於いて、殊にそれが一國のみに於いて顚覆された場合、十層倍の反抗力を生ずる。ブルジョアジーの力は國際資本の上（卽ち强大なる國際關係の上）に存するばかりでなく、又實に、多數に殘存してゐる所の習慣の力、小産業の力の上に存してゐる。故にブルジョアジーを征服し盡すには、是非とも長日月の、辛抱强い、必死の戰ひが必要である。

繰返して云ふ。ロシヤのプロレタリヤの勝利は、多くの人々に對して實物敎訓を與へた。プロレタリヤが勝利を得る爲には、無制限の中央集權と、極めて嚴格な紀律とが、その重要條件である事が實證された。然し多くの人々はそれ以上を考へない。なぜ彼等は、ボリシエヰキを喝采すると同時に、もすこし立入つた分析をして、その紀律の確立された理由を考へて見れないのか。然らばプロレタリヤの紀律は如何にして生じ、如何にして發達するか。第一、プロレタリヤ前衛の階級的自覺。その獻身的態度、犧牲的精神。第二、彼等の勞働大衆との接觸。及び或程度まで、非プロレタリヤ勞役者との融合親和。第三、この前衛の行ふ政治的指導の堅實。その政治的戰術の正確。殊に勞働者が自己の實際の經驗に依つて、その指導および戰術の堅實を確信する事。以上の諸條件がなくては、プロレタリヤの紀律は空言であり曲藝である。又これらの諸條件は一朝にして發生するものでなく、必ず永い努力と苦い經驗とに依つて作りだされるものである。

ボリシエヰズムが一九一七――二〇年に於いて、能く大國難の間に嚴格なる中央集權と紀律とを保ち得たのは、只だ實にロシヤ特有の歷史的事態の結果である。

ボリシエヰズムは一九〇三年、マルクス主義の確乎たる基礎の上に生れた。そしてマルクス主義の正確は、十九世紀を通じて、歐洲諸國の經驗に依つて立證されたばかりでなく、又殊に、ロシヤに於ける革命思想の、幾多の混亂や、動揺や、過誤や、失望に依つて立證された。ロシヤは實に五十年間の勞苦と犧牲とに依つて、有ゆる歐米の經驗に學びつゝ、この正確なるマルクス主義の理論に到達したのである。

ロシヤは又、一九〇三――一七年の十五年間に於いて、他國の全く知らざる多種多樣の革命的經驗を持つた。卽ち合法的および非合法的、平和的および暴力的、公然的および秘密的、小團體的および大衆的、議會政策的および恐怖主義的の、有ゆる經驗を持つた。殊にそれが後進國であり、殘虐なる專制政治の下であつた爲に、却つて能く熱心に歐米最新の政治的經驗を利用して、迅速なる運動の成熟を來したのである。

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF MICHIGAN

三　ボリシエヰズムの歴史

(1)革命準備時代(一九〇二—五年)　大あらしの襲來が到る處に感知された。外國にある亡命者の新聞雜誌が有ゆる革命問題を論議した。ブルジョア自由主義、(社會民主黨、及び社會革命黨の扮裝の下に隱れた)小ブルジョア民主々義、プロレタリヤ革命主義、この三大政治思潮の代表者が、近づきつゝある階級鬪爭に對して、それ〴〵思想的の準備をした。

(2)革命時代(一九〇五—七年)　諸階級が表面に現はれた。有ゆる綱領や戰術の問題が大衆の行動に依つて試驗された。他國に類例のない大ストライキ運動が起つた。經濟的ストライキが政治的ストライキになり、更にそれが叛亂と化した。前衛のプロレタリヤと、後陣の農民との關係が實際に試驗された。鬪爭の自然的發達の間から、ソヴイエツトの組織形態が生れた。一般大衆としても、首領連としても、諸階級諸黨派としても、政治上の根本知識を獲得した點に於いて、この期間の一個月は、他の平和時代の一年に相當した。一九〇五年の下稽古がなかつたら、一九一七年の十一月革命は不可能だつたらう。

(3)反動時代(一九〇七—一〇年)　ツアールの專制主義大勝利。革命諸黨、反對諸派、悉く破滅。沈滯、墮落、分裂、解散、變節。政治運動の代りに淫蕩文學の流行。反革命思想の外被として、理想主義、神秘主義の興隆。同時に革命黨派および革命階級は、この大敗北に依つて有益なる實教訓を得た。

勝ちほこつた專制主義は、然しながら、舊ロシヤの分解を促進させた。ロシヤは驚くべき速力を以てブルジョア的發達の道程を進めた。ロシヤには資本主義を避ける可能性があるといふ幻想が全く破滅した。階級鬪爭が全く新らしい、一層激烈な形體を備へて來た。

革命諸黨派は更にその訓練を積まねばならなかつた。彼等は從來、攻擊する事のみを學んだが、今は更に退却する術を學ばねばならなかつた。終局の勝利の爲には、攻擊の知識と共に、正しき退却の知識が必要である。破滅した諸黨派の中、ボリシエヰキが最も秩序よく退却した。彼等の損害は最も少なかつた。彼等は黨のタネを保存し得た。そして彼等が之に成功したのは、極めて大膽に空言の革命家連を排斥したからである。それらの革命家連は、退却の必要をも悟らず、反動的なる議會、反動的なる勞働組合の中に合法的に働らく事の必要も悟らなかつたのである。

(4)復活時代(一九一〇—一四年)　復活は緩漫であつた。ボリシエヰキは無限の困難を乘り越えつゝメンシエヰキを擊退した。メンシエヰキが勞働運動に於いてブルジョアの手先を務める事は、一九〇五年以後、完全にブルジョアジーから認識さ

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

れ、從つて其の擁護の下にボリシエヰキと對抗してゐた。然しボリシエヰキが若し、有ゆる合法運動をも利用するといふ、正しい戰術を取らなかつたなら、あれほどの成功は得られなかつただらう。卽ちボリシエヰキは最も反動的なる議會に於いて、勞働投票の全部を獲得した。

(5)帝國主義世界戰爭(一九一四——一七年)　この時代に於いて、合法的議會政策が、極端保守的の議會に處して、革命的プロレタリヤ黨の爲に甚だ大なる功を奏した。ボリシエヰキの代議士等は續々としてシベリヤに送られた。國外亡命者の新聞雜誌には、帝國社會主義、愛國社會主義、排外社會主義、徹底的および不徹底的國際主義、平和主義および平和的幻想否定の革命主義など、有ゆる態度と色彩とが發現された。第二インタナショナルの學識ある馬鹿共は、平生、ロシヤ社會主義の分派爭ひを嘲笑しながら、一朝戰爭が勃發して、自分等の國に於ける有難い「合法性」が奪ひ去られた時、彼等は全く度を失ひ、スキツルその他に於けるロシヤの革命家が發表した樣な、自由な、不合法な正論の眞似すらも出來なかつた。斯くて彼等は最惡の裏切者となつた。若し夫れボリシエヰキが後に勝利を得た其の原因の主なる一つは、彼等が早く一九一四年に於いて、愛國社會主義の罪惡を指摘し盡し、同時に民衆が自己の經驗に依つて、段々ボリシエヰキ說の正當を信じつゝあつた事に在る。

(6)第二ロシヤ革命(一九一七年三月——十一月)　既に老衰してゐたロシヤの專制政治は、戰爭の重荷の下に崩壞した。僅か數日の中に、ロシヤは極めて自由なる民主的ブルジョア共和國となつた。政府は他の立憲諸國に眞似て、反對諸黨派の首領に依つて組織された。

メンシエヰキと社會革命黨とが、僅か數週間の中に、第二インタナショナルに屬する歐洲諸名士の、有ゆる術策や詭辯を用ひ盡した。歷史は皮肉にも、後進國の日和見主義者をして、先進諸國の日和見主義に先鞭をつけさせた。

更に歷史の皮肉は斯ういふ事になる。一九〇五年、ロシヤにソヴイエットが生れた。一九一七年、三月から十一月まで、それがメンシエヰキの手に掛つたが、メンシエヰキはそれの任務と意義とを理解する力がなかつたので沒落した。そして今、ソヴイエットの思想が急速の力を以て西部歐州諸國の勞働階級に傳播すると、第二インタナショナルの古い諸名士は、ロシヤのメンシエヰキと同じく、それの任務と意義とを理解する力がないので、到る處に續々として沒落しつゝある。そこで經驗が敎へる。西部歐洲の諸國は、プロレタリヤ革命の根本的の諸點に於いて、必然的にロシヤの經驗を繰返さねばならぬ。

然しボリシエヰキの戰ひは頗る用心ぶかいものであつた。兎かく歐米で認められてゐる樣な、決してそんな無準備なものではなかつた。最初の間、我々は政府の顚覆を要求せず、先づソヴイエットの構成と態度とを變更しないでは、政府の顚覆の不

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF MICHIGAN

可能である事を說明した。我々は又、ブルジョア議會のボイコットを要求せず、それの有るは無きに優る事を說き、そして次に、勞働者および農民のソヴイエット共和國が、如何なるブルジョアの共和國にも優る事を說いた。そうした用心ぶかい、氣永な準備があつてこそ、我々は一九一七年十一月の勝利を得たものである。

四　敵は何者であつたか

勞働運動に於けるボリシエキズムの第一の敵は日和見主義である。この日和見主義は一九一四年に於いて、明らかに排外的社會主義となり、そして遂にはブルジョアジーに降つてプロレタリヤを敵とした。この敵に對するボリシエキズムの働きは、既に善く外國にも知られてゐる。

然るに今一つ、餘り外國に知られてない、ボリシエキキの多年の敵がある。それは小ブルジョア革命主義で、無政府主義に似て居り、又幾分それから借物をしてゐる。マルクス主義の確認してゐる通り、小資產家は資本制度の下に於いて、絕えず甚だしき壓迫を受け、急激にその生活條件を脅かされる事が屢々であるので、彼等は自己の零落に當面した時、容易に極端な革命主義になるが、但し彼等には堅實性もなく、團結心もなく、紀律もなく、落ちつきもない。こうした革命主義の弱點、その無力な事、その忽ちにして從順、冷淡、空想、甚だしきは或る流行のブルジョア思想に對する惑溺に變形しやすき事、――それらは世間周知の事實である。

無政府主義は兎かく勞働運動の日和見的罪惡に對する一種の刑罰であつた。無政府主義と日和見主義とは、互に助けあふ所の、二人の片輪者である。ロシヤ國民が多量の小ブルジョア的要素を持つてゐるに係はらず、一九〇五年から一九一七年までの諸革命の間に、無政府主義が比較的些少な勢力しか揮ひ得なかつたのは、一つにはボリシエキズムが常に日和見主義に對して猛烈な戰鬪をやつてゐたからである。然し今一つ、それよりも重大な原因は、無政府主義が十九世紀の七十年代に全盛を極めて、それが革命階級の指導原理として全く無効である事を曝露したといふ事實にある。

ボリシエキズムはその創立以來、常に小ブルジョア的、半無政府主義的、及び耽溺無政府主義的革命主義と戰ひ、それが爲、殊に社會革命黨と戰つて來た。社會革命黨は第一、マルクス主義を拒否し、諸階級の實力と、その相互關係との、嚴密な測定の必要を理解しなかつた。第二、彼等は個人的の威嚇主義と暗殺手段とを以て、特に「革命的」「左翼的」と考へたが、マルクス主義者はそれを拒否した。但しその拒否が効果上の考慮から來てゐる事は明白である。第三、彼等はドイツ社會民主黨の比

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

較的輕微な罪を嘲笑する事を以て、自分の「左翼的」なる所以と爲しながら、自分は却つて同黨内の極端な日和見主義者を眞似てゐた。

兎にかく歴史は世界的の規模を以て我々の見解を立證した。マルクス主義は正確である。無政府主義者が國家の觀念について日和見主義を指摘してゐるのは正當であるが、それはマルクス主義の罪ではない。第一、この日和見主義は、國家に關するマルクスの意見の曲解もしくは隱蔽の結果である。第二、この日和見主義的國家觀を變更させて、ソヴイエットの權力の承認に向はせたものは、即ち歐米社會黨内のマルクス派なのである。

五　自黨内の左傾派

次にボリシエキズムが自黨内の「左翼」に對して特に激烈な鬪爭をやつた場合が二つある。一つは一九〇八年、反動的の議會および勞働組合に參加するか否かの問題。今一つは一九一八年、ドイツとブレスト條約を結んだ時、その妥協を許すべきか否かの問題。

一九〇八年、左翼ボリシエキキは、反動的議會に參加することを頑强に拒否した爲め除名された。この左翼の中には、ルナチヤルスキー、ボクダノフなどの如き、非常に立派な革命家があつて、それらは後に共産黨の有力な黨員になつたのだが、彼等は當時、一九〇五年の議會ボイコットの政策を取らうとした。一九〇五年八月、ツアールが諮問議會を召集した時、ボリシエキキは議會ボイコットを宣言した。同年十一月の革命は實際その議會を一掃してしまつた。この場合、ボイコットは正當であつた。それは當時、大衆ストライキが急激に政治的ストライキに轉化し、更にそれが革命的ストライキに轉化するといふ、客觀的情勢が現はれてゐたからである。そこで若しそうした情勢が現はれない場合、ボイコットは決して健全な政策でない。

一九〇五年の議會ボイコットは、大いに勞働者の政治的經驗を豐富にした。然しその經驗を盲目的に、模倣的に、無批判に、異なつた事情の下に移す事は、實に大いなる過ちである。一九〇六年に於ける議會ボイコットは、容易に矯正され得る小過失であつた。個人について言ひ得る事は、大體、政黨にも當てはまる。賢人とは過ちをせぬ人の事ではない。そんな人はあり得ない。只、小い過ちをして、それを直ぐにたやすく矯正するのが賢人である。然るに一九〇七年、一九〇八年、及びそれ以後に於ける議會ボイコットの態度は、容易に矯正され得ない重大な過失であつた。當事は革命の急激な高潮が豫期されず、合法的運動方法の利用が必要となつてゐたからである。

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

一九一八年には、事態が分裂とまでは運ばなかつた。左翼は共産黨内に分派を作つたが、それは短命であつた。同年、左翼の有力なる代表者、例へばラデック、ブハリン等の諸同志が、公然と自己の過失を承認した。然し彼等は初め、プレスト條約を以て、原則上、許すべからざるものと爲し、帝國主義者との妥協を以て、プロレタリヤ黨の爲に危險だと考へたのであつた。實際それは帝國主義者との妥協に相違なかつた。然しそれは、當時の事情として、絕對命令の妥協であつた。

（このプレスト條約締結の時の事には、少し註釋を加へて置きたい。當時レーニンに取つては、媾和は善惡の問題でなく、唯だ焦眉の急要であつた。媾和條件の如何などは、初から問題でなかつた。然しトロツキイその他に取つては、ドイツの軍國主義的條件を承認して調印する事は、國際社會主義の名譽にかけて忍ばれにいのであつた。トロツキイは媾和委員としてプレストに出張し、熱烈悲壯な態度で以てドイツのホフマン將軍と談判し、若し我々の言を聽かないなら、我々はドイツの勞働者に訴へてドイツに革命を起させると威嚇し、それで彼はホフマンを凹ませ得たと信じてゐた。所が、トロツキイは一杯くわされた。トロツキイは往々にして、自己の議論に對する熱情の爲に、實際上の形勢を見逃す事があり、言葉の上の氣分本位が、やがて行動の上の氣分本位になる、と評されてゐる。

それからトロツキイが調印を拒んで引き揚げて來たので、ロシヤ國內は大騷ぎになつた。ドイツ兵は進軍して來るだらうか。トロツキイは否と答へた。然しレーニンは然りと答へた。ドイツ兵が進軍して來たら、ロシヤ兵は能くそれと戰ふだらうか。多くの人々は然りと答へた。然しレーニンは否と答へた。そしてレーニンは、この媾和條約に調印せねばならぬ理由を廿一箇條に書きわけて、大學で講義でもしてゐる調子で說明した。然しトロツキイは猶ドイツに望みを屬してゐた。革命がドイツに起りかけてゐる！。彼は革命の步いて來るのを見た！。然しレーニンは靜かに云つた。我々は革命的言辭に醉つてはならない。然しトロツキイが一時、形勢を支配した。この時、レーニンを捕縛するといふ陰謀すらあつた事が後に知れた。

然しドイツ軍が遠慮なく前進して來た時、人民委員會（內閣）は一票の差でレーニンの調印說を可決した。それから條約批准の爲に全露ソヴイエット大會が開かれた時演說者も大抵みな調印に反對した。レーニンは內々で英米二國に發した援助の要求に對する返事を待つてゐた。然しその返事は來なかつた。夜の十一時三十分、レーニンは遂に立つて調印贊成の演說をした。大會は止むなく遂に大多數で批准を可決した。その時、レーニンの態度と覺悟とを次の如く評した者がある。『彼は革命の町なるペトログラードをも明渡すだらう。神聖の町なるモスクワをも明渡すだらう。只だ何處でなりと、一尺一寸の土地の上にでも、能くこの革命を持ちこたへる事さへ出來るなら、彼はこの際、何物をも引渡し、何處までゞも退却しただらう。』前にレーニンが退却の術を知る事の必要を說いたのも思ひあはさる。我々はレーニンのこうした方面にも深く學ぶ所がなければならぬ。この註譯の內容は、山川均氏著『レーニンとトロツキイ』に據る。）

私はこの妥協問題について、よくこんな喩へ話をする。假りに諸君の自働車が武裝した盜賊群に襲はれたとせよ。そして諸

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF MICHIGAN

君が、金も、旅行券も、短銃も、自働車も、皆な彼等に引渡してしまひ、その代りに諸君が身體の自由を與へられたとせよ。それは明らかに妥協である。然し誰もそんな妥協を、原則上、許すべからずとするものはあるまい。況んやそんな妥協者を、盗賊の共犯と目するものはあるまい。我々がドイツ帝國主義と妥協したのは、實にそうした妥協であつた。

然し、ロシヤのメンシエヰキや社會革命黨、ドイツのシヤイデマン一派(隨分の程度までカウツキー一派も)、フランスのルノーデル、ロンゲー一派、イギリスの獨立派、勞働派、フエビヤン派などが、一九一四―一八年と、一九一八―二〇年とに行なつたのは、銘々自國のプロレタリヤと對抗して、自國の、及び時としては聯合國の、ブルジョアジーの盗賊群と妥協したのである。それは實に教唆罪、幇助罪を犯した事になる。

結論は明白である。原則として妥協を拒否する事、一般的に何でもかでも總ての妥協に反對する事、それは眞面目に取扱ふに足らぬ幼稚さである。眞に勞働運動に忠實であらうとする者は、許すべからざる妥協、即ち日和見主義と裏切とを嚴密にゑりだして、それらを徹底的に批判し、飽くまでヤツつけてしまふべきである。そして謂ゆる『經驗ある社會主義者』が、『一般的妥協』に反對するは幼稚だといふ議論に隱れて、自己の責任を回避しようとするのを、何處までも摘發すべきである。

妥協はいろ〳〵である故にそれ〴〵の妥協について、その情勢と、具體的の事實とを分析する事が必要である。即ち、盗賊の與へる害惡を輕くする爲に、そして早くその盗賊を捕へる爲に、止むなく金と武器とを彼等に引き渡した者と、盗賊と贓品を分配する爲に、金と武器とを引渡す者と、その區別をする事が必要である。然し政治上では、その區別が、この喩へ話の樣に容易ではない。豫め一定の差別方式を立てゝ、それを總ての場合に適用するといふわけには行かない。然し二三の根本原理を擧げて見れば、次の如くである。

ブレスト條約を締結してドイツ帝國主義と妥協した我黨は、一九一四年以來、常に國際主義をとつてゐた。我黨は帝國主義的掠奪戰の中に於いて、『祖國を擁護』する事を否認した。我黨の代議士は、ブルジョア政府の大臣となるよりも、シベリヤの囚徒となる事を撰んだ。我黨は自國の帝國主義者と馴れあふ事を拒絶して、それを顚覆した。我黨は政權を握つた後、總ての國々に對して媾和を提議した。そして英佛の帝國主義者等がその媾和提議を受けつけなかつた時、そして又ドイツの革命を促進する努力が効を奏しなかつた時、その時、我黨は初めてブレストの盗賊群に讓歩したのであつた。こうした我黨の、こうした情勢の下に於ける、こうした妥協は絶對に正當である。

ロシヤのメンシエヰキや社會革命黨は、一九一四―二〇年に於ける第二インタナショナルの諸首領と共に、謂ゆる『祖國の擁護』即ち自國のブルジョアジーの擁護を是認する事に依つて、その裏切を始めた。彼等はブルジョアジーと提携して、自國のプロレタリヤと對抗する事に依つて、その裏切を續けた。彼等の妥協は徹頭徹尾、帝國主義的掠奪に對する分配參加の爲であつた。(未完)

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

知らざる者

藤森成吉

一昨年から去年へかけて勞働した時、――又勞働を賣り物にするか、なぞと、どこかで口喧ましい人から怒鳴られそうで、僕も出來るだけこんな事は書きたくないが、云ひたい事の順序でやむを得ない。乞ふ諒せられよ。――僕はすべての知人友人に、御不沙汰してくらしたが、でも一つの勞働から他の勞働へ移るあいだ、何度も家へ戻つた。その時期を待つてゐて、と、いろんな人が押しかけて來る。あらかじめ約束させられてゐた客には、會はないわけにも行かず對面する。その時、僕に著るしく深い印象を殘したこと、――と云ふよりは、むしろ相手に殘したらうことは、僕の心の焦立ちだつた。

×

ことはつておくが、客の大部分はインテリゲンチャに屬する人達だつた。その多くの人の話を聞いてゐると、實にのきんきだ。時間の觀念をちつとも知らない人のやうに見える。と、僕自身一分の時間も惜しい爲めばかりではなく、一方に片時も忘れない世界の爲めに憤懣を感じ出す。世界とは、勿論勞働者の世界だ。

×

勞働者達は、生活の餘裕と共に、まつたく時間の餘裕を奪はれてゐるではないか。あのきびしく假惜なきボウ、あの目まぐるしい機械の爲めの配慮、あの、ホンの云ひわけだけしか與へられてるない休憩時間、あの、夕方おそくまでの監督の眼、…………そう云ふ世界が現實に存在する事

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF MICHIGAN

すら知らないらしく見える客達、うすうす感じてはゐるが、ヨリ以上感じやうとはしない客達、或は、自分の良心と生活の安易の爲めに、强ひてその感じを拂ひのけやうとしてゐる客達、知識と聰明を誇りつつ、自分の生活へ實感としての反省を加へる聰明さだけは平氣で、拒否してゐる客達――。

その對照(コントラスト)は、僕を焦立たせない爲めにはあまりにあざやかすぎる。僕は、自分ながらどうする事も出來ないやうに不機嫌になり、相手にならなくなる。

×

客は、又自分の生活の不如意を語り出す。新聞社をやめて、決心して東京へ出て來たが、文筆では仲々食へない、で、大いにまごついたが、やつと美學の單行本を連續して本屋から出す契約がきまつて、どうやら一安心した、だが、せめて自分の好きな家を建て、蓄音機を買ひ、氣もちのいい寢椅子へ横になり……それから何々する位の餘は取りたい、それツばかりの生活も出來ないとすると、やつぱり憂鬱を感ずる……そんな事を訴える。

×

僕は同じく焦立たずにはゐられなくなる。僕を焦立たせやうなぞとは露思はずに、極めて無邪氣に、平氣に云つてゐるのが、よけい僕を煽る。無邪氣どころか、彼は實に僕に好意さへ持つてゐるのだ。資質も決して惡くはなく、むしろ善良な、又才能に富んだ靑年なのだ。

で僕は次第に參る。いつかムツツリ默つて了ふ。可愛想な、どころか意地惡い調子になる。見す見す相手に不愉快を與へることがわかつてゐながら、どう仕様もない。

客は、僕の樣子が突然に變るのにおどろく。何の爲めにそんな變化を來したかテンデ見當がつかないだけ、よけいびつくりする。そしてあきれて歸る。

×

そうやつて、甚だ非紳士的に、非禮に人を離れさせたことが何度か！ あとで僕を、實にムラ氣な又冷たい人間だと惡口してゐると云ふ人達の噂も、何度も聞いた。僕はそのたび、むづがゆく、淋しく苦笑させられた。

僕は、同く所謂インテリゲンチヤと勞働者の聯結と、且つその必要を信ずる者だ。が、上に述べたやうなインテリゲンチヤも今なほ多く存在してゐる事は、實に殘念だ。

神よ許せ、彼等みづからその爲すところを知らざればなり？ 知らざる者は幸ひなりか？――が、知られざる者の不幸をどうする？

……1926, 3……

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

資料

關稅改正案を繞る資本諸系の抗爭

原淑市

一

吾國に於ける資本家的生產方法の發達は、世界戰爭の時代に漸くその早期の狀態を脫し、今やその利潤率は低率の傾向をとりつつあるかのやうである。それは二重の方面から正に必然的である。即ち、一方に於ては勞賃の騰貴に基く剩餘價値の減少に依つて。そうして他方に於ては生產力の發達に伴ふ所謂不變資本(機械及原料)の增加に依つて。資本家はこの呪はしき傾向を避けんが爲に彼等の全力を盡して絕對的にも相對的にも剩餘價値をば增加しようとする。そこで彼等は一方に於ては勞働組合法案其他あらゆる勞賃騰貴を可能とするような勞働運動を粉碎せんとし、他方に於ては關稅其他國庫補助に依る「所謂產業保護」の要求に依つて即ち、間接に國民(勞働大衆)の負擔に依つて剩餘價値の增加を計らうとするのである。そうして吾々はこの二つの現象を正に今期第五十一議會を中心とする我國資本家階級の策動の上に見たのであつた。

然るに、勞賃の低下に關しては例へば治安維持法の制定、勞働組合法社會局案の修正等に對しては、資本家の態度は盡く一致してこの共同の敵に當るもののようであつたが、所謂「產業保護」の要求――特に關稅率引上の要求運動に關しては、彼等の足並は全く亂れ露骨なる分捕競爭に熱中したのであつた。我々は此の抗爭を通じて、それを冷やかに觀察することに依つて、日本のブルジョアジーの、從つて日本の資本主義的經濟の現在の瞬間に於ける發展段階を把握しなければならないのである。

二

我國の資本主義は、一方に於ては重要產業の完全なる企業合同が未だ實現せられざるがために、他方に於ては傳統的に

強大なる國家資本主義の存在のために、未だ完全なる金融資本の統制の下に組織化された國家資本主義的トラストを形造るには至らなかつた。それは從來未だ金融資本、産業資本乃至は商業資本の國家資本を中心としたところの錯雜した利害抗爭の狀態にあつた。然れども、金融資本は安田、三井、三菱、住友等の財閥を中心として集中せられ、その一部は産業資本（特に重工業資本）に侵入し、更に商業資本をも支配せんとして（三井物產、三菱商事）、今や漸く金融資本主義はその急激なる擡頭を始めんとしてゐることをも同時に看取しなければならぬ。而して、産業資本の各部門も今やその獨占的カルテル化を完了しつつあることは、紡績聯合會、糖業聯合會、製粉聯合會、産銅組合、製鐵同業會、鐵鋼懇話會、羊毛聯合會等々の活動に依つても、之を知ることが出來るのである。

然るに資本主義的發展に伴ふ資本主義的諸矛盾の增大は、先づ、利潤率の低下に現はれ始めようとした。ブルジョアジーがこの矛盾を處理するためには、之等の財閥トラストと産業（特に重工業）トラストとを融合する國家資本主義的トラストを促進しなければならない。それのみが彼等の進み得る唯一つの方法だからである。そうして、その爲めには獨占的企業合同若くは聯合が必要であり、それには生産制限其他に依る獨占價格の維持が可能でなければならず、從つてそれには保護關稅――高率の關稅障壁を以つて圍まれたる市場の獨占が絕對的に必要なのである。

三

かくて、政府は明治四十三年に制定された關稅定率法の改正案を今期帝國議會に提出するに至つた。それは政府當局の言ふところに依れば、「社會政策」と「産業保護」とを目的として改正されたものであつた。然るに、その「社會政策」は食料品に於て單に鳥獸肉類及び魚類、鳥卵等を減稅したばかりであつて、米を始め小麥、大豆、蔬菜類、果實、砂糖等は現行率を其儘据置き、大麥、豆類、オートミール、コンデンスミルク等は却つて之を引上げんとするところの「社會政策」に過ぎないのであるが、そうして「社會政策」と「産業保護」とは決して調和しさうもない相反した二つの目的であることも分り切つたことなのであるが、さう云ふ政府案すらもが、我國資本家階級にとつては滿足なものではなかつた。そして農産物に對する關稅引上の修正運動が先づ帝國農會に依つて猛烈と起されたのである。

帝國農會は農村地主の利益を中心とする一種の組織であるが、農業保護（食糧品自給の國家的大計）を名として、米及籾の現行關稅百斤一圓を二圓に、小麥の七十七錢を二圓に、小麥粉の一圓八十五錢を三圓六十錢に、其他あらゆる食糧品

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

に就て税率の引下げられてゐるものは勿論、普通のものに對しても、この際關稅率を徹底的に引上ぐることを以て正當なりとし、政府案に反對決議をなして猛然たる食糧品關稅引上運動を開始するに至つた。(二月十日全國農會大會) で帝國農會は農村選出衆議院代議士の集りである農政研究會と提携して、之を動かすに至り、政友會及び政友本黨は勿論のこと、政府與黨たる憲政會の内部にも農產物關稅引上修正說が有力になり來つた。貴衆兩院並に政府に配付した帝國農會の理由書は次の如くである。

米及籾 現行稅率百斤一圓を改正率百斤二圓に。

【理由】 我國の内地米の生產費三十七圓二十六錢であるが生產地より大都市迄の運賃諸雜費を平均一圓とすれば中央市場の平均相場は三十八圓二十六錢を相當とする。然るに大正十一年度に輸入せられたるその品質内地三等米に相當する加州米は產地生產費一石二十一圓七十錢で我國の輸入價格は一石平均二十八圓五十九錢であるから少くも百斤二圓一石九圓の輸入稅を課せざれば外米との競爭に堪へ得ない。

小麥 現行率百斤七十七錢を改正率百斤二圓に。

【理由】 (一)小麥は大正八年以來廉價なる外國產小麥の輸入のためと連年價格の下落のために作付反別及び生產額次第に減少してゐる。(二)小麥は諸物價の關係において甚しく低位に在る爲生產費を償ふ能はざるが故に作付反別次第に減少しつつある。(三)小麥關稅は消費者の生活を脅す程度のものではない。即ち小麥消費量は現今一人當一ケ年一斗三升であるから關稅增率によりて生ずる消費者の負擔の增加は一ケ年一人當り僅かに三十五錢に過ぎぬ。

そうして、關稅委員長加藤政之助氏を始め衆議院の各派代議士(地主の利益の政治上の代辯者)を以て成る農政研究會は二月九日の總會に於て左の如くに決議をなしてゐる。

決議

關稅定率改正に際し本會多年の主張に基き農產物關稅定率に對しては相當引上の實現を期す。

然るに、この農產物關稅引上修正運動に對して、小麥を原料とする製粉業者の一團が猛烈な反對運動を起すに至つた。即ち、二月十二日工業クラブに開催された全國製粉大會はさきの帝國農會のそれとは全く正反對なる左の如き決議をなしてゐる。

決議

一、小麥及び小麥粉の關稅引上は全國即ち三府四十三縣中主たる小麥の生產地十七縣下の大生產地のみを利するものにしてその他の全國民は犧牲者たるの位置にあり。

二、小麥及び小麥粉の主なる消費者は農民にして右の關稅引上は農民の利益にあらず。

三、小麥及び小麥粉の關稅引上は各種食糧品並に一般物價を騰貴せしめ米價調節の機能を失はしむ。

四、小麥及小麥粉の關稅引上は漸く國家的事業として發達途上に

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF MICHIGAN

ある製粉業者を窮状に陥らしむ。

かくて、製粉關係業者は、製粉聯合會を中心として、大阪菓子同業組合、大阪製麵組合、大阪粉工業商組合、東京小麥粉同業會、東京小麥貿易商組合、東京製麵組合、東京菓子商組合、東京製パン組合等全國を擧げて小麥及び小麥粉關税引上に反對し、二月二十一日の如きは消費者の自覺を促すためと稱して、市内に反對理由のビラを撒布すると云ふ有樣であつた。

我々は、ここに先づ、二つの明白に相反した利益の衝突を見る。製粉業者が國民食糧品の價格騰貴を理由として農會の小麥關税引上運動に反對してゐるのは、右の決議(四)にその片鱗を曝露してゐるように勿論自己の利潤を擁護するための美はしい粉飾に過ぎないのであるけれども、このために小麥の價格が騰貴し、國民のそれには製粉業者が指摘してゐるように所謂農民も含まれる——生活費が騰貴するのであらうことは正に製粉業者の主張する通りである。そうして小麥や米や其他農産物の關税の引上は決して農村の多數階級たる小作人其他の所謂農民を利するものではなくて、それは、農村の地價を騰貴せしめ、土地の資本價値を增加することに依つて中央の金融資本との結合を益々密接ならしめ、かくて却つて少數地主階級を利益しその力を增大せしめるに過ぎないものである。

併しながら製粉聯合會所屬の日清、日本、大阪、松本、增田等の製粉會社を除いては殆んど小ブルジョア的家内工業資本とも云ふべきものの集りである製粉業者の主張は、往年かの英吉利に於けるような穀物關税の撤廢、自由貿易主義の勝利の行進曲をば果して今日我々に期待せしむるだけの「時代」を享有してゐるであらうか。

「商工業家の自由貿易論なるものは——マルクスがかつて英吉利の穀法廢止運動に就て言つたように——どこの國でも、一般に、穀物乃至原料の自由貿易を意味する」しかもそう云ふ「自由貿易」すらもが、今では昔話に過ぎなくなりつつあるのである。

四

そうして、自由貿易に對するマルクスのこの適切な言葉は、我國に於ける自由貿易論者武藤山治氏が今次の關税改正案に對して執つたところの態度に共使當嵌つた。それは綿織絲關税に關する問題である。今次の政府改正案に於ては綿織絲「單撚ノモノ又双撚ノモノ」は現行率を据置かれ「ソノ他」は相當の增率を見たのであるが、それには武藤氏を始め紡績聯合會の人達の非常な努力が拂はれてゐるのである。と云ふのは、綿絲關税は既に昨年の衆議院に於てその撤廢案が通過してゐたからである。(但し、會期なき爲貴族院で審議未了にな

つた。」それは「國民必要品タル綿製品ノ價格ヲ低下セシム」る爲と云ふ理由が揭げられたのであるが、勿論實際は綿織物業者メリヤス業者の利益がその背後に策動してゐたのである。そうして、武藤山治氏は輸出莫大小組合長外海鐵次郎氏の綿絲關税撤廢論に對して「自由貿易論者である」と云ふ背定の上に勇敢にも綿絲保護關税の撤廢に反對したのである。併しながら、我々は武藤山治氏のこのパラドクシカル（逆說的）な論理に驚く必要はない。何となれば、武藤山治氏の「自由貿易論」は、彼の營む紡績業の原料に關してのみの即ち安い食物（安い勞賃）と安い機械と安い材料（幸にも棉花は無税である）の爲のみの自由貿易に過ぎないのであつて、綿絲は綿織業者や莫大小業者にとつては斉しく原料であるが、併しながら武藤氏にとつては出來るだけ高い價格で賣らなければならないところの大切な製品だからである。紡績業の自由貿易と綿織物業の自由貿易論とが衝突したのである。併しながら、殆ど全國的結合の、牢固なカルテル——大日本紡績聯合會——を持つところの紡績業者の力の方が、小規模な家内的機業と相去る遠くない。織物業者や莫大小業者の力よりも遙かにヨリ優れてゐた。さればこそ、一たびは衆議院を通過したところの綿絲關税撤廢案が今次の改正案に於て再び復活するに至つたのである。併し假令强力なカルテルを擁してゐるとは云へ、それは所詮輕工業である。資本の所謂有機的構成、尙比較的低度である。この種の產業利潤は勞賃の騰貴に依つて最も痛烈な脅威を受けるべき運命に曝されてゐる。かくて、綿織物業者や莫大小業者の「自由貿易」を粉砕した武藤山治氏等は、食料品や鐵や機械やに對しては、尙自己の「自由貿易論」を捨てることが出來ないのである。此處に彼のパラドックスの秘密がある。併しながら、彼の「自由貿易論」も亦、誰かの「製品」に關してゐる限り、それは夢ではなく、從つて粉砕されることはないと果して誰が言ひ得よう。

五

「商工業家の自由貿易論」が結局原料の自由貿易であることは、今次の關税問題に於て以上の他到るところに辯明せられた。例へば——

（一）ソーダ灰の現行輸入税率は三十五錢であるが、工業クラブは該税率が改正案に於て据置かれてゐるのを不滿とし、一圓三十六錢に引上ぐる運動をなし、之に對してソーダ灰を原料とする硝子工業家、即ち日本硝子同業組合聯合會を始め主要都市の硝子製造組合が反對運動をなした。

（二）染料工業の濃厚なる保護關税に對する紡績業者、織物業者の反對運動もさうである。

（三）船舶關税は現行率船齡十年未滿十五圓其他十圓と云ふ

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF MICHIGAN

のであるが、造船業者は此機に際して船齢如何を問はず噸當り二十二圓五十錢とすべきことを要求した。之に對し船主協會は新船の輸入税に就ては現行率よりも更に低減せんことを希望し、船齢十年未滿五圓、二十年未滿十圓、其他二十圓とすべきことを要求した。然るに改正案は船齢二十年未滿十五圓、其他二十圓として、十年以上の船舶に就てはすべて關税増徴し、以て造船業者の方に保護した。

六

鐵關税――此の重工業の大宗の保護に就ては政府は頗る苦心した。八幡製鐵所を除いた民營の我が製鐵會社は、歐洲大戰中非常なる增加を來たしたが戰後の不況時を經て淘汰せられ、現在その主なるものは左の六大會社となるに至つた。

株式會社日本製鋼所輪西工場(三井系)
田中鑛山株式會社釜石鑛業所(三井)
東洋製鐵株式會社(八幡製鐵所借受經營)
三菱製鐵株式會社兼二浦製鐵所(三菱)
大倉鑛業株式會社本溪湖製鐵所 ⎫
南滿洲鐵道株式會社鞍山站製鐵所 ⎭ 在滿洲

即ち、之こそ我が金融財閥と重工業財閥の融合點である。政府はさきに之等の保護のために、かの製鐵合同案を樹て、又製鐵業奬勵法を制定して補助金を交付し、大正十年には鐵關税の一部の引上を見たと云ふ風に、その保護奬勵至らざるなき有様であつたが、この機に際して更に保護の度を增さんとし、政府商工省の如きは銑鐵毎百斤十錢の税率を七十錢に、鋼材從價一割五分も二割五分に引上げようとしゐた。然るに銑鐵の毎百斤七十錢は之を時價で從價税に直してみると、約二割五分の重税となり、之には吾が製鋼業者や織工業者に尠からぬ反對を見たのであるが、そればかりでなく、主要なる我が銑鐵供給國である印度の憤激を買ひ、我が輸出重要品たる綿絲及び綿製品が彼の國に於いて報復關税の脅威に曝されんとした。於茲、外務及大藏兩當局は商工省に反對し、一月十八日の臨時閣議に於て遂に、銑鐵は据置、鋼材三分引上と云ふことになつたのである。併し「その代り製鐵事業保護のためには將來別途の方策」をとることとなり、即ち製鐵業奬勵法を改正して、原鑛石より鋼材まで生産し得る一定の工場設備を有する會社に對し、製品噸當り五圓二十錢以内の割合にて補助金を交付する旨の條項を挿入することとなつた。之は補助金であつて關税ではないけれども、國民の負擔に於ける保護と云ふ意味に於ては毫も變るところはないのである。そうして、之に依つて補助を受くる條件を備へたものは、

日本製鋼所(輪西)　四萬七千噸 ⎫
田中鑛山會社(釜石)　五萬四千噸 ⎭ 三井
三菱製鐵所(兼二浦)　九萬九千噸　三菱

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

（支那は叩かれてゐる。ために大倉、滿鐵はこの利益に均霑すべく運動中である）

であつて、卽ち我國代表的二大財閥の重工業資本に依つて獨占せられたのである。

然るに、製鐵同業會はなほ銑鐵關稅の引上を要求し、製鋼懇話會は鋼の關稅引上が彼等の從來の主張より遙かに少かりしことを不滿として政府當局に考慮を迫つた。

七

其他、同樣の理由からして、銅關稅も每百斤一圓二十錢より一躍七圓に引上げられた。住友、久原、古河、藤田、三菱等の重工業資本家に依つて組織されてゐるカルテル——產銅組合はその目的を遂したのである。

かくて、「原料品は努めて無稅とし若はその稅率を輕からしめ內地重要產業にして今猶發達の道程にあるもの及新に成立の見込あるものには外國品の競爭に對し必要なる保護を加ふる方針の下に適當なる稅率を定め……………他方消費者の利害を考慮し生活必需品に對しては之に配するに可なり輕微の稅率を以てし之に依て產業の發展並に國民生活の安定を期した。」

と云ふ衆議院本會議（一月二十一日）に於ける濱口藏相の言はどうやらその反對に轉化したようである。卽ち、其後憲本の數度の折衝の結果妥協成つたところの小委員修會正案はほゞ次の如きものであつた。

小麥　農業保護の見地より原案七十七錢を一圓五十錢に引上ぐること。

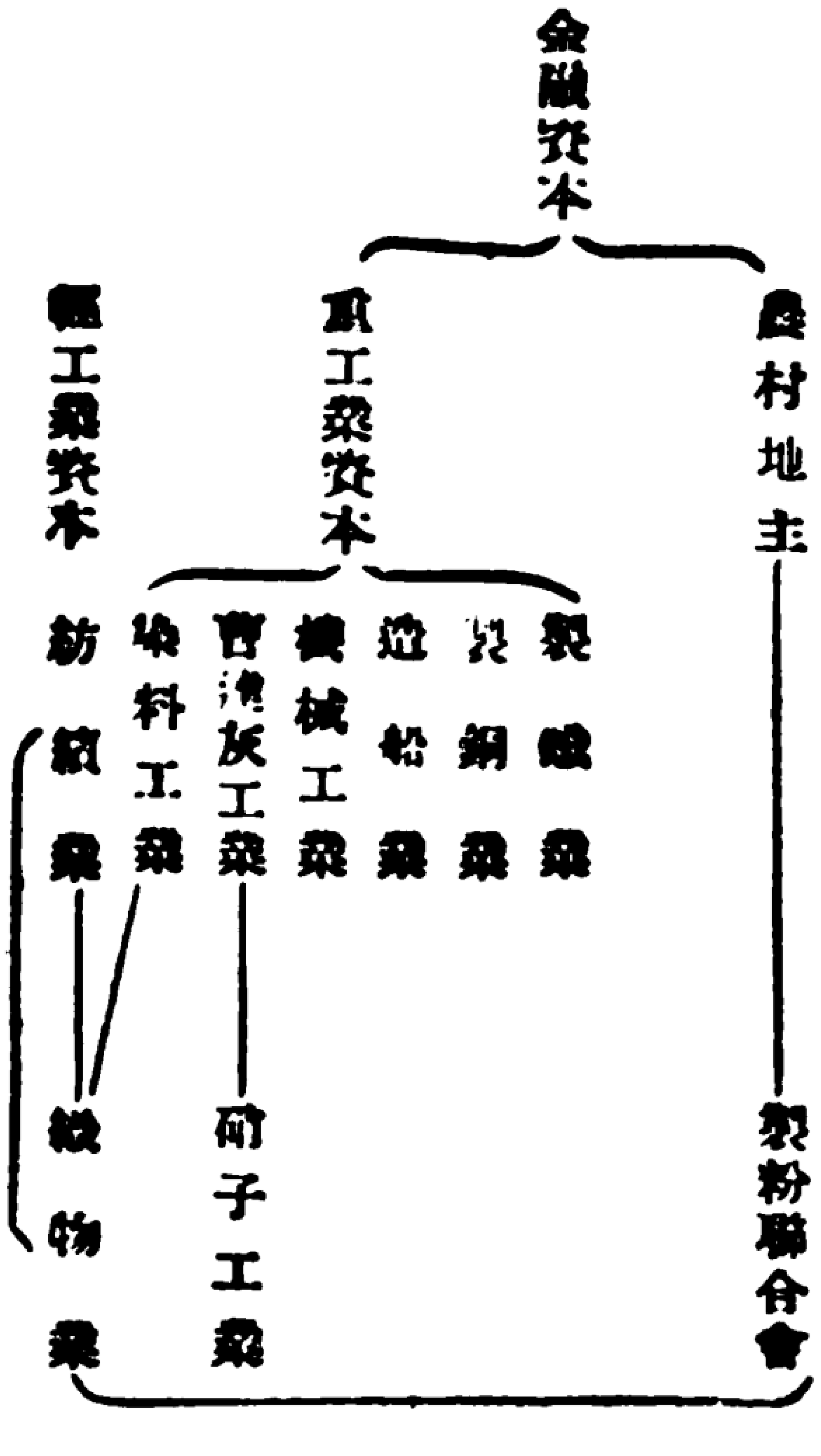
小麥粉　小麥の引上に準じて原案を二圓九十錢に修正引上をなせること。

鳥卵　改正案四圓五十錢を現行率六圓に据置くこと。

米及籾　は政府案通り現行率を据置く代りに、政府は米價が生產費以下に下落せざる様米穀法を運用することを本會議に於て約すること。

而して、織染料の如き國策に關する問題は到底會期三ケ月位の議會の審査では不十分であると云ふ理由からして、調査委員會を設置することに依つて一先づけりをつけることにした。憲本の妥協成立は、農村地主と重工業資本閥の勝利を意味するのである。

以上を要約すれば、ほゞ左の如き圖となるであらう。



最近印刷事業に於ける

資本攻勢の諸相

松尾茂樹

日清と共同印刷と最近の印刷業には、二度までも大爭議が續發した。殊に後のもの丶如きは、勞資の對峙二ケ月に渉り、資本攻勢下の二大爭議として、別子銅山のそれと共に、世の視聽を集めつ丶ある。印刷業にかくも爭議の頻出するは何を物語るものであらうか。資本のかくも攻勢に出でるのは何に起因するものであらうか。ある者は云ふ、「資本家の不引合を顧みない勞働者の增長である」と。そして一部にはそれも可成信ぜられつ丶ある。眞にさうであるか、否であるか。私はそれを會社の發表する數字自身によつて、解かしめようと思ふ。

東京には、例の十二大印刷會社を始めとして、數多の印刷業者がある。しかしこ丶では考課狀の關係から、日清と秀英舍と凸版印刷との三社をとらう。問題の共同印刷のないことは遺憾に思ふが、博文館の株式組織となつてから、未だ二年餘に過ぎない今日、あきらめるの他はない。

一　日清と秀英舍と凸版印刷

まづ三社の大體の説明をしよう。日清は早稻田大學を背景として立つて居り、株主は殆んど同大學關係者である。從つて早稻田大學出版部關係のものを取扱ふが、主婦の友、日本少年の印刷所として有名である。秀英舍は明治九年の創立、株式組織となつてからでも既に五十九期を閲して居るが、今は增田義一の支配下にある。おなじみのキング、改造、婦人世界等を印刷する。また別に活字の鑄造も營んで居る。凸版印刷は、その名の示す如くに、凸版、凹版等特殊の技術で知られて居る。主として勸業債券、株券類を印刷するのであるが、最近では日本紙器を合併した。

いま三社の規模を示すに次の如くである、(十四年下期末の

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

數字、凸版は日本紙器合併前だ）

	日清	秀英舎	凸版印刷
公稱資本	一、〇〇〇、〇千圓	四、〇〇〇、〇千圓	三、〇〇〇、〇千圓
A 拂込資本	七二五、〇	二、五〇〇、〇	一、五〇〇、〇
A 積立金	一九五、〇	五八五、〇	八一、七
A 繰越金	一四、〇	一一、九	五八、五
B 借入金	二五七、六	五二九、四	九四八、二
固定資産	一、三三〇、四	三、三三一、五	二、二八一、五
勞働者數	六八七人	一、三三九人	六〇〇人
株主數	二〇七人	六八二人	四六八人
社長	市島謙吉	杉山義雄	井上源之丞

二　資本の増大とその源泉

大戰前と戰後とでは經濟活動の規模は二倍したといはれるが、いま印刷業を顧みるに全くこの例に洩れぬ。次に載する三社に關する數字を見よ、如何に資本の増大の著しいかを知るであらう。（括弧の中の數字は大正三年を一〇〇、〇とする指數前表Aが株主資本AとBと加へたもの總資本）

	三年下	六年上	九年上	十二年上	十四年下
日清					
拂込資本	一五、〇〇千圓（一〇〇、〇）	一八〇、〇千圓（一二〇、〇）	二七三、三千圓（一八二、二）	六五二、三千圓（四一六、八）	七二五、三千圓（四八三、三）
株主資本	一七五、〇（一〇〇、〇）	二二二、六（一二七、一）	三四〇、六（一九四、五）	七六二、〇（四三五、二）	九一四、四（五三三、六）
總資本	二一九、六（一〇〇、〇）	二五五、〇（一一六、〇）	三七六、四（一七一、三）	七六二、〇（三四六、三）	一、一九二、〇（五四二、六）
秀英舎					
拂込資本	四六〇、〇（一〇〇、〇）	六二五、〇（一三五、八）	九五〇、〇（二〇六、五）	一、七五〇、〇（三八〇、四）	二、五〇〇、〇（五四三、四）
株主資本	六五六、八（一〇〇、〇）	八四四、〇（一二八、五）	一、二四九、九（一九〇、三）	二、三六二、二（三五九、七）	三、〇九七、七（四七一、六）
總資本	九〇六、八（一〇〇、〇）	一、〇三八、三（一一四、五）	一、四二五、七（一五七、三）	二、五一四、九（二七七、三）	三、六二七、二（四〇〇、〇）
凸版印刷					
拂込資本	五〇〇、〇（一〇〇、〇）	五〇〇、〇（一〇〇、〇）	九〇〇、〇（一八〇、〇）	一、五〇〇、〇（三〇〇、〇）	一、五〇〇、〇（三〇〇、〇）

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF MICHIGAN

株主資本	五二七、〇(一〇〇、〇)	五六五、二(一〇六、六)	一、三一九、六(二五〇、四)	一、九九二、〇(三七八、〇)	一、六四〇、二(三一一、二)
總資本	六九一、〇(一〇〇、〇)	七六四、四(一一〇、五)	一、五四七、七(二二四、〇)	二、五九六、〇(三七五、六)	二、五八八、四(三七四、五)
合計					
拂込資本	一、二一〇、〇(一〇〇、〇)	一、三〇五、〇(一一七、六)	二、二二〇、〇(二〇〇、〇)	三、八七五、三(三四九、一)	四、七二五、〇(四二五、六)
株主資本	一、三四八、九(一〇〇、〇)	一、六三二、〇(一二〇、九)	二、八九二、七(二一四、四)	五、一〇一、五(三七八、一)	五、六七二、四(四二〇、八)
總資本	一、八〇七、五(一〇〇、〇)	二、〇五七、七(一一三、八)	三、三三六、九(一八四、六)	五、八五七、九(三二四、一)	七、四〇七、七(四〇九、八)

即ち、四倍前後の増大である。日清の如きは五倍を超えようとする。驚くべき増大と云つてよからう。此増大の原因は技術の進歩に基く機械建物等に投ぜられる固定資本の増大によること最も大きいことは、次の數字で知られる。(括弧の數字は總資本に對する百分率)

第三表

固定資産	三年下	六年上	九年上	十二年上	十四年下
	千圓	千圓	千圓	千圓	千圓
日清	二一四、六(九七%)	二二九、三(八九%)	三〇三、五(八三%)	六、七九一(八九%)	一、三三〇、五(一一一、六)
秀英	六九八、〇(七七%)	九七六、四(九四%)	一、〇六二、九(七四%)	一、八九五、八(七五%)	三、二三一、五(八九%)
凸版	七三二、九(一〇六%)	七三五、七(九六%)	七五七、九(五五%)	二、一三六、〇(八二%)	二、二八一、五(八八%)

固定資産は六倍乃至三倍した。しかも不況期に轉入した九年より十二年の間に於て殊に増加して居る。若し仔細に數字を見るならば、總資本に對する割合も同年間に増進して居るが、第二表に於て同じ期間に於ける總資本の増大の最も顯著であることを見るならば、増大の大半は固定資産の増加によることを知るであらう。

例へば、日清及秀英舍に例をとつて、職工一人當りの總資本及び固定資産を見るに、

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

		三、下	六、上	九、上	十二、上	十四、下
		圓	圓	圓	圓	圓
日清	総資本	七四、六	七七、二	一〇四、六	一四四、八	一七三、五
	固定資產	七三、七	六九、四	八八、〇	一三一、〇	一九二、六
秀英舎	総資本	一〇五、五	一〇七、一	二三四、四	二〇五、八	三〇五、五
	固定資產	七九、六	一〇〇、七	九二、七	一六九、五	二一〇、八

いづれも、固定資本は総資本より以上の増大を示して資本の構成の進んだことを物語つて居るのである。

此の増大した資本の源泉は如何。先づ量より云へば、拂込資本によるものが最も大である。借入金によるものは最も少いが、割合よりすれば、震災前までは積立金によるものが最も多大であつた(――震災の損害に積立金を支出した。)これは、第二表に於て拂込資本と積立金及び繰越金との合計である株主資本の増大の最も多いことにても知られる譯であるが、次表に示さう。(三社合計したもの)

	三、上	九、上	十二、上	十四、下
	千圓	千圓	千圓	千圓
拂込資本	一、二〇〇、〇	二、三三〇、〇	三、八七五、三	三、七五三、四
積立及繰越金	二三八、九	六二三、七	一、三三六、二	九七三、四
借入金	四三八、六	四四五、二	七五六、四	一、七四五、五

拂込資本とは何であるか、何に依つて構成さるか。それは配當として分たれた利潤の一部の再拂込と、經營に興味も支配力をも持ちえない單なる配當のみ目的とする少株券所有者の拂込ではないか。積立及繰越金とは何であるか。それは配當されないで殘された所の利潤の一部の蓄積ではないか。いかに搾取され、いかに蓄積され、いかに配當されたか、次に考へて見よう。

三　九年間の剩餘價値量

凡ての資本の増大も剩餘價値の造出を目的としてゞあることは云ふまでもない。いま九ヶ年に渉り三期間に別けて、造出された剩餘價値量を見るに次の如くである。(單位千圓)

	六—八	九—一一	一二—一四	合計
日清	一九〇、四	四六六、〇	七四四、一	一、四〇〇、六
秀英	五〇一、一	九二〇、五	二、二三二、一	三、六五三、七
凸版	七四一、二	一、四八三、七	一、九六八、〇	四、一九二・九
合計	一、四三二、七	二、九〇〇、一	四、九四四、二	九、三三七、一

この剩餘價値量を得るために、九年間(日清六—九を缺く)に支拂はれた賃金(職員をも含む)は、千四百八十三萬圓であつた。剩餘價値率は六一%一に達する。印刷資本家は、勞働者に一圓の賃金を支拂つて六十一錢の剩餘價値を獲得しつゝあるのだ。八時間を働かしめて三時間を搾取しつゝあるのだ。

この剩餘價値のうち、二十三万九千圓は利子として支出され、九十三万四千圓は税金として献上された。そして、殘り

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF MICHIGAN

の四百三十一万圓は配當及び賞與として重役と株主とのものとなり、四百十三万圓の金は、或は積立てられ或は減價消却に用ひられたのだ。

四　いかに搾取されるか

九年間に九百万圓を超える剰餘價値が、若し毎期の總資本の相加平均を以て此年間に働いた平均總資本とするならば剰餘價値量は實にその三倍に達する。驚くべきものではないか。同様の計算によりて、配當されたもののみを、平均拂込資本に較ぶべれば正に一四四%、即ち九年間に倍半に及ぶ配當をうけたことゝなるのである。いかに搾取されつゝあるかについて考へないでは居られないではないか。

秀英舍に依をとつて、職工一人當り毎期の給料と毎期造出する剰餘價値及び利潤との關係を見るに左表の如くである。(單位圓)

	三、下	六、上	九、上	十二、上	十四、下
給料	一九九、三 (100、0)	一九六、六 (九八、三)	三六四、六 (一八三、〇)	四七〇、五 (二三六、五)	五二一、五 (二六一、七)
剰餘價値	六四、六 (100、0)	六三、五 (九九、二)	一五七、六 (二四三、九)	二二〇、〇 (三四〇、五)	三三五、五 (五一九、五)
利潤	三九、三 (100、0)	四八、八 (一二四、一)	一四一、九 (三六一、〇)	一九六、六 (五〇〇、二)	二三五、一 (五九八、七)
物價指數	九五、八	一四五、六	二〇一、一	二〇〇、一	二三三、九

給料は二倍半の増加にすぎないのに、剰餘價値と利潤とは五倍六倍となつて居るではないか。此間の物價指數(——それも不完全な卸賣物價で小賣はこれよりひどい筈)と相對照として見るならばいかに年々搾取の率の進み物價の騰貴は賃金の上昇をはるかに減殺して居ることを知るであらう。而も、一人の職工の生む剰餘價値及び利潤に到つては、いづれも物價に二倍三倍する指數を持つては居ないか。三年下期には、一人の職工は一〇〇圓の資本にあやつられ八〇圓の器械と土地とに驅使されて、毎半期一六〇圓の賃金を貰つて、四〇圓の利潤を生んで居た。今は、三百圓の資本と二七〇圓の器械土地とに使はれて、毎半期二四〇圓の卵を生む代りに四〇〇圓の餌を與へられて居る。利潤が三倍も増加して居る時、餌は三年と少しも變らない。その間に、會社の資本金は殖え建物は器械はいつの間にか立派になつて行つたのだ。

以上の例で職工一人がいかに搾取されて來たが、いかに搾取率が年々殖えて來たかわかるであらう。次に賃金と利潤との關係——之を假にこゝで搾取率と呼ばう——を示さう。

	三、上	六、上	九、上	十二、上	十三、下	十四、上	一四、下
日三	—	—	三一、七	四三、二	三七、〇	三三、〇	・一
秀英	三三、九	三五、一	四四、四	四八、九	五八、四	五九、七	五四、五
凸版	三五、九	三〇、三	八〇、九	六六、五	九二、五	七九、七	五七、六

即ち、賃金に對して利潤は、常に増加しつゝある。優秀な

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

能率的な器械と建物とによつて搾取率は年々に高まりつゝあるのである。が、十四年の秋には、搾取率はいづれも減つた。

五　收益率と配當率

九百万圓の剩餘價値量のうち、利子と稅金とを除いた八百四十万圓の利潤が折半されて一は蓄積され一は配當として支出されたことは前に述べたが、九ケ年に於ける收益率及び配當率を見るに次の如きものがある。(積立金及び繰越金と拂込金との合計である株主資本に對するものをとつた)

收益年率(%)

	三、上	六、上	六、下	七、上	七、下	八、上	八、下	九、上	九、下	一〇、上	一〇、下	一一、上	一一、下	一二、上	一二、下	一三、上	一三、下	一四、上	一四、下
日清	一四、五	一六、九	一三、九	一五、九	二〇、八	一三、〇	二一、五	二七、二	三二、五	二九、六	二五、〇	二八、二	二〇、九	二三、七	二八、〇	二一、五	二三、〇	一九、九	一五、五
秀英	一〇、五	一〇、〇	一〇、六	一一、五	一三、〇	—	一七、四	一三、九	二四、一	二七、六	二八、五	二五、五	二〇、二	二〇、五	二七、二	二五、〇	三一、八	二七、〇	二〇、四
凸版	二三、九	一一、五	二〇、四	二九、六	二八、九	二三、五	三五、五	三九、〇	三九、八	三五、一	二二、八	一九、五	二二、七	二二、四	一五、一	六六、七	三七、七	三一、五	三二、九

配當年率(%)

	三、上	六、上	六、下	七、上	七、下	八、上	八、下	九、上	九、下	一〇、上	一〇、下	一一、上	一一、下	一二、上	一二、下	一三、上	一三、下	一四、上	一四、下
日清	一〇、〇	一二、〇	一〇、〇	一〇、〇	一二、〇	一二、〇	一二、〇	一五、〇	二〇、〇	一八、〇	一二、〇	一八、〇	一五、〇	一五、〇	一五、〇	一七、〇	一七、〇	一四、〇	一〇、〇
秀英	一〇、〇	一〇、〇	一〇、〇	一〇、〇	一〇、〇	—	一二、〇	一五、〇	二〇、〇	一五、〇	一五、〇	一五、〇	一五、〇	一五、〇	一八、〇	一六、〇	一六、〇	一六、〇	一三、〇
凸版	九、〇	一〇、〇	一二、〇	一五、〇	一五、〇	一五、〇	一五、〇	一五、〇	四〇、〇	一八、〇	一八、〇	一八、〇	一八、〇	一八、〇	〇	〇	一二、〇	一二、〇	一二、〇

事業の性質の特殊なことによつて、これらの會社は好景氣の影響をうけることもおそかつたが、不景氣の影響をうけることもおそかつた好景氣は漸く八年の末に始つて十四年に入るまでつゞいた、と云つていいであらう。營業收入の點より見るも、八年の下期になつて殖えたそれは期毎に増加して十三年の下期に到るまで止まなかつた。(單位千圓)

	八、下	一〇、下	一二、下	十三、上	十三、下	十四、上	十四、下
日清	三六〇、六	五三六、一	六〇一、三	九三〇、二	八八八、二	八二四、七	八一一、九
秀英	八四五、六	一、二五三、二	一、二五九、五	一、八三五、三	一、七一四、五	一、七五五、二	一、六二三、七
凸版	一、二八九、九	一、六〇六、九	一、六五六、九	二、四九四、五	一、八五〇、七	一、六四四、八	一、二九七、四

しかし十四年に入つてよりは秀英舍を除いてはいづれも減直ちに影響して、收益率及び配當率に於ても減少したのであるが、殊に下期に入つては、いづれも激減を見た。これはこの事實は注目に値することである。

六　十四年下期の不況

しばしば注意した如く、十四年に入つてからは印刷界も不景氣の襲ふ所となつた。十三年下期に較ぶれば配當は一割七分から一割へ(日清)、一割六分から一割三分(秀英)へ減ぜられ、收益率は八%(日清)一二%(秀英)一五%(凸版)を減少した。收入は、いづれも約五〇万圓を減少した。搾取率は、また著しい減少を見せた。產卵數は少なくなつた。搾取率を恢復し、產卵數を恢復するためには、賃金は低下されねばならぬ。かくて資本の攻勢は始まる。

七　勞資の爭線

勞資の衝突する所は、いづれもその所得をより增加し或は維持しようとする所にあることは云ふまでもない。組合が成立)鬪爭するのもこの爲である。資本家が攻勢をとるのもこのためである。この爭ふところをかりに勞資の爭線と名づけよう。そして、九年間にその爭線はいかに描かれるか、九年間に資本家の所得はいかに增大したかを示さう。

	日清 賃金	日清 配當及賞與金	日清 積立及繰越金	日清 資本所得合計	秀英 賃金	秀英 配當及賞與金	秀英 積立及繰越金	秀英 資本所得計	凸版 賃金	凸版 配當及賞與金	凸版 積立及繰越金	凸版 資本所得計
三、下	—	七、五	二、五	九、八	三二、二	五、六	一、七	七、五	一八、五	五、五	一、一	六、六
六 上	—	五、九	一、六	七、五	二八、五	五、九	一、二	七、一	一五、一	四、一	〇、五	四、六
六 下	—	六、三	一、九	八、二	二八、〇	五、九	一、七	七、六	一三、八	三、七	五、四	九、一
七 八	—	—	—	—	二七、八	五、八	二、一	七、九	一二、九	四、四	四、三	八、七
七 九	—	五、五	四、一	九、六	二六、二	五、八	二、六	八、四	—	—	—	—
八 上	二八、〇	四、六	〇、七	五、五	—	—	—	—	—	—	—	—
八 下	三七、四	五、五	五、九	六、二	四五、五	六、六	四、五	一一、一	一四、一	五、八	七、七	一三、五
九 上	三七、六	五、六	四、四	一〇、〇	三一、六	六、四	七、六	一四、五	一六、〇	五、五	七、六	一三、九
九 下	三七、六	八、二	六、六	一五、八	三三、七	一〇、一	七、五	一七、六	一八、七	一四、五	一、四	一五、七
一〇 上	三七、八	七、六	五、一	一二、七	三六、八	八、一	七、〇	一五、一	一九、五	七、九	五、六	一三、五
一〇 下	三八、七	一八、二	〇、一	一八、五	三五、九	八、八	一〇、〇	一八、八	一七、四	九、七	五、五	一五、〇
一一 上	三五、七	九、一	四、七	一三、八	三五、九	九、一	八、八	一七、八	一五、五	七、八	二、二	一〇、〇
一一 下	四〇、七	九、八	五、七	一五、五	三九、九	九、八	九、八	一九、六	一三、二	九、〇	五、五	一三、五
一二 上	三九、〇	七、二	六、一	一三、三	三六、四	一〇、六	七、四	一八、〇	一九、四	九、五	五、六	一五、一
一二 下	四二、五	九、七	八、五	一八、二	三七、六	六、四	一七、一	二三、五	—	—	—	—
一三 上	三七、五	七、一	三、二	一〇、三	三三、〇	九、二	一一、二	二〇、四	一〇、四	〇	一〇、五	一〇、五
一三 下	三八、七	八、二	三、五	一一、七	三八、四	九、九	一一、四	二一、三	一六、九	五、六	九、三	一四、九
一四 上	四四、三	七、五	三、八	一一、三	三四、八	一一、三	九、四	二〇、七	一九、五	五、六	八、九	一四、五
一四 下	—	五、六	三、二	八、八	三五、八	一一、三	八、二	一九、四	一三、二	八、〇	六、五	一四、五

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

右表は、毎期の收入を一〇〇として、勞働者の所得である賃金と資本家の所得に歸する配當及賞與金と積立及繰越金とが、いかなる割合を以て分配せられあるかを見たものであるが、これによつて知らるゝことは、資本所得の占むる割合の增加の著しいことである。勞働所得である賃金の割合は大なる增加を見せて居ない。倍半に進めるものすらないに反して、資本所得の割合は三倍に達しようとするものすらある。配當及賞與金の割合も殖えて來たが、更に積立及繰越金の割合は、驚くべき程度に殖えて來た。

勞資の爭線は絕えず資本家に有利に描かれつゝある。しかも社內への蓄積を巨大にして會社を支配しつゝある少數の資本家――三分の一の株の持主、日清六人（總株主二〇七人）、秀英一三人（總株主六八二人）凸版六人（總株主四六八人）――の有利に。そして、勞働者の所得は、いつも不利である。それを有利に展開することは、有利に勞資の爭線を描くことは、勞働組合の力である。

八　高賃金の壓迫とは何か

高賃金が事業を壓迫するとはよく云はれることである。「職工の要求が過大となつて」と云ふことは、最近の爭議にもよく云はれた。

併し以上で我々は次のことを知つた。

1　平均職工一人一期の平均賃金の增加は物價の騰貴以下である。

2　每期の總收入のうち、賃金として支出される割合は變化がない。

この二つを考ふるならば、高賃金の壓迫と云ふことは云へない筈である。之れに反して若し壓迫するものを求めれば、それは寧ろ高利潤ではないか。

個々の職工について見れば、技術の進步と器械の精巧化とは高賃金の職工を生むであらう。けれども資本家は、こゝで一を失へば他で二をとり返さうとする。少數の高賃金職工の出現の反面には、それと同一の理由に基く所の仕事の單純化に因る多數の不熟練工と女工と幼年工とを伴ふではないか。日清の例を見よ、

	三年上 人	%	十三年下 人	%
技手及工匠	一二	（四）	一九	（三）
技工及工手	一八七	（六四）	三八一	（五八）
女工	四二	（一四）	一〇三	（一六）
補助工	四九	（一七）	一五三	（二三）
計	二九〇	（一〇〇）	六五六	（一〇〇）

高賃金職工である技手及工匠、普通賃金職工である技工及び工手の相對的に減少せるに反して、低賃金職工である女工と補助工との增加を見るがいい。富の分布と同じ樣に賃金の分布もピラミツト型であるではないか。かくて、支出せられる賃金の額は相對的には增加しない。壓迫すると云ふことはありえない。壓迫するものは寧ろ高利潤である。（完）

「批評の自由」とは何ぞや

レーニン

「批評の自由」といふのは、確かに、すべての國々の社會主義者と民主々義者の間の論爭において一番多く用られるところの最も近代的な合言葉である。ちよつと見たところ、爭つてゐる者がかうして批評の自由を厳めしく引合ひに出すことほど奇妙なことは考へられない。といふのは、學問と學問的研究との自由を保證する、歐羅巴の大多數の國々の憲法に對する反對の聲が、進歩的な諸黨派のまんなかから高まつたことが一體あるのか？「どうも變だ！」と、その流行の合言葉を到る處で耳にしたが、爭の本質にまだ立入つたことのない、局外者は誰れしも云ふに相違ない。「この合言葉は、明かに、あの、綽名と同じく使つてゐるうちに承認されて殆んど普通名詞になる、在り來りの語片に屬する。」

實際、近代の國際的の社會民主々義において二つの派が成立し、そして、その間の鬪爭は燃え立つて輝かしい焔をなして燃上つたかと思へば、また消えて、目覺ましい「休戰」決議といふ灰の下でちらちらしてゐるといふことは、誰にとつても、知れ渡つたことである。「古い獨斷的な」マルクス主義を「批評的」に取扱ふ「新派」はどの點に存するか――そのことを充分きつぱりとベルンシュタインが云ひ、ミルランが證明した。

社會民主々義は、社會的革命の黨からして社會改良の民主的な黨に變らねばならないといふのである。かうした政治上の要求をば、ベルンシュタインは割によく選んだ「新しい議論と觀察」といふ全部の砲臺で取り固めた。科學的に社會主義を基礎づけて、唯物史觀の立場からそれが必然的であり避く可らざるものであることを證明すべき可能性を否定した。貧窮で增加してゆき、プロレタリア化してゆき、資本主義の對立が鋭くなるといふ事實を拒んだ。「終極目的」の概念そのものを不充分であると宣して、無産階級獨裁の觀念を絕對に拒否した。自由主義と社會主義との間の原理的の對立を拒んだ。多數の意志に從つて支配されるとかなんとかいふ厳密に民主々義的な社會には階級鬪爭は用ふべからざるものだなどと稱して階級鬪爭の理論を否定した。

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

かういふやうにして、革命的社會民主々義からブルヂョア的社會改良主義に決然として轉換するといふ要求は、マルクス主義のすべての根本思想のブルヂョア的批評に、同樣に決然として轉換するといふ結果になつた。そして、マルクス主義に對するの後者の批評は既に夙くに政治雜誌からも大學の講壇からも多數のパンフレットや多くの學究的の論文でもつて行はれてゐたのだからして、（といふのは、敎養ある階級の成長しつゝある靑年達は數十年の長きに亘つてこの批評のために敎育されてきたのだ）社會民主々義における「新しい、批評的の」派が、ミネルヴァがジュピターの頭から出てきたやうに、いきなりちやんと出來上つて成立したことは驚くに當らない。その內容からいへばこの派は別に發展する必要がなかつた。それはブルヂョア的の文獻から直接に社會主義的の文獻に移されたのである。

それればかりでない。ベルンシュタインの理論的批評とその政治上の意向とが或る者にとつてはまだ不明瞭になつてゐたとすれば、フランス人は「新方法」の實物的の例證を示してくれた。フランスは今度もまた「歷史的の階級鬪爭が他の何處にもまさつて、いつも、決着のつくまで鬪はれた國」（マルクスの「ルイ・ボナパルト」に對するエンゲルスの序）としてのその古い名聲を辱かしめなかつた。フランスの社會主義者達は理窟をいはずに、直ちに行動へ踏出した。民主々義的な點で他より發達したフランスの政治上の關係は、彼等をして「實行上のベルンシュタイン式」に、そのすべての結果と一緖に、直ちに移ることをえしめた。ミルランはかうした實行上のベルンシュタイン式の立派な典型を呈供した、――さうでなかつたらベルンシュタイン並びにフォルマールがミルランのあのやうな熱烈な擁護者とならなかつた。實際だ。社會民主々義が、眞に、單に改良主義にすぎず、そしてそれを公然と承認する勇氣をもつてゐる筈ならば、――さうだつたなら社會主義者はブルジョア內閣に入るべき權利をもつてゐるばかりでなく、進んで常にそれを求むべきだ。もし眞に民主々義といふのが階級支配の排棄の意味であるならば、――社會主義の大臣が階級調和の演說でブルジョアの全世界を恍惚たらしめて何故いけないことがあらう。憲兵を以つて勞働者を何百回、何千回も慘殺したことが民主々義的階級調和の眞性質を明かにした後でも、彼は政府に留つてゐてなぜいけないことがあらう。フランスの社會主義者達が絞首臺、革鞭、追放の英雄とよりほかには今日呼ばない〇〇の御機嫌伺ひに親しく加つてなぜいけないことがあらう。そして全世界の前で社會主義がかゝる云ふべからざる屈辱と自已屈辱を爲したことに對して、勞働大衆――我々に勝利を確保する唯一のこの土臺――の社會主義的の意識を腐敗せしめたことに對しての償ひ――その償ひは貧弱な改良の高慢な計畫である。そしてその改良たるやブルジョア政府においてすらもつと大きなものを獲た程のつまらないものである。

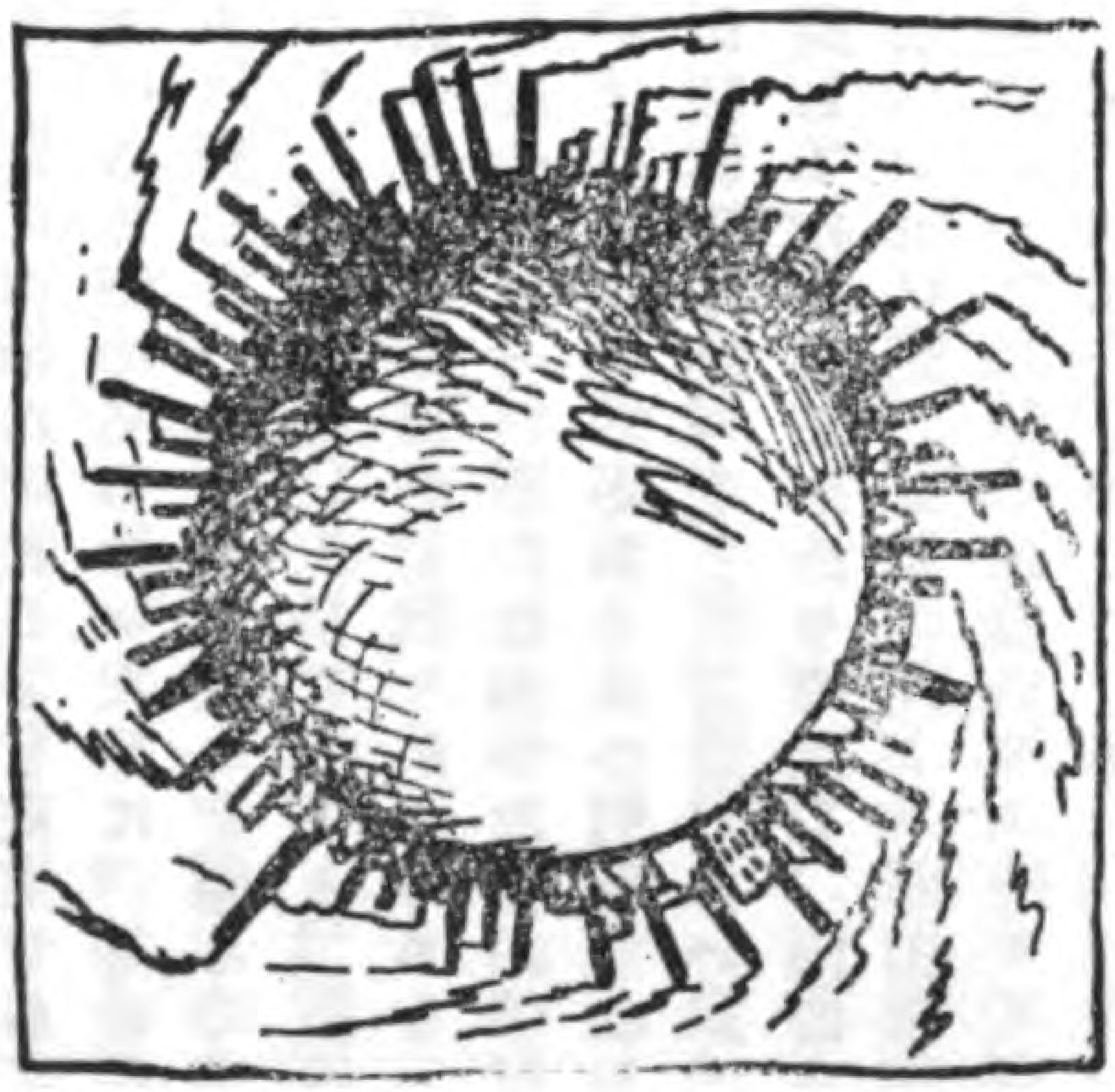
Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF MICHIGAN

ことさらに眼を閉ぢないものは、社會主義における新しい「批評的」の派が日和見主義の新しい這り口にほかならないことを見るに相違ない。もし我々が人間を判斷するのに、彼等が自分で着込んだ綺羅びやかな制服を以つてでなく、彼等が自分で附けてた効果に富んだ名前を以つてゞなくて、彼等がいかに行動するかそして彼等が何を現實に宣傳するかを以つてするならば、「批評の自由」とは社會民主々義者における日和見主義的な傾向の自由であり、社會民主々義を民主的改良派に變へる自由であり、社會主義におけるブルジョア的觀念とブルジョア的要素を培ふことの自由であることは、我々にとつて明瞭になる。

自由とは大なる言葉である。が、産業の自由といふ旗幟のもとに強盗的の戰爭が行はれた。勞働の自由といふ旗幟のもとに、働く者が搾取された。これと同一の内部の虚僞が、「批評の自由」といふ言葉を今日使ふ際に存してゐる。學問を進歩させたと眞實に確信してゐる人であつたならば、古い解釋と並べてこの新しい解釋の自由を要求しないで、古い解釋に代へるに新しい解釋を以つてすることを要求したであらう。「批評の自由に生命あれ！」といふ現今の叫びは空らの桶のお伽噺を、餘りにも甚しく想ひ出させるものである。

我々は小さな集團として、堅く手を把つて、峻しい、深淵にのぞんだ路を前進する。我々は四方から敵に圍まれて居り、殆んど常に彼等の砲火の下を前進せねばならない。我々は自由に取つた決心に從つて團結した、――すなはち、敵と鬪爭し、附近にある沼に陷らないために。その沼の住人達は、我々が團結して特別な集團をなし、和睦の路の代りに鬪爭の路を選んだことに對して、始めから我々を惡るく云つた。ところが、我々のうちの多くの者は次のやうに呼び始める。この沼のなかへ行かう！　彼等の誤を正してやると、彼等は次のやうに答へる。君等はなんといふ時世おくれの人達だらう！　君等をもつといゝ路の方へ呼ぶ自由を我々から奪ふことを、君等は恥ぢないのか――全くその通りです、諸君。君等の呼ぶのは自由だ。好きな處へ、たとひ沼のなかへなりと、行くことだつて自由だ。我々は、君等の眞の場所がまさに沼のなかにあることすら見出す。我々は、君等がそこへ引越すのを助けようとまで用意してゐる。しかし、我々には拘はないでおいてくれ。我々に縋りつかないでくれ、そして「自由」といふ大なる言葉を汚さないでくれ。なぜなら、我々が好きな處へゆくのは今樣に自由だ。沼に對して抗爭するばかりでなく、沼の方へ引返す者に對しても抗爭することは我々の自由だ。（小原涼一譯）

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN



インタナショナル・ノート

露國共産黨第十四回大會

昨年十二月十八日モスコーに於て、露國共産黨第十四回大會が開かれた。ルイコフ氏は中央委員會の名によつて述べた歡迎の辭に於て曰く、前大會以後建設事業は著しく促進され、建設事業が急速に進歩すると共に、勞働者及農民の政治的活動は增大し、黨をして、國家行政の上の種々なる障害を突破させる上に大なる助けを爲すものである。

是等の障害は決して經濟生活の組織指導に於ける經驗の不足に歸せらる可きものではなく、是に附隨する誤り、例へば穀物の蒐集、工業計劃の實行に於けるが如きものであつて、ソビエット經濟の全體の發展を何等阻害しない。國民經濟の進步の步調は樂觀的期待よりは後れたが、繼續してソビエット經濟に於ける社會主義的要素に强大にしつゝあることは確かである。勞働者の農民に對する關係、協業組合制度の擴大は主たる問題である。

第十四回大會は此の問題に對する決定が正當なることを證明した。以上は演說の要旨である。

此大會が開催された時の形勢は次の如くであつた。今日ソビエット露國に於て、一方に經濟生活の發展、社會主義的經濟及び政府豫算の擴張があると同時に、穀物收穫に際して豫想額の誤算等の特種の困難が生じて居る。更に現在の經濟的發展の背後には、諸階級勢力の分化が行はれて居る。故に露國共產黨が其の諸活動を整理して、將來の豫想を立てる爲には、多少の黨內部の論爭は免れ難き形勢にあつた。

更に經濟的發達の結果、諸階級即ちプロレタリアート農民から資本家階級に至るまで其の政治的活動力が增加した。農民の間でも分化が行はれて、大農と中小農との間に鬪爭が行はれる。一方に於て、農村の商品經濟を發展せしめ、村落ソビエットを再建することが必要になつたと共に、一方此と共に農村に於ける階級分化が問題となつた。其れで露國共產黨は中農との協同を確固にし、貧農を助け大農の搾取に對抗しなくてはならなくなつて來た。一方工業の發展と共に、都市プロレタリアの構成も變化した。即ち未だ未發達の思想的標準の低い勞働者の新しい部分を吸收したことにある。是は黨の組織並に勞働組合の問題を必要にした。

大會に於て現れたる討論は非常に注意を要する。即ち黨の中央委員會の新經濟政策に對して、レニングラードの機關の代議員が反對したことである。其要旨は、今やロシアの農村では、富農が支配權を握らうとしつゝあるかに見える。是に對抗するには、ロシア共產黨は政策を變更して、極力貧農を組織して、行政的壓力に依りて富農に對抗しなければならぬと云ふにある。反對派は富農に對抗すると云つたが、暗默には、中農にも對抗して、國家の中農に對する提携策に反對し、一種の戰時共產主義への復歸を主張するものと解された。大會の多數は飽くまで、中農との提携を支持し、社會主義的建設の爲には勞働者、農民の可及的大多數を建設事業に參與せしむべしと云ふ意見であつた。是に關聯して新經濟政策全般に對する議論も交換された。

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

大會は大ぎに見る如く、あくまで中農との提携を主張する決議を通過し、黨の統一、擴張を最大の急務なりとした。大會が中央委員會の報告に對して爲したる、決議の要點は次の如くである。

大會は中央委員會の執つた政治的、組織的方針を完全に承認し、共政策はソビエット聯邦の國際的地位を鞏固にし、國内の經濟政策に成功を收め、農民との協同に於てプロレタリアの指導の確立に導いた。又穀物の收穫及び外國貿易に關して爲された誤謬に對して、中央委員會の矯正の決定を確守せむことを要求する。ソビエット聯邦と世界資本主義との衝突の可能性を一層多くする傍ら、現在は比較的平和關係の時機たるに鑑み、國内の改造に努力し、ソビエット經濟の世界資本主義に對する、依存程度增加の危險に注意を向く可きである。英米の協調から歐洲の政局は一時の假面的不和狀態に達したが、是は新たなる戰爭并にソビエット聯邦への干渉を導びくものたるを以て、一方現はれ來りつゝあるソビエット聯邦并に歐洲の勞働階級の提携を鞏固にする必要を認める。外國に對しては、平和政策を取り、ソビエット經濟殊に工業の獨立を完成し、軍備を整備する必要を見る。

ソビエット經濟は前大會以後急速に進步し、經濟的建設に一步を進めたが、然し此發達の矛盾并に特種の困難が現はれた。私的資本の勃興及村落に於ける活動、村落に於けの階級分裂に伴ふ富農經濟の勃興、都市に於ける新ブルジョアの發生等。是等に對する方策は工業を盛大にし、農業の生產力を增大するにあるは勿論であるが、特にソビエット聯邦に於ける社會主義建設に對する不信并に、一貫せる社會主義的經營たる國家經營を以つて國家資本主義經營なりと爲す見解に對して、徹底的に鬪爭する必要を認める。工業勞働者の增大する一方、農村に於ける富農、都市のブルジョアーの勃興を見、各階級の活動は增大した結果、ソビエット聯邦に於ける現在の階級鬪爭は農民の大衆を獲得せむが爲め、ブルジョアジーとプロレタリアの鬪爭である。貧農特に農業勞働者がプロレタリアの支持者であるとすれば、中農は共鞏固なる協同者でなければならぬ。今日までの農民政策の結果、中農階級は强大となり、今や其は農民の主たる大衆を構成するに至つた。故に是との協同を無視することは、プロレタリア獨裁の破壞である。富農に對抗する方策は貧農を組織すること及び、中農と固き同盟を結ぶこと以外にはない。黨大會は農村に於ける中心勢力たる中農の擁護并に農村に於ける社會主義建設のための協同組合の問題を看過することに斷乎として反對する。黨は此政策に反對し、富農を攻擊するに戰時共產主義の方法を以つてせんとする分派に反對する。貧農に關する限りに於ては、戰時共產主義の回復に非ずして、問題は黨及國家の助力た依つて貧農を政治的經濟的分野に於て組織し、農村利得者に對抗し中農と結合せむとする、プロレタリアの政策の固き支持者たらしむることである。

以上の困難なる時局に對して適當なる政策を遂行せむとせば、中心勢力たる共產黨は其完全たる統一を保ち、黨内の民主主義を確守しなければならぬ。是が爲には、益々多くの勞働者を黨に導き、黨機關の質の向上を圖らねばならぬ。大會は、レニングラードの或指導者並に其支持者に中央委員會に於て討議することを許さず、意見の相異を除去したる中央委員會の態度を承諾する。大會は黨内に於て一分派を作るが如きことには、其が何人に出づるにもせよ斷乎として反對する、と。

以上に見る如く、ソビエット聯邦の經濟は今回の大會開催の時期までに、非常なる進步をなし多少の論議はあつても、其等は全然誤れるものなることを證明し、益々正しき途に進みつゝあることを看取する。（井上道人）

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

◆◆◆◆◆
經濟講話
◆◆◆◆◆

地方財政の話

橋本貞市

　第五十一議會の中心問題は何と云つても税制整理案と關税改正案とであつた。而して此の中税制整理に關する各派論爭の中心點は云ふ迄もなく地租問題であつて、政府は從來の法定地價課税標準を賃貸價額に改むると共に其課税率の一分減及び地價二百圓以下の免税を主張したに對し、政友本黨は自作農の免税、政友會は營業税と共に地租の市町村委讓を提唱した。而して結局は政府と政友本黨との妥協成りて、課税標準は之を賃貸價格に改むると共に地價二百圓未滿の自作農は之を免除するといふ事になつた。然し此の際、最も興味を感ずるは、政友會の地租委讓案である。尤も從來とても地租の移讓を唱へるものがないではなかつた。例へば、先年設けられた財政經濟調査會に於て地租委讓說の强く主張せられた如き、即ち其の實例であるが、然し政黨が之を政綱として掲げ、堂々議會に於て其の所說を主張する如き、未だ嘗つて見ざる處であつて、我が財政、就中地方財政上最も注目に値する事と云はねばならぬ。

　由來我が國は中央主權主義の國である。府、縣、郡、市町村は名は自治體であるが、事實殆んど中央政府の指揮命令を受け、全く其の隷屬機關たるの觀がある。而して我國の文明が尙ほ幼稚にして、西洋文明の輸入模倣を之れ事とする時代に於ては中央政府が地方自治體の指導者となり、所謂中央主權主義を把るは實に已むを得ざる事であり、否寧ろ民福增進のため必要避くべからざる事であつた。

　然し乍ら今や、此くの如く西歐文明の輸入模倣時代も一先づ終り、中央政府の地方自治體指導能力も亦漸次薄らぎ、各地方自治體は、各自其地方地方の事情に應じて諸施設をなすべきの時機に到來した。各地方には夫れ夫れ其地特有の產業があるべき筈だ。然るに今日迄に其の調査が出來て居るものは果して幾何あるか。若し又調査されてあるとして其の企業經營は果して妥當であるか如何か、或は又夫れが水電等との關係如何等、今後地方自治體の活動に待つべきものは決して少なくない。即ち我國は今や從來輸入したる西歐文明を基礎とし、之に各地方地方の事情に應じて、獨特の發展を示す事が、此際我國の最大の急務であつて、產業の發展民福增進の基礎は、實に玆にありと云はねばならぬ。

　然るに我地方自治體の現狀は如何であるか。試に大正十四年地方豫算を見るに次の如く、全國一万一千九百四十四ケ町村の歲出豫算は合計四億三百九十九万九千圓であるから、一

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF MICHIGAN

町村平均は僅かに三万三千八百二十四圓にすぎぬ。然も此の中一万六千二百六十二圓、即ち總額の約半額は教育費で、之に次ぐ役場費は六千百十二圓で約二割に當つて居る。教育費は云ふ迄もなく國家に依り劃一的に强制せられたる義務教育の經費であり、役場費は主として國家及府縣の徵税事務費と徵兵事務費で占められて居る。然も以上二者で二万二千三百七十四圓、經費總額の約七割も占めて居るから、殘りの三割即ち一万一千四百五十圓が、其他一切の事業に振向けられて居る譯だ。例へば土木費の如き多い方で二千七百十五圓にすぎず更に勸業費、社會事業費の如きに至つては微々として算ふるに足らず、漸く前者は五百八十三圓、後者は百十七圓にすぎない。之では地方町村の事務は殆んど國家に依り劃一的に强制せられたる義務教育と、國家及府縣の徵税事務と徵兵事務とに限られ、町村自身の發意にて直接其の產業の發達、民福の增進に向けられる部分は、極めて少なりと云はねばならぬ。

全國町村經費內譯表(十四年度豫算)

	全國合計 千圓	一町村平均 圓
教育費	一九四、二三五	一六、二六二
土木費	三二、四二九	二、七一五
衞生費	一五、六一四	一、三〇七
勸業費	六、九七五	五八三
社會事業費	一、三九六	一一〇
電氣及瓦斯事業費	一、六九九	一四二
役場費	七三、〇〇〇	六、一一二
會議費	三、二七八	二七四
警備費	六、四五四	五四〇
公債費	一四、三四九	一、二〇一
諸税及負擔	二、〇五六	一七二
積立金及基金財產造成費	二七、〇九三	二、二六八
其他諸費	二五、四二一	二、一二八
合計	四〇三、九九九	三三、八二四

然らば、此くの如く地方町村活動の狹少なる所以如何といふに、一面國民自覺の足らざる處に依ると雖も、主として其財源の枯渇に依る事云ふ迄もない。然も其財源の枯渇は一方に於いて町村の活動を阻止すると共に他方に於て其の調達方法をして頗る不公正ならしめ、無產者の租税負擔をして極めて苛重ならしめて居る。

試みに先づ同十四年度收入豫算を見るに一町村平均三万三千八百四十九圓中、租税外收入に依るもの一万二千五百三圓に對し、租税收入に依るもの二万一千三百四十六圓に達して居る。而して此の租税收入中地租、營業税、所得税、鑛業税等の國税附加税には一定の課税限度が設けられ、容易に其の制限外課税が許されぬ結果、勢ひ戶數割附加税乃至は府縣雜

租税附加税に集注さるる譯で、卽ち前記の租税收入二万一千三百四十六圓中、戸數割附加税に依るもの實に一万二千三百六十二圓に及んで居る。租税收入に對し約五割八分、若し又全收入に對するも四割近くに當る譯で、いかに町村收入中戸數割附加税收入に依る事の大なるかゞ看取されよう。

全國町村收入内譯表(十四年度豫算)

	全國合計 千圓	一町村平均 圓
地租附加税	三八、九七六	三、二六三
國税營業税附加税	一一、九四一	九九九
所得税附加税	七、九九三	六六九
鑛業税附加税	三四二	二八
戸數割附加税	一四七、六五九	一二、三六二
家屋税附加税	七、四一五	六二一
道府縣營業税附加税	五、五五九	四六五
雜種税附加税	二八、七八八	二、四一〇
段別割(特別税)	四、四三〇	三七九
戸別割(同)	一〇五	八八
家屋割(同)	一五四	一三一
所得税(同)	九	一
其他特別税	五四六	四五七
夫役現品換算額	一、〇三八	八六九
合計	二五四、九五四	二一、三四六
税外收入	一四九、三三四	一二、五〇三
累計	四〇四、二八八	三三、八四九

然も問題は此の如き重大なる戸數割附加税の賦課方法である。法律の命ずる處に依れば、其賦課方法は(一)住民の所得額と(二)住家坪數と(三)若し必要なれば資産の狀況、と以上三個の事實を加味して課税するものである。而して右の中(三)の住家坪數に依り資力算定するものはその總額の十分の一を(三)の資產狀況を加味して資力を算定するものは總額の十分の四を夫々超過してはならぬ事になつてゐる。而して此の如く前二者に於て十分の一乃至は十分の四迄と制限した所以のものは、主として戸數割の賦課が租税能力、卽ち租税負擔能力ある者に課せんとする主旨であることは云ふ迄もない。然るに事實は如何か、第二項の住家坪數に依ることは暫らく別としても、第三項卽ち資產狀況に依る課税に至つては頗る不合理を極めてゐるといふ譯は第三項は單に資產狀況と稱し、別に據るべき指表を示さざる結果、その課税方法は所謂役場員乃至議員の見立課税となり、その結果は自然、參政權なき無產者への負擔は過重される事となるからである。現に東京郊外の一村では(第二項に依り住家坪數に對し一割を課する外)全く第三項の標準を住宅坪數に求め、しかもその割合を法定の十分の四を越えて十分の六、三餘を賦課してゐるといふ如き、いかに無產者への負擔の過重なるかが看取されよう。蓋し住家坪數は就中町村に於てその實際の資力に比

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

例せぬ事、大であるからだ。
然らば、かゝる不合理なる課税方法を救ふ道は如何といふに、例へば地租の如き物税、卽ち物件税を町村に移して租税收入の中心とする事である。(國家の租稅收入の大部分は所得稅を以て充つ)而して、此の方法は多くの大地主が町村を去りて都會に移住する結果、その地主はその町村の戶數割を免かれるのみならず、その土地は却つて道路の開設等町村の事業、卽ち無產者の負擔に依て地價の騰貴を見るといふが如き奇現象を呈してゐる事及び現在地方町村活動が前述の如く微弱なる所以は主として其の財源の枯渇にあること種々の點より見ても、地租の町村委讓は、至極肝要な事と云はねばならぬ。これ冒頭に於いて政友會の地租委讓案を以て最も興味ありと云つた所以である。

然るに事實は遂に失敗した。地租の委讓說は敗れた。かくなる限り、彌縫的地方自治制乃至稅制の改正は見るとしても、地方町村の活動は依然として微弱であり、租稅の負擔は依然として無產者に苛重であらねばならぬ。(完)

(五十六頁より)

卽ち、保護關稅は重工業資本と農村地主とのみを惠んでゐる。重工業にあつては資本の有機的構成が最も高度の發達を遂げてゐるから、食料品騰貴に依る勞賃高の影響は比較的生產費に及ばない。此點からそれは農業關稅の設定を苦痛としない。他方、勞働團體の勢力の增進は勞働法制の制定となつて、勞働時間の延長や勞賃の切下に依つて絕對的剩餘價値を增加することが益々困難となり、從つてこの保護關稅に依る利潤增加の方法が絕對的に必要なのである。かくて、我々が、さきに關稅問題の前に資本家の足並が亂れて分捕競爭が始つたと言つたのは、皮相な觀察に過ぎなかつたのであつて、それは或る一定の方向への整然たる資本の整理を意味するものであつた。そして保護されたものは、輕工業資本ではなくて、すべて重工業資本であつた。それは完全な形ではないとしても、明白なカルテル保護關稅である。そしてこの工業保護關稅は、農業保護關稅と手をたづさへて道行を始めようとしてゐる。この兩者を結びつけてゐるものは、最早、疑もなく金融資本でなければならぬ。(一九二六、三、一五)

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

ブックレビュウ

『經濟學入門』

マルクス主義經濟學はこのごろまたひとつの秀れた文献をもつことができた。ローザ・ルクセンブルグの『經濟學入門』がそれである。ローザは獨逸社會民主黨學校でこゝろみた講義をとりまとめる機會をもたずに、整理未了のまゝあとへのこしていつた。これの公にされたものが本書である。そんなわけでそれはまだ完成されたものではない。主力のそゝがれるのはこれからであつた。けれどそれが何であらう。本書に一貫してあらはれてゐるところの闘爭唯物論的立場は、革命的理論家としてのローザの名をはづかしめるものではない。

本書ははじめに『國民經濟學とは何ぞや』といふ章をかゝげてゐる。そしてシユモラー、ロツシヤー、ビユヒヤーなどいふブルジョア經濟學きつての面々を引きづり出し、かれらがおきまりの定義を分析の爼上にのせてくる。そして彼等が好んで用ひたがる『國民經濟』なる語を從横に檢討し、その背後にかくされてある階級的根據を曝露してかれらに痛棒を喰らはしてゐる。それから、しづかに自らの見解をくりひろげてゆく、ローザにしたがへば經濟學とは、資本家的生產方法に特有な法則に關するひとつの科學である。したがつてそれは資本主義の發生、發展の法則を說明することを任務とするのみにとゞまらずして、またひとしく資本主義の沒落、終結の法則を發見するを任務とするものである。資本主義の發生、發展の法則は、スミス・リカルドにいたるまでのいわゆる資本主義經濟學者によつて說明せられた、そのかぎりにおいてこれはブルジョアジーが、はじめには封建制度を打ちのめすために、またのちには無產階級を搾りとるために用ひたところの『思想的武器』となつてゐた。だがしかし事情はそれにとゞまることを許さない。現存事態の肯定的條件は同時にまた其の否定的條件でもある。資本主義の沒落、終結の法則は、マルクスにより科學的正確さをもつて實證せられた。かくて經濟學は、資本主義肯定の學から轉じて、資本主義否定の學となり、ブルジョアジーの階級支配の武器は變じて、プロレタリアートの階級鬪爭の武器となつた。しかしてかくなつたとき、あとに殘された問題は何であるか。それはこの『學說を行爲に』移すこと、換言すれば、社會主義經濟秩序の實現のための闘

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF MICHIGAN

際的プロレタリアートの鬪爭これである。さればローザはいふ、「經濟學說の最後の章は、世界プロレタリアートの社會××である」と。かの女にとつては、理論は一個の實踐でもあつた。

　それ資本主義の要因は階級對立を基礎とする商品生産であるから、したがつて、資本主義の沒落、終結の法則を闡明せんとすれば、いきほひまづこの要因を科學的に分析しなければならない。ローザにおいても正にさうであつた。すなはちローザにあつては、階級對立にともなふ搾取關係したがつてまた階級鬪爭を摘發することはひとつの企圖であり、商品生産にともなふ無秩序性したがつてまた崩壞條件を闡明することはいまひとつの企圖であつた。だがそれはまだ果たされてはゐない。第二章と第三章に展開せられた『經濟史』においては、わざわざ階級對立の存しないまた秩序的統制の存するところの原始共産制度を叙述して、それをもつて、階級對立と無秩序性とをその特徴とするところの資本主義の分析の伏線とするものである。しかも原始共産制度の叙述は詳細をきわめてゐるに反して、その資本主義の分析はまことに簡單に過ぎない。第四章『商品生産』と第五章『賃銀法則』においては、資本家的生産方法の基本法則が闡明せられてゐるとはいひ條、なほ部分的に取扱はれてゐるに過ぎない。また第六章の『資本主義經濟の諸傾向』においては、初め僅の部分が叙述されてゐるのみであとは中斷してゐるほどである。そのやうにそれは未完成のまゝ殘されてゐる。

　なるほどそれは未完成である。だがしかしそれは次のことを物語るに外ならぬ。ローザがこれを書きおろしたのは、あだかも歐洲大戰の勃發する前後であつた。そののちこれを完成するの機會なくして、かの女は『學說を行爲に』移し、自らプロレタリアートの鬪爭の陣列に加はるにいたつた。そして二度までも獄に打ち込まれたあげく、反革命暴徒のために虐殺されたのである。さればこの未完成こそは、ローザの犧牲を紀念するものといはねばならない。

　本書は佐野文夫氏によつて飜譯せられた。ローザの叙述の平易と、佐野氏の譯文の明快と相まつて、好譯書をなしてゐる。なほ目次の各節に標題がしるされ、またそれに細目が加へられてゐるのは便利である。校正の厳密なことをも附記しておく。

（青戸國郎）

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

編輯局より

◆創刊號は旬日にして、一冊殘らず賣切れた。吾々の豫想を遙かに裏切つた程の好評と激勵の眞只中に第二號の編輯を急ぐことの出來たのは、誠に大衆同人の意を强うした。

◆本號は、色々な意味で、形式にも內容にも一層整備するに努めた。インタヤレヴユウも加へられたし、運動方面でも加藤山本兩氏の力作をいたゞき、現下の怪物資本攻勢の內容をつきつめた野呂、原、松尾諸君の論文も亦、恐らくは讀者諸兄姉の十分な滿足を以て迎えられるを信ずる。

◆更らに「大衆」は評論界への新人の紹介をたゆまずに、大きな仕事の一つとしたいと思つて來たが、今度もその一部を實現し始めたことを特に喜ぶ。

◆殘念なことは、大山、郡兩氏のもので、豫告を裏切つた は何よりすまない次第である。郡氏は肋膜で病床に臥したためであり大山氏は所謂「早大戰爭」のためであつたのだから、御諒承を願ひ度い。

◆次號は本紙最初の五月であるから、それに適はしいものを見せたいと思ふ。マルクス、勞農黨、メーデー、それから、吾々の注視の標であつた共同印刷大爭議の戰跡を討檢しなければならない。

◆大衆は、特に農村問題をも重視して次號からの編輯をする筈。各地の鬪爭に日を送る若き鬪士諸兄の原稿での應援や、ひろく研究會などでも使つていたゞくことを切望する。

◆「大衆」社の財政は、極めて貧弱で、今しきりと年極め讀者の積極的募集に同人並に好意を持つ人々の努力が注がれて居る。まだ創刊匆々なのと、未回收のためなどで、困苦の第一頁をくり初めた。愛讀者諸兄姉の本紙の宣傳と紙代拂込みに御後援を御願ひしなければならない。

『大衆小話』を募る

「大衆」が眞に大衆のものたらんがための一の重要な要件は、全體が小むづかしくなり、親しみ難く、讀にくゝなることを避け、あらゆる社會事象を、吾等の立場から究明する、直覺的にピンと來る記事を必要とする。

次の樣な規定で、大衆小話を一般から募る。

一、題材と內容は勞働者農民の頭にピンと來る樣な生きたもの或は風刺したもの。
一、二百字原稿二枚以內。
一、採否は、編輯者に一任られたい。

大衆小話部

定價
◇壹部參拾錢(送料壹錢)
◇半年壹圓七拾錢(税共)
◇一ケ年參圓三十錢(税共)

廣告料
◇一等八拾圓◇二等五拾圓
◇三等參拾圓
(但し、半頁はお斷り)

大正拾五年三月廿八日印刷納本
大正拾五年四月一日發行
編輯發行兼印刷人　黑田壽男
東京市芝區新櫻田町六
發行所　大衆社
(電話銀座三一九一番)
(振替東京一六二三八番)

大賣捌
東京堂　北隆館
大東館　東海堂

無產社パンフレット

堺利彦 社會主義大意……一〇

マルクス 勞働と資本……一五

パンネコック 社會主義と進化論……二〇

マルクス 利潤の出處……二〇

◆新刊◆ マルクス著 堺利彦譯 唯物史觀要約 資本蓄積の史的傾向（獨、英、和對照譯）、三〇

無產社編 レーニンの生涯（寫眞）近刊、五〇

堺利彦 社會主義學說大要……、三〇

マルクス ゴタ網領批評……、二〇

堺利彦 パリ・コンミユン……、二〇

ブルセンブルク ローザの手紙……、一〇

この他社會問題に關する書籍は總て郵稅なしで取次します。最近は洋書の取次を初めました。圖書目錄「名著だより」は無代贈呈（但し郵劵二錢封中のこと）。（代金引換は一切御斷りします。

東京市麴町八ノ二〇 振替東京二四六二六 無產社

堺利彦著 社會講談 一休と自來也……價拾錢

改版發賣

無產婦人へ

―內容―

婦人の未來……山川菊榮

家庭婦人に望む……堺眞柄

職業婦人へ……仲曾根貞代

女工さん達へ……井手とし

女工と金持……堺眞柄

お隣り同志……仲曾根貞代

＝定價一部拾錢＝

取次其他

古本大學は無產階級唯一の讀書機關です。古本大學に社會・經濟・勞働・政治・農村問題等の書籍●パンフレットを販賣して居ります。御入用の本が有りましたら『往復はかき』又は『返信料封入』で御照會下さい。御不用の本は『交換』及び『買入』致します。古本大學は讀者諸君『特に地方』へ便宜の爲め『紙上賣店』を開きますから御利用下さい。古本大學は『東京麴町有樂町一ノ三』（市電日比谷交叉點の近く）です是非御來店下さい。古本大學には『一般書籍』も取揃へて居ります。古本大學『圖書目錄』進呈します（要郵劵貳錢）

堺利彦著 社會講談 いかけ松 ―（新刊）― 價二十錢

東京大井町一本松 潮流社 振替東京七〇七九七番

Digitized by Google Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

改造社新刊重版書

著者	書名	定價	送料
早大教授 大山郁夫著	現代日本の政治過程	弐圓五十銭	二十二銭
帝大助教授 平野義太郎著	法律における階級鬪爭	弐圓五拾銭	二拾六銭
法學博士 末弘嚴太郎著	法窓閑話	弐圓五拾銭	二拾二銭
森戸辰男著	學生と政治	三十五銭	十二銭
森戸辰男著	思想と鬪爭	弐圓	二十銭
商大教授 孫田秀春著	勞働法總論	弐圓六拾銭	二十六銭
ヨセフ、ディツゲン著 山川均譯	無產階級の哲學	弐圓五拾銭	二十二銭
法學博士 堀江歸一著	國際經濟と國民經濟（改訂增補）	弐圓五拾銭	二十六銭
法學博士 堀江歸一著	國際經濟總論	参圓参拾銭	二十六銭
法學博士 堀江歸一著	貨幣・銀行・外國爲替（上卷）	参圓	二十六銭

發行所 東京芝區愛宕下町 振替東京八四〇二 改造社

同人社新刊重刷書

森戸辰男著　◇最近ドイツ社會黨史の一齣　定價貳圓五拾錢　送料十五錢

大内兵衛著　◇現代イギリスの政治過程　定價貳圓　送料十二錢

嘉治隆一著　◇近代ロシア社會史研究　定價貳圓八拾錢　送料十五錢

高野岩三郎著　◇社會統計學史研究　定價壹圓五十錢　送料十二錢

ゾムバルト著　森戸・細野譯　◇勞働組合運動の理論と歴史　定價壹圓六拾錢　送料十二錢

カウツキー著　河西太一郎譯　◇農業の社會化　定價貳圓　送料十二錢

ミルユーテイン著　河西太一郎譯　◇社會主義と農業問題　定價壹圓八拾錢　送料十二錢

エンゲルス著　佐野文夫譯　◇フォイエルバッハ論　定價壹圓貳拾錢　送料十錢

マルクス著　久留間・細川譯　◇猶太人問題を論ず　定價壹圓　送料十錢

井口孝親譯著　◇ローザ・ルクセンブルグの手紙　定價壹圓五拾錢　送料十二錢

大林宗嗣著　◇セツツルメントの研究　定價壹圓八拾錢　送料十二錢

發兌　東京西神田紅梅町　同人社　振替東京二七〇六五　電話大手五五八五

無產階級政治

勢力としての政黨……拾五錢　山川均
タンクの水……拾錢　山川均
社會主義の婦人觀……（近刊）　堺利彦
人の柱……（近刊）　山川均

新刊

メーデー……山川菊榮　拾錢
常識の社會主義……北原龍雄　五拾錢
ロサとカルル……山川菊榮　卅錢

今後益々、新刊を出版し微力を運動に盡したいと思ひます。依つて、團體にて多數申込の場合は割引いたします。關東地方は全部東京麹町入ノ二〇無產社にて取扱ふことになりましたから、宜しく御利用下さい。

神戸市湊川町二ノ一六
上西書店
振替大阪七二九四〇

難解を打碎いて!!

▼勞働者の明日　□インターナショナルの話　十錢　野田律太
▼失業問題と階級意識　十五錢　林要
▼無產階級の政黨　十五錢　山川均
▼人一生の經濟學　十錢　河野密
▼プロレタリアの使命　或る勞働者の手記　十錢　住谷悅治
▼無產青年に與ふ　性慾結婚問題に就て　十錢　辻井民之助
▼勞働組合評議會宣言　十錢　日本勞働組合評議會
▼婦人と勞働組合　十錢　野阪龍子
▼無產者青年運動　十五錢　高橋貞樹
▼勞働組合の基礎智識　十五錢　松澤兼人
▼擴大中央委員會宣言　十錢　日本勞働組合評議會
▼工場班の組織と方針　圖解寫眞版數葉　（近刊）　高橋貞樹
▼公共事業と勞働者　（近刊）　中村義明
▼勞働組合合同論　（近刊）　ロゾウスキー
▼レーニンの戰術　（近刊）　濱田英太郎譯

發行所　大阪市西淀川區海老江町九五五　振替大阪七二一八三番
勞働問題研究所

東京帝國大學教授
法學博士 河津暹著

經濟政策綱要

定價二圓五十錢

博士の最近の筆になるもの、商業政策、農業政策、工業政策の全部に亙つての包括的の概論である。近時經濟政策的の問題の頻りに論議されるときに當つて、この書は最高の權威を示すものとして何人も必讀すべきものである。

エミール・レーデラー教授著
帝大助教授 有澤廣己
帝大助教授 大森義太郎 共譯

理論經濟學 槪說

洋裝菊版
定價貳圓五拾錢

世界の名著

原著者レーデラー教授は、現今獨逸理論經濟學界において五指に屈せられる權威者である。本書は教授が蘊蓄を傾けた近業であつて。その內容の一端を記せば、第一章經濟理論の概念と對象、第二章經濟の基本的事業、第三章勞働價値學說。第四章限界效用學說である。特に限界效用學說の敍述に至つては恐らくその淸新さにおいて他に比を見ないであらう。教授は更に勞働價値學說をとつてこれと對立させてゐる。その兩學說の交渉を論じるところは教授の新しい試みとして學徒の等しく注意すべき點であらう。なほ敍述の平明暢達なことは本書の一特色をなすものである。譯文の正確であつて且つ讀み易いことはこゝに贅するまでもない。

發行所 明善社 東京市本鄉區元町一丁目十七番地

Digitized by Google Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

大正十五年三月二十八日印刷納本
大正十五年四月一日發行
第一卷第二號
（定價三拾錢）